

PROCESS AUTOMATION

My Control System (on-premise) Operation

User Manual



お知らせ

本書には、1つまたは複数の **ABB** 製品に関する情報が記載されており、**ABB** 製品に一般的に関連すると思われる 1つまたは複数の規格の説明または参照が含まれている場合があります。規格に関するそのような記述や規格への言及があっても、本書で言及されている **ABB** 製品のすべてが、記述または参照されている規格のすべての機能をサポートしていることを表明するものではありません。特定の **ABB** 製品でサポートされている特定の機能を確認するには、読者は特定の **ABB** 製品の製品仕様を参照する必要があります。

ABB は、本書に記載されている **ABB** 製品の知的財産を保護する 1つ以上の特許または出願中の特許を有している可能性があります。

本書に記載された情報は予告なしに変更されることがあり、**ABB** による確約として解釈されるべきものではありません。**ABB** は、本書に記載されたいかなる誤りに対しても責任を負いません。

本書に記載または参照されている製品は、ネットワークインターフェイスを介して接続され、情報およびデータを通信するように設計されており、安全なネットワークに接続されている必要があります。本製品とシステムネットワークおよび/または接続される可能性のあるその他のネットワークとの間の安全な接続を提供し、継続的に確保することは、システム/製品の所有者の唯一の責任です。

システム/製品の所有者は、セキュリティ侵害、不正アクセス、妨害、侵入、漏洩、および/またはデータまたは情報の盗難からこれらの製品、ネットワーク、そのシステム、およびインターフェイスを保護するために、ファイアウォールの設置、認証手段の適用、データの暗号化、ウイルス対策プログラムのインストールなどを含むがこれらに限定されない適切な手段を確立し、維持しなければなりません。

ABB は、当社が発表する製品および更新の機能テストを実施しています。しかし、システム/製品の所有者は、製品の更新やその他の主要なシステム更新（コードの変更、設定ファイルの変更、サードパーティ製ソフトウェアの更新やパッチ、ハードウェアの変更などを含むが、これらに限定されない）が、実装されたセキュリティ対策と互換性があることを保証する最終的な責任を負います。システム/製品の所有者は、システムおよび関連製品が、それらが配備される環境において期待通りに機能することを検証しなければなりません。

ABB は、本書の使用に起因するいかなる性質または種類の直接的、間接的、特別、偶発的または結果的損害について、また本書に記載されたソフトウェアまたはハードウェアの使用に起因する偶発的または結果的損害について、いかなる場合も責任を負いません。

本書およびその一部は、**ABB** の書面による許可なく複製または複写してはならず、またその内容を第三者に譲渡したり、許可されていない目的で使用したりしてはなりません。

本書に記載されているソフトウェアまたはハードウェアは、ライセンスに基づき提供されるものであり、当該ライセンスの条件に従ってのみ使用、複製、または開示することができます。

本製品は、EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に規定された要件を満たしています。

商標と著作権

System 800xA、**Symphony**、**Symphony Plus** および **Freelance** は **ABB** の登録商標または出願中の商標です。

Ability は **ABB** の商標です。

著作権、登録商標、および商標に関するすべての権利は、それぞれの所有者に帰属します。

著作権 © 2022 **ABB** 無断複写転載を禁じます。

発表: March 2025

文書 ID: 2PAA121209

改訂: AH

目次

1. 序章	3
1.1. 概要（紹介と主な機能）	3
1.2. 使用アイコン	3
1.3. 用語解説.....	3
1.4. 範囲とソフトウェアのバージョン	4
2. My Control System の使い方 (on-premise)	6
2.1. システムにサインオンします	6
2.2. 概要（全体レイアウト）	7
2.2.1. ナビゲーションバー	8
2.2.2. フィルターエリア	9
2.2.3. フッターエリア	11
2.2.4. MCS のテーブル.....	11
2.2.5. カテゴリー	12
2.2.6. 一般情報	12
2.2.6.1. システムの状態	12
2.2.6.1.1. パフォーマンス KPI、ソフトウェア KPI、セキュリティ KPI.....	15
2.2.6.1.2. イベントロード、アラート、および通知.....	15
2.2.6.1.3. マルウェア保護、セキュリティ更新、バックアップ	16
2.2.6.1.4. ハードウェアライフサイクル.....	16
2.2.6.1.5. アセット	17
2.2.6.2. サイトステータス	18
2.2.6.3. フリートステータス	19
2.2.6.4. ライセンスと連絡先	19
2.2.7. 概要 エリア	21
2.2.7.1. グループ表示	23
2.2.7.2. ツリー ビュー	23
2.2.7.3. グリッド表示	24
2.2.7.4. 比較表示	24
2.2.8. KPI 詳細ページ	24
2.2.8.1. KPI の詳細	25
2.2.8.2. 追加情報	29
2.2.8.3. 詳細	29
2.2.8.3.1. 推奨される行動	30
2.2.8.3.2. 手動チェック方式	30
2.2.8.3.3. 評価基準	30
2.2.9. 健康	31
2.2.9.1. パフォーマンス KPI	31
2.2.9.2. ソフトウェア KPI	31
2.2.9.3. イベントロード	32
2.2.9.4. アラートと通知	34
2.2.10. セキュリティ	35
2.2.10.1. システム概要	36
2.2.10.2. ノード概要	37
2.2.10.2.1. ノードの詳細	37
2.2.10.2.2. セキュリティ更新	38
2.2.10.2.3. マルウェア保護	41
2.2.10.2.4. バックアップ	44
2.2.10.2.5. メンテナンス	48
2.2.10.2.6. アスペクトディレクトリステータス	49

2.2.10.2.7.	800XA サービス	49
2.2.10.2.8.	基本的な歴史	50
2.2.10.2.9.	800XA バックアップステータス	50
2.2.10.3.	セキュリティ KPI	51
2.2.10.4.	セキュリティ更新	51
2.2.10.5.	マルウェア保護	52
2.2.10.6.	バックアップ	53
2.2.10.7.	メンテナンス	53
2.2.10.8.	システムツール	54
2.2.10.8.1.	システムリモートアクセス	54
2.2.10.8.2.	植物の分離	55
2.2.11.	在庫	56
2.2.11.1.	ハードウェアライフサイクル	56
2.2.11.2.	制御システムのライフサイクル	58
2.2.11.3.	アセット	58
2.2.11.4.	コントロール構造	64
2.2.11.5.	ソフトウェア	66
2.2.12.	文書	68
2.2.13.	管理および構成のエリア	68
2.2.13.1.	ABB セクションにお問い合わせください	69
2.2.13.2.	データセット管理 セクション	71
2.2.13.2.1.	KPI	71
2.2.13.2.2.	在庫	76
2.2.13.3.	「設定」セクション	77
2.2.13.3.1.	[アプリケーション]タブ	77
2.2.13.3.2.	[構成]タブ	78
2.2.13.3.3.	[ユーザー管理]タブ	80
2.2.13.3.4.	[通知]タブ	81
2.2.13.3.5.	ABB タブに連絡します	82
2.2.13.3.6.	[システムユーティリティ]タブ	83
2.2.13.3.7.	アプリケーション証明証管理タブ	83
2.2.13.3.8.	同期タブ	83
2.2.13.3.9.	エージェント管理タブ	83
2.2.13.3.10.	アセット タブ	83
2.2.13.3.11.	KPI プロファイルタブ	83
2.2.13.4.	通知セクション	83
2.2.13.4.1.	アラームタブ	84
2.2.13.4.2.	イベントタブ	84
2.2.13.4.3.	監査タブ	84
2.2.13.4.4.	[通知管理]タブ	87
2.2.13.5.	言語セレクター	89
2.2.13.6.	ユーザー セクション	89
2.3.	レポート	90
2.3.1.	レポートへのアクセス	90
2.3.2.	レポートの作成	91
3.	追加情報	93
3.1.	関連文書リスト	93
3.2.	セキュリティの脆弱性報告	93
4.	改訂	94
4.1.	改訂履歴	94

1. 序章

My Control System (on-premise) は、ABB から提供される高度なデジタルサービスの一部です。本書は、MCS-OP を使用する際の支援を提供することを目的としています。

このマニュアルでは、My Control System - Data Collector (MCS-DC) で必要なデータを収集するための設定とプロセスについては説明しません。コレクションプロセスの詳細については、ドキュメントおよび [2] 参照 [1]。

1.1. 概要（紹介と主な機能）

My Control System (on-premise) は、中央の場所で情報を提供するスタンドアロンの安全なサービス配信プラットフォームです。

予定された分析やオンデマンドの分析で収集されたデータを使用して、ベストプラクティスや標準と比較することで、パフォーマンスの異常を検出し、Key Performance Indicators (KPIs) の標準化されたビューをユーザーに提供します。

この比較によって問題が素早く特定され、システムの信頼性、可用性、パフォーマンスの向上に役立ちます。自動電子メール通知は、定義されたトリガー状況に基づいて構成して、最新の分析結果についてユーザーに直接通知することができます。

利用可能なライセンスによって、プラットフォーム内で有効な機能が異なります。例えば、がシステムに対してアクティブなサイバーセキュリティワークスペースライセンスを利用可能にすることで、プラットフォーム内のすべての関連機能が有効になり、システム内のサイバーセキュリティ基準を維持するために最も重要なパラメータを監視できるようになります。

1.2. 使用アイコン



警告／重要なお知らせ

無視してはならない警告や重要なお知らせを示します。



お知らせ

ユーザーが読むべき追加情報を示します。

1.3. 用語解説

表 1: 用語解説

用語	説明
CSM	Control System Monitoring
CSWP	Cyber Security Workplace My Control System on-premise アプリケーションによってホストされている機能
DCS	Distributed Control System
ENS	McAfee Endpoint Security
ePO	McAfee ePolicy Orchestrator
FQDN	Fully Qualified Domain Name

用語	説明
KPI	Key Performance Indicator これは、チェックされる制御システムの基本項目または初歩的な機能です。 これは、測定および評価される 1 つまたは複数の値で構成されます。
MCS	My Control System ABB Cloud で ABB サービスアプリケーションをホスティングするプラットフォームです。
MCS-DC	My Control System Data Collector 設置された制御システムからデータを収集するソフトウェア
MCS-FW	My Control System - Forwarder MCS-DC のデータコレクションを MCS-OP などの消費アプリケーションに配布するソフトウェア。
MCS-OP MCS on-premise	My Control System (on-premise)アプリケーション。 これは、顧客サイトで MCS 機能をホストするプラットフォームです。
RAP VSE	Remote Access Platform Virtual Security Engine
SDF	System Data File このファイルは、現場で収集された関連する生データで構成され、データセットの生成に使用されます。
SEPM	Symantec Endpoint Protection Manager
SID	System identifier ソフトウェアライセンスレジスタ (SoFa) で使用される制御システム固有のシリアル番号です。システム識別番号は、SID1234 のように、常に数字の近くに記載されます。
SoFa	Software Factory ABB ソフトウェアライセンスの詳細情報を保持する Global ABB データベース
VSE	McAfee VirusScan Enterprise

1.4. 範囲とソフトウェアのバージョン

ドキュメントの範囲は、サポートされているソフトウェアバージョンに従って MCS on-premise をインストールするためのものです。一般に、MCS on-premise は、MCS Data Collector によってサポートされているすべての制御システムバージョンをサポートしています。資料参照 [2] 全リストはこちら。

CSWP 機能セットは、制御システムバージョンの限られたサブセットをサポートします。そして、。。。もサポートしています。

- ABB System 800xA
 - System 800xA version 6.0
 - System 800xA version 6.1
- ABB Symphony Plus
 - Symphony Plus version 3
 - Symphony Plus バージョン 2.1 以上 - ABB Symphony Plus Collector 機能を除く
- ABB Freelance
 - Freelance 2016
 - Freelance 2019

サポートされているすべての **ABB** サービス / サービス製品およびサードパーティ製品のリストについては、文書参照[1]を参照してください。

2. My Control System の使い方 (on-premise)



最低サポートされた解像度は、100%スケーリングで 1920x1080 (1080p/フルHD) です。推奨よりも低い解像度を使用すれば、不正なグラフィックスにつながる可能性があります。100%を超えるスケーリングを使用することは、3840x2160 (4K/UHD) など、より高い解像度で良い結果のみを出します。

2.1. システムにサインオンします

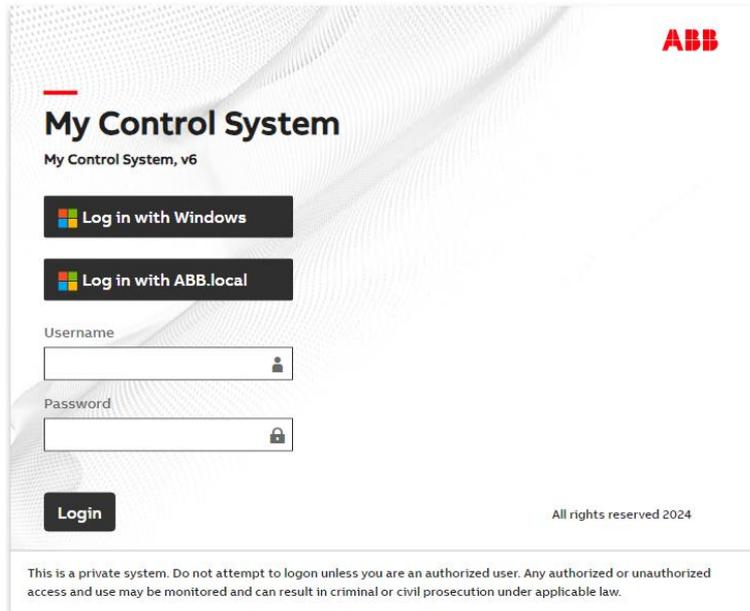


図 1: ログイン画面

MCS-OP にアクセスするときは、ログイン資格情報を求められます。

ログインするオプションは 3 つあります:

- Windows でログインします
- Active Directory Federation Service Provider (ADFS) でログインします。複数のプロバイダーのセットアップがある場合、特定のプロバイダーを選択するオプションがあります。ユーザーは、ADFS のログインページに転送され、ログイン手順を進めます。
- 専用のユーザー名とパスワード



Windows ユーザーは、ログインできるように MCS-OP で最初にセットアップする必要があります。これは、Active Directory ユーザーアカウントにのみ適用できます。文書 ref を参照してください [1] 詳細については



Active Directory Federation Service Provider は、MCS-OP で最初にセットアップする必要があります。じゃなければ、隠されます。これは、Active Directory Federation Service が利用可能な場合にのみ適用されます。文書 ref を参照してください [1] 詳細については



セキュリティ上の理由により、20 分間の不活動の後に MCS-OP から自動的にログアウトされることに注意してください



Internet Explorer のサポートは、2022 年第 2 四半期までに削除されたことに注意してください。Microsoft Edge を使用して Web ポータルにアクセスすることをお勧めします。

ログインが成功した後、最初の SID のシステムステータスタブが表示されます。

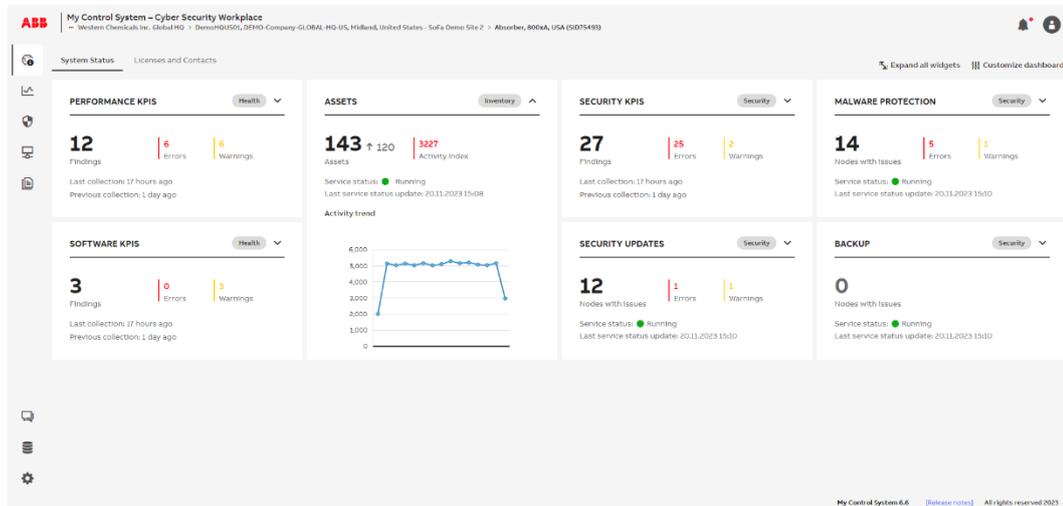


図 2: [システムステータス]タブ

ABB ロゴの左上隅をクリックして、サイト/SID セレクターを開き、正しいコンテキストで MCS-OP と連携します。

サイトまたは SID のいずれかを選択して、システムの詳細を確認できます。

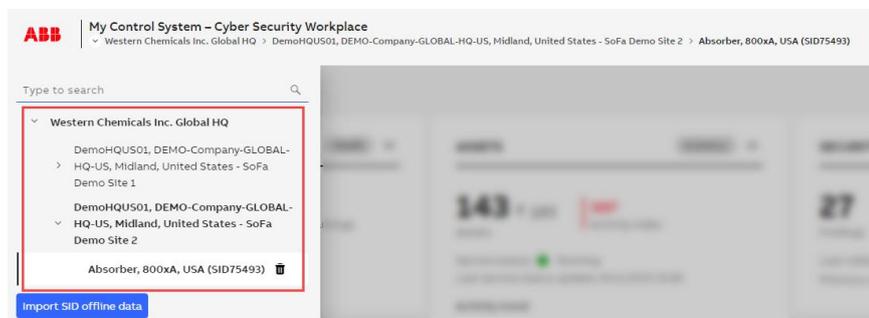


図 3: サイト/SID セレクター

2.2. 概要（全体レイアウト）

MCS-OP ダッシュボードは、次の 4 つの主要な領域で構成されています。

1. ナビゲーションバー（章 2.2.1）
2. フィルター領域（章 2.2.2）
3. 概要エリア（章 2.2.7）
4. フッターエリア（章 2.2.3）

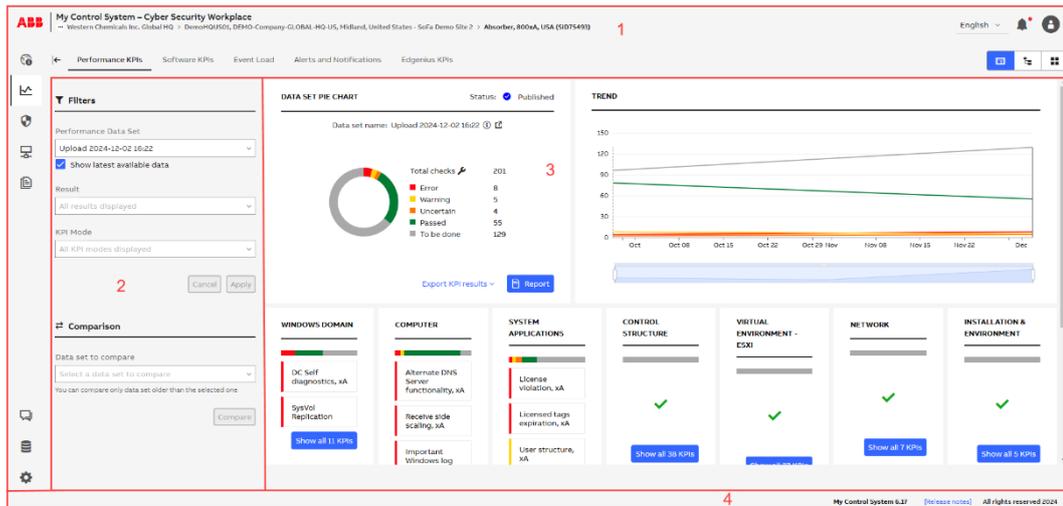


図 4: 全体レイアウト

2.2.1. ナビゲーションバー

ナビゲーションバーは3つの異なるセクションで構成されています：

1. SID セレクター
2. カテゴリー (章 2.2.4 以降)
3. 管理および設定 (章 2.2.13)

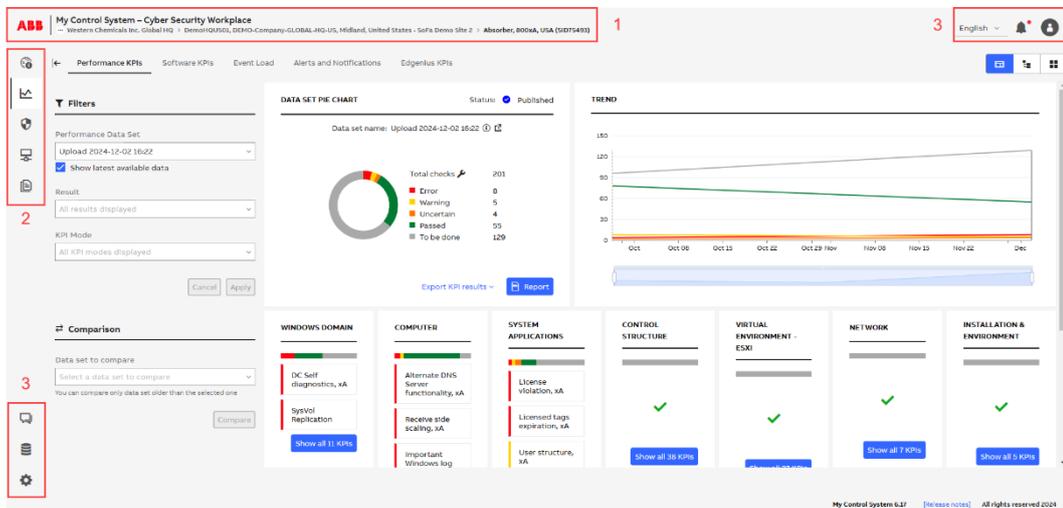


図 5: ナビゲーションバー

ナビゲーションバーを使用して、さまざまなエリア (例：「健康」) にアクセスします。左のメニューにカーソルを合わせると、各セクションの名称が表示されます。

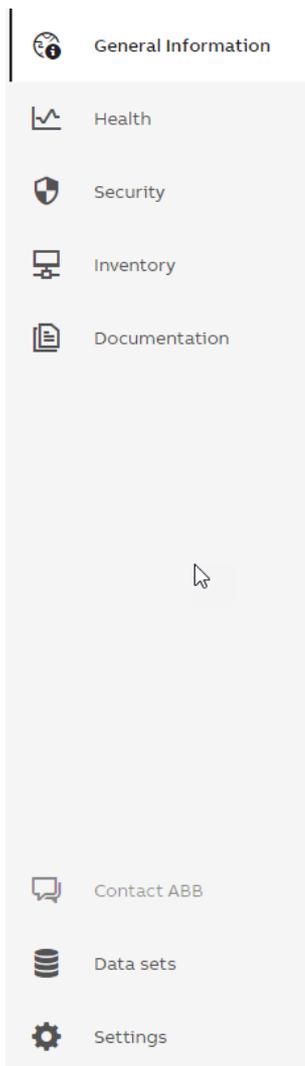


図 6: 左側のナビゲーションバー

エリアを選択すると、第 2 レベルのナビゲーションバーが表示されます（そのエリアで利用可能な場合）。

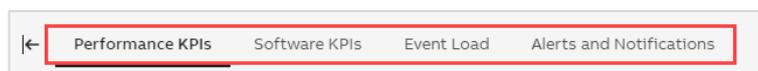


図 7: 第 2 レベルのナビゲーション

2.2.2. フィルターエリア

ダッシュボードの左側には、概要エリアに表示される結果やコンテンツを絞り込んだり変更したりするための選択エリアとフィルターエリアがあります。

デフォルトでは、フィルターエリアはメインビューから切り離されています。「フィルターを表示」アイコンをクリックして表示させます:

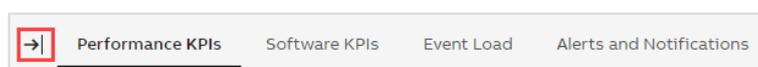


図 8: フィルターエリアを表示する

「フィルターを隠す」アイコンをクリックすると、フィルターエリアが非表示になります:

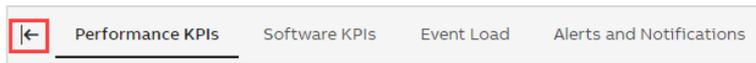


図 9: フィルターエリアを隠す

アプリケーションを閲覧するときに、フィルター領域の可視性が記憶されます。



選択したカテゴリーによっては、異なるフィルターが適用される場合があります。この例では、カテゴリ「健康/パフォーマンス KPI」のフィルターが使用されている

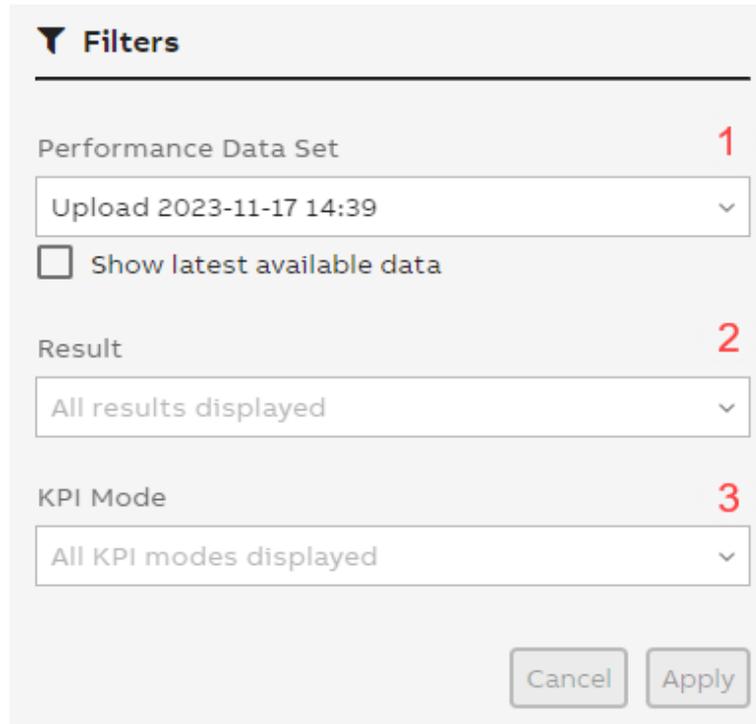


図 10: フィルターエリア

1. データセットセクター：検査したいデータセットを選択します。常に 1 つのデータセットしか選択できません。デフォルトでは、「利用可能な最新データを表示」オプションが有効になっています。



つまり、MCS-OP は、カテゴリのデータが利用可能な場合にのみ、カテゴリを切り替えるときに選択したデータセットを保持します。それ以外の場合は、データセットの取得元に関係なく、カテゴリの最新のデータを自動的に選択します。特定のデータセットを閲覧したい場合は、このオプションを無効にする必要があります。このオプションを無効にすると、ブラウザのローカルストレージにのみ保存されます。

2. 結果セクター：特定の KPI 結果を選択して、概要領域に表示される内容を絞り込みます。このセクターは複数選択が可能で、例えば「エラー」と「警告」を同時に選択することができます。セクターを空にすると、すべての KPI とその結果が表示されます。
3. KPI モード：自動または手動の KPI を選択します。セクターを空にすると、すべての KPI が表示されます。このセクションは、有効なシステム評価ライセンスがあり、選択したデータセットのタイプが「自動および手動 KPI」である場合にのみ表示されます。

フィルターを選択したら、「適用」をクリックします。フィルターを選択したら、「適用」をクリックします。また、「キャンセル」をクリックすると、選択した内容を現在表示されているビューに戻すことができます。

2.2.3. フッターエリア

現在の **MCS-OP** バージョンに関する情報は、ダッシュボードのフッターエリアで提供されています。さらに、フッターエリアは、カテゴリドキュメント（章 2.2.12）の下に書いてあるリリースノートへの直接リンクを提供します



図 11: フッターエリア

2.2.4. MCS のテーブル

MCS のテーブルのタイプに応じて、このコンポーネントで直接使用できる機能は異なります。

- 表示されるアイテムを絞り込むためのフィルター。フィルターアイコンは、このオプションが使用可能であることを示します。
 - フィルターアイコンをクリックすると、フィルターの拡張、クリア、非表示ができる
 - 各列にフィルターを適用して表示項目を絞り込む
 - すべてのフィルターをクリアするには「x」アイコンをクリックしてください。



図 12: フィルター

- 各列で昇順または降順で並べ替える可能性:
 - 灰色の矢印 ([デバイス名] 列の横) は、現在の並べ替えルールを示します
 - ホバーすると、薄い灰色の矢印 ("データ コレクター" 列の横) が表示され、この列で並べ替えることができることを示します。クリックすると、このオプションがアクティブになります。アイテムは昇順でソートされます。2 回目にクリックすると、降順での並べ替えがアクティブになります。



図 13: 昇順での並べ替え



図 14: 降順でのソート

- 列の幅をカスタマイズするオプション。列見出しの右側に表示される区切り線は、このテーブルに適用可能であることを示します。この機能を使用するには、次の 2 つの方法があります:
 - 手動調整 - 仕切りにカーソルを合わせ、新しい位置にドラッグアンドドロップします
 - 自動調整 - 仕切りにカーソルを合わせてダブルクリックします。列の幅は、テキストの幅に合わせて自動的に調整されます。手記：拡張する最大幅は 300px ですが、手動でさらに拡張できます。



図 15: 列幅の調整



MCS のすべてのテーブルに上記のオプションがあるわけではありません。

2.2.5. カテゴリー

MCS-OP は、5 つの異なるカテゴリーを使用して、コントロールシステムで利用可能なすべての情報を構造化します。

1. 一般情報 (章 2.2.6)
2. 健康 (章 2.2.9)
3. セキュリティ (章 2.2.10)
4. インベントリー (章 2.2.11)
5. 文書 (章 2.2.12)

2.2.6. 一般情報

一般情報カテゴリは、2 つのタブで構成されています。

1. システム、サイト、またはフリートの状態 (設置された制御システムの全体的な概要)
2. ライセンスと連絡先 (ライセンスや連絡先など、インストールされたコントロールシステムに関する一般情報)

2.2.6.1. システムの状態

「システムステータス」タブは、制御システムのステータスに関するハイレベルな概要を提供します。すべてのカテゴリー (ヘルス、セキュリティ、インベントリー) の KPI 分析結果と、その他の機能のウィジェットが、この単一のダッシュボードに統合されています。ダッシュボードは、さまざまなカテゴリ/機能 (パフォーマンス KPI、セキュリティ KPI など) を表すさまざまなウィジェットで構成されています。

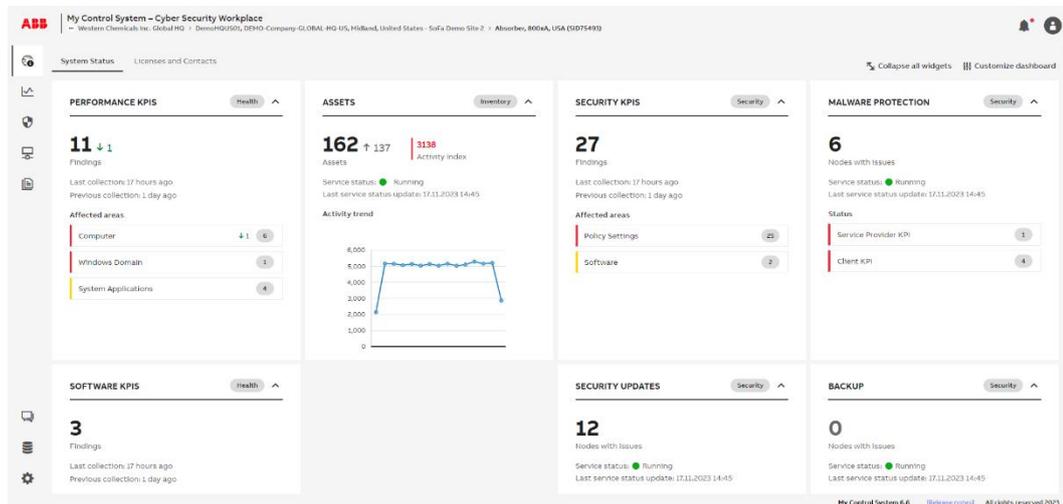


図 16: システムの状態

各ウィジェットには、異なる詳細レベルを表示する 2 つのビュー (展開/折りたたみ) があります。トグルボタンで表示を切り替えるか、右上の「すべてのウィジェットを展開」をクリックしてください。

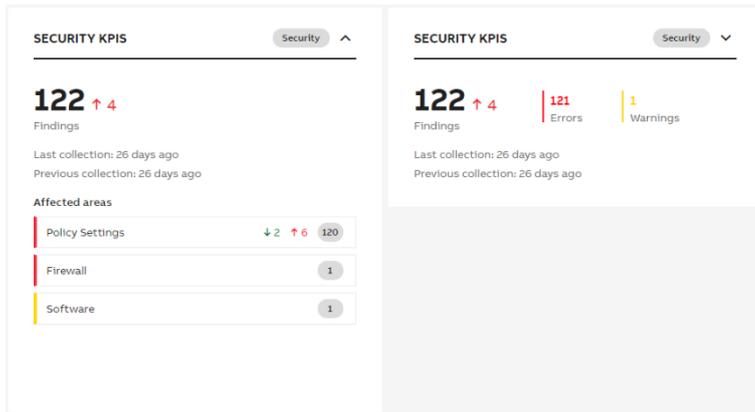


図 17: 拡大/折りたたみ表示

見出しましたは発見件数のいずれかをクリックすると、そのカテゴリの対応する KPI 分析にジャンプします。

「影響を受けたエリア」（ファイアウォールなど）の 1 つをクリックすると、影響を受ける領域が自動的に展開される「ツリービュー」を使用して、そのカテゴリの KPI 分析にジャンプします。

「影響を受けたエリア」のインジケーターを合わせると、その地域の変化に関する詳細な情報を得ることができます。

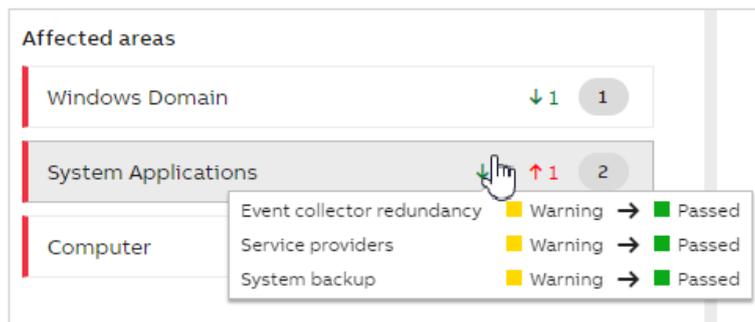


図 18: 面積の変化

「システムステータス」タブの外観はカスタマイズできます。右上の「ダッシュボードをカスタマイズ」をクリックし、カスタマイズを開始します。画面の左側には、以下の調整ができるエリアがあります：

- ダッシュボードレイアウト（異なる画面解像度に対応する 3 列または 4 列レイアウト）
- カラーテーマ（デフォルトまたは高性能カラーテーマ）
- ウィジェット（ウィジェットの有効化/無効化/拡大/縮小）

さらに、ウィジェットをドラッグ及びドロップして別の列や位置に移動することで、ウィジェットの配置や順序を変更することができます。

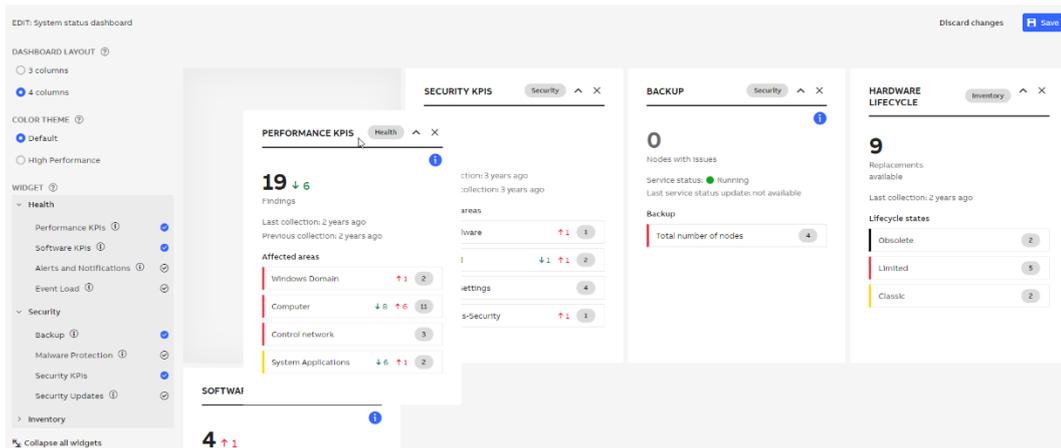


図 19: システムステータスのカスタマイズ

要件が満たされた場合にのみウィジェットが表示されると、左ペインのウィジェット名の横に情報アイコンが表示されます。アイコンにカーソルを合わせると、詳細が表示されます。

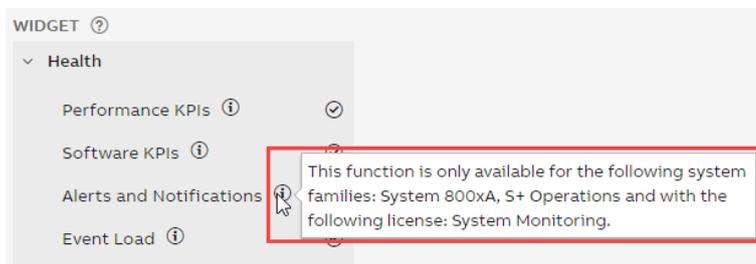


図 20: システムステータスウィジェットを表示するための要件

特定のシステムステータスウィジェットを表示するための要件がある場合は、2つの方法で表示されます:

- 選択した SID の要件が満たされていない場合、必要な条件に関する情報が青いボックスに表示されます。

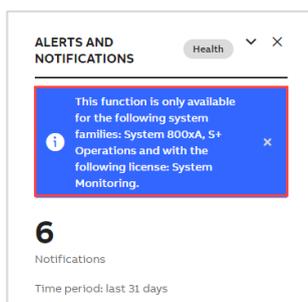


図 21: 選択した SID の要件が満たされていない

- 選択した SID の要件が満たされている場合、ウィジェットに青いアイコンが表示されます。アイコンをクリックして詳細を確認してください。

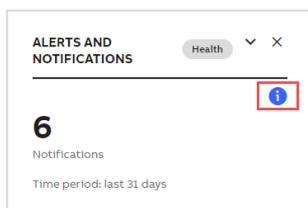


図 22: 選択した SID の条件を満たしています

2.2.6.1.1. パフォーマンス KPI、ソフトウェア KPI、セキュリティ KPI

[1] パフォーマンス KPI、ソフトウェア KPI、セキュリティ KPI のウィジェットは、最新のデータセットにおける発見事項(エラーまたは警告)の数を、トレンドインジケータと前回のデータセットと比較した差分とともに表示します。悪化した KPI と改善した KPIs の数がツールチップに表示されます。

[2] 最新コレクションと過去のコレクションに関する情報は以下の通りです。

[3] 「影響を受けたエリア」の横にある赤色のラベルは、少なくとも 1 つのエラーがあることを示し、黄色のラベルは、特定の KPI カテゴリにエラーはないが、少なくとも 1 つの警告があることを示します。各カテゴリの全所見の数は、右側のグレーのラベルに表示されます。その隣には、トレンドインジケータとツールチップの詳細が表示されます。

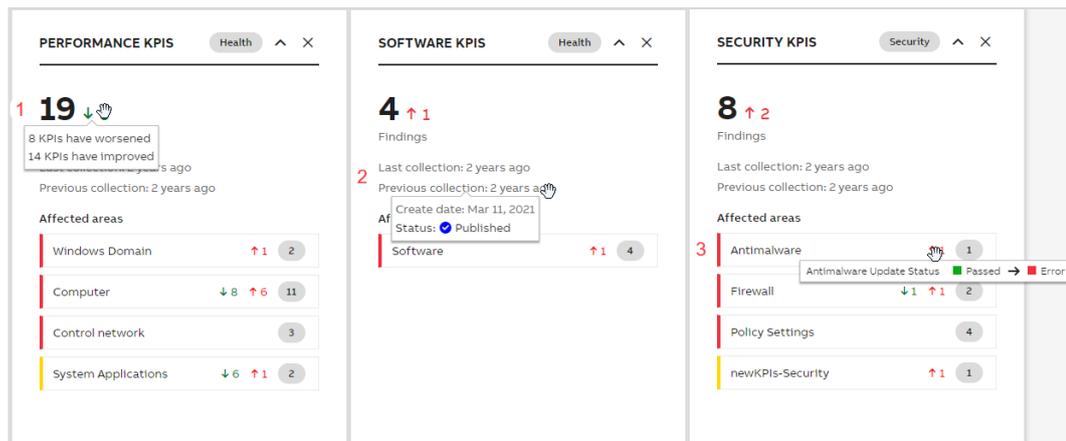


図 23: パフォーマンス KPI、ソフトウェア KPI、セキュリティ KPI のウィジェット

2.2.6.1.2. イベントロード、アラート、および通知

イベントロード、アラートおよび通知のウィジェットは、CSM データを表示します。

[1] 過去 31 日間の重要イベントと高イベントの合計。

[2] 過去 31 日間に発生した重大または高次事象の数を、重大度に基づいて個別に記載。

[3] データが提示されている期間の情報。

[4] 過去 3 ヶ月の重大 (赤) と重大 (オレンジ) の発生件数を示す傾向

[5] 過去 31 日間の重大度または重要度の高い通知の合計

[6] 重要度 (赤ラベル) または重要度高 (オレンジラベル) の通知が送信された「影響を受けたエリア」。のリスト各カテゴリの重大度または高重度の通知の合計は、右側のグレーのラベルに表示されます。

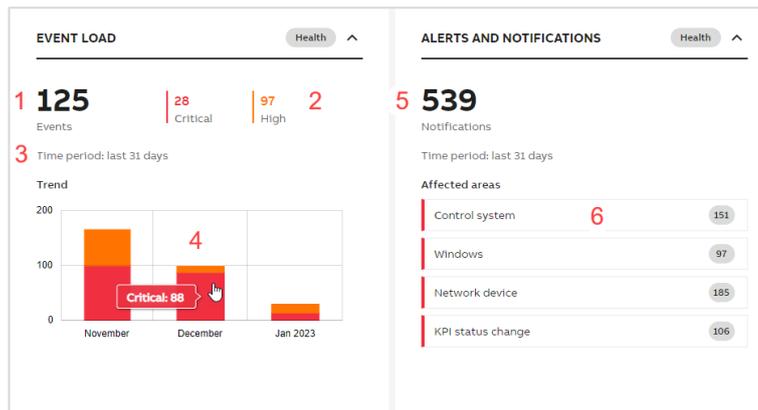


図 24: イベントロード、アラート、および通知のウィジェット

2.2.6.1.3. マルウェア保護、セキュリティ更新、バックアップ

[1] マルウェア保護、セキュリティ更新、バックアップのウィジェットには、問題（エラーまたは警告）のあるノードの数が表示されます。

[2] サービスステータスとその最後の更新に関する情報は、ホバーの詳細を以下に示します。

ABB My Control System - Data Collector modules (Malware Protection or Security Updates type) が有効になっている場合、それぞれのウィジェット上のこのデータは、最後の MCS-DC コレクション情報に置き換えられます。

[3] 赤色のラベルは、少なくとも 1つのエラーがあることを示し、黄色のラベルは、特定の KPI カテゴリにエラーはないが、少なくとも 1つの警告があることを示します。ツールチップには、KPI カテゴリの説明が表示されます。各カテゴリの全所見の数は、右側のグレーのラベルに表示されます。

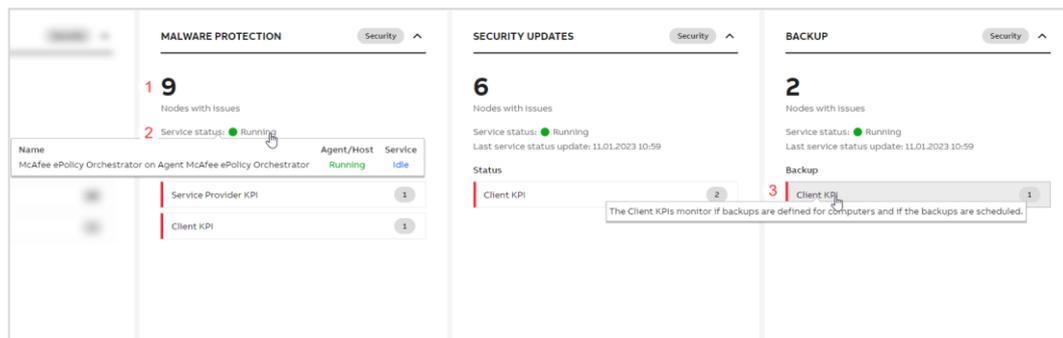


図 25: マルウェア保護、セキュリティ更新、バックアップのウィジェット

2.2.6.1.4. ハードウェアライフサイクル

[1] ハードウェアライフサイクルのウィジェットは、陳腐化、制限付き、またはクラシックライフサイクルフェーズにあり、交換可能なデバイスの合計を表示します。

[2] 最後のコレクションに関する情報は以下の通りで、ホバーで詳細を見ることができます。

[3] 「ライフサイクル状態」セクションは、各ライフサイクルフェーズにおいて、交換可能なデバイスの数を示しています。

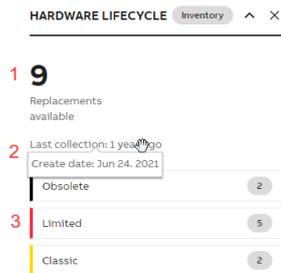


図 26: ハードウェアライフサイクルのウィジェット

2.2.6.1.5. アセット

[1]アセットウィジェットは、現在の日からのアクティブアセットの数を示します。これにより、休眠資産が再びアクティブになると拾われることが保証されます。現在の日と前日のアクティブな資産の違いの数の次に、傾向を示す矢印が表示されます。



資産の概要に検出およびリストされている資産の総額は異なる場合があります。

[2]アクティビティインデックスは、クリティカル（赤）または高（オレンジ）である場合にのみ表示されます。しきい値は、設定の下の資産タブで利用可能なアクティビティインデックスウィジェットで設定できます。

[3]サービスステータスは、更新されたときに情報で利用できます。

[4]アクティビティの傾向はウィジェットの拡大版で確認でき、過去 15 日間の変化が表示されます。



アクティビティインデックス、サービスステータスの詳細、および選択した **SID** にアクティブなサイバー資産在庫ライセンスがあり、パッシブネットワーク監視アプリケーションがインストールされている場合、**MCS-OP** に表示されます。

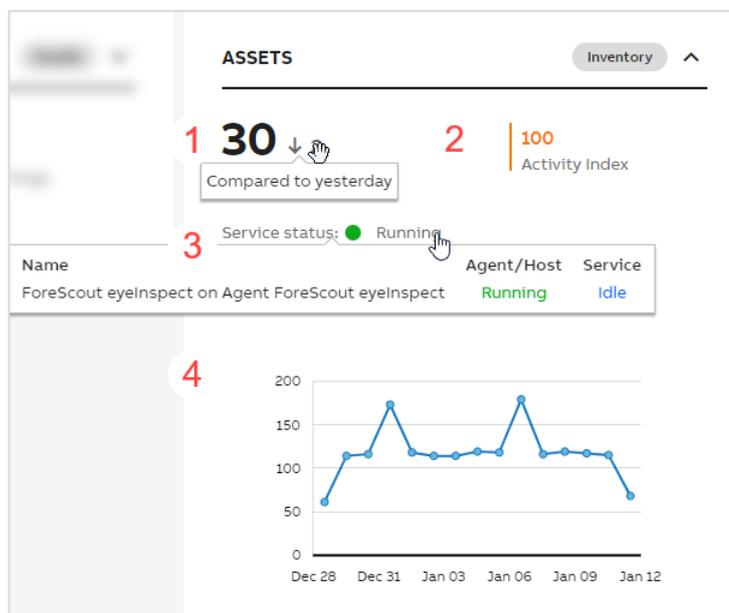


図 27: アセットウィジェット

2.2.6.2. サイトステータス

「サイトステータス」タブは、システムステータスと同様に機能しますが、サイト全体のステータスに関するハイレベルな概要を提供します。

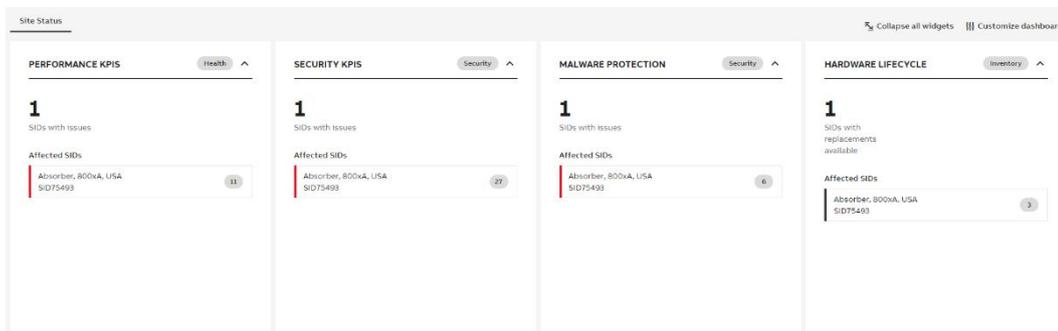


図 28: サイトステータス

「影響を受けた SID」の下に、注意が必要なすべての SID のリストが表示されます。

ラベルの色は、リストされた SID の最悪の結果と一致するが、所見総数のインジケータにカーソルを合わせると詳細を確認できます。

「影響を受けた SID」(例:SID89385)のいずれかをクリックして、ウィジェットのカテゴリの KPI タブにジャンプします。

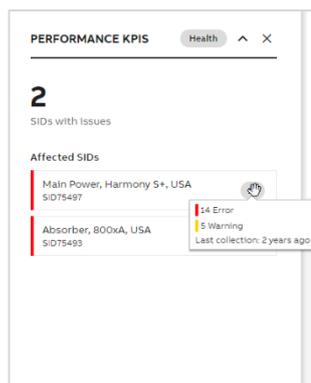


図 29: サイトステータスのウィジェット

「サイトステータス」タブの外観は、「システムステータス」タブのカスタマイズとは別にカスタマイズできます。

アセットウィジェットは、高またはクリティカルアクティビティインデックスを持つ SID の数を示します。これらの SID のリストは、ウィジェットの拡張バージョンにリストされています。アクティビティインデックスに関する各 SID 情報が利用可能であり、(ラベルの色はアクティビティインデックスと一致し、さらに、アクティビティインデックスレベルのツールチップがホバーで利用可能です)、そして、現在のアクティブアセットの数もそうです。



資産の概要に検出およびリストされている資産の総額は異なる場合があります。

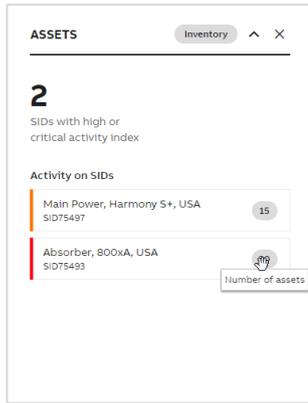


図 30: アセットウィジェット

2.2.6.3. フリートステータス

「フリート状態」タブは「サイト状態」と同様に機能しますが、フリート全体の状態に関するハイレベルな概要が表示されます。

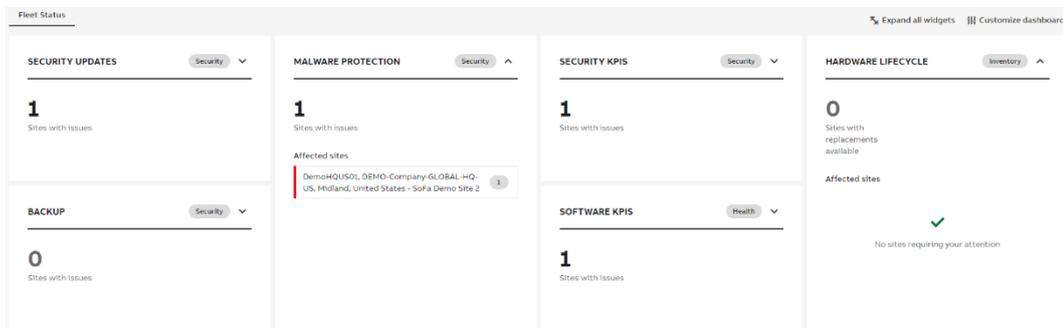


図 31: フリートステータス

「影響を受けるサイト」の下には、注意が必要なすべてのサイトのリストが表示されます。

ラベルの色は、リストされたサイトの最悪の結果と一致しますが、発見の総数を示すインジケータにカーソルを合わせると、詳細を確認できます。

「影響を受けているサイト」の1つ（例：「**DemoHQUS01, DEMO-Company-GLOBAL-HQ-US, Midland, United States - SoFa Demo Site 2**」）をクリックすると、サイトの状態タブにジャンプします。

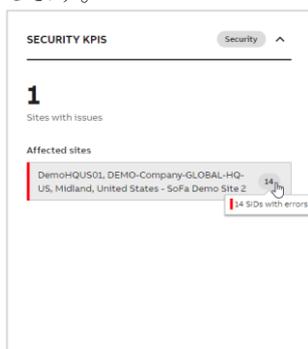


図 32: フリートの状態ウィジェット

2.2.6.4. ライセンスと連絡先

ライセンスと連絡先タブは SID コンテキストで利用でき、3つの異なる領域で構成されています。

- 自動化ソフトウェアメンテナンスのウィジェット（サービス契約のステータスに関する情報）

- ライセンスのウィジェット（コントロールシステムに登録されているすべてのライセンスを一覧表示します）
- 連絡先のウィジェット（制御システムに関連するすべての連絡先をリストアップします）

LICENSSES

LICENSE	PRODUCT	LICENSE CLASS	LICENSE TYPE	LICENSE STATUS	HARDWARE ID
> SL779483903301017	800xA 6.1.0 System	Base	Permanent	Active	0A1B2C3D4E5F
> SL725304807013057	System Updat...	Service	Leased	Active	SID75493
> SL975130610083010	System Fingerprint	Service	Leased	Active	SID75493
> SL258160610083010	System Assessment	Service	Leased	Active	SID75493
> SL29190610083010	System Monitoring	Service	Leased	Active	SID75493
> SL42827010211022	Cyber Security...	Service	Leased	Active	SID75493
> SL40841081094103	Cyber Asset Inventory	Service	Leased	Active	SID75493

図 33: ライセンスと連絡先

ライセンスのウィジェットでは、個々のライセンスを展開してライセンスの詳細情報を取得することができます。

LICENSE | **PRODUCT** | **LICENSE CLASS** | **LICENSE TYPE** | **LICENSE STATUS** | **HARDWARE ID**

- License Class - Production Phase
- 1 800xA System Identifier
- 1 800xA Base System.
- 1 x 100 tags, non-redundant.
- 1 x 1000 tags, redundant.
- 1 PLC Connect.
- 1 800xA for AC 100.
- 1 Audit Trail.
- 1 Operator Workplace Additional Client.
- 1 Symbol Factory for Process Graphics 2.
- 1 PET1 New Object Creation Support.
- 2 PH864 Software License 800xA.
- 2 PH864 Redundant Software License 800xA
- 1 x 300 Control Loop Asset Monitor.
- 1 HART Multiplexer Connect.
- 1 x 100 FF Device Aspect Objects.
- 2 x 100 IEC 61850 Non-Redundant Devices.

図 34: ライセンスの詳細

基本ライセンスに依存する機能は、ライセンスが [アクティブ] または [登録済み] ステータスのときに機能します。SID のオフラインデータが MCS Web バージョン 6.14 以下からエクスポートされ、ライセンスが登録済みステータスにある場合、機能は効きません。このステータスはバージョン 6.15 から認識されているため、新しい SID オフラインデータファイルを MCS on-premise にインポートする必要があります。

LICENSE	PRODUCT	LICENSE CLASS	LICENSE TYPE	LICENSE STATUS	HARDWARE ID
> SL [REDACTED]	800xA 6.1.0 System	Base	Permanent	Active	[REDACTED]

図 35: アクティブなライセンス

LICENSE	PRODUCT	LICENSE CLASS	LICENSE TYPE	LICENSE STATUS	HARDWARE ID
> SL [REDACTED]	800xA 6.1.0 System	Base	Permanent	Registered	[REDACTED]

図 36: 登録ライセンス

ライセンスが次の 90 日以内に期限切れになる場合、"期限切れ" と表示されます。



図 37: 期限切れ状態

さらに、この情報は上部のバナーにも表示されます。



図 38: 期限切れライセンスのバナー

サイトまたはフリートのコンテキストにあるページでは、バナーも表示されますが、今後 90 日以内に有効期限が切れるライセンスが少なくとも 1 つある SID を示しています。



図 39: 期限切れのライセンスを持つ SID のバナー

猶予期間中のライセンスはオレンジ色のラベルで表示される。さらに、猶予期間終了までの残り日数を示すバナーも表示されます。猶予期間中、機能は引き続き機能します。

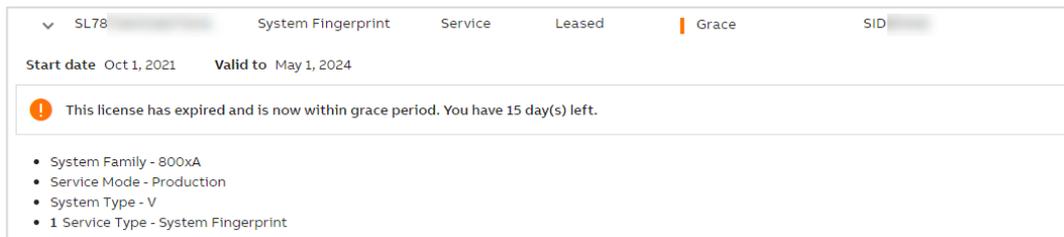


図 40: 猶予期間

有効期限が切れたライセンスも赤いラベルでウィジェットに表示されます。



図 41: 期限切れのライセンス



「ライセンスと連絡先」タブのデータはすべて **SoFa** から取得したものです。何か
が正しくない場合は、**SoFa** で直接変更する必要があります。その後、
My Control System (web)から SID オフラインパッケージを再びダウンロードし、
変更を反映するために **MCS-OP** にインポートする必要があります。

2.2.7. 概要エリア

概要エリアでは、分析されたデータと各カテゴリーの結果を簡単に確認することができます。構造はどのカテゴリーもほぼ同じです。この例では、セキュリティ/セキュリティ KPI のカテゴリーの概要領域が使用されています。

概要エリアには 3 種類のウィジェットが表示されます:

1. 左上の円グラフは、選択したデータセットのすべての結果を簡単かつ包括的に表示します。レポートボタンをクリックすると、このカテゴリからレポートを作成/アクセスできます（すべてのカテゴリに適用されるわけではありません）。選択したカテゴリまたはすべての KPI をエクスポートするには、[KPI 結果をエクスポート] ボタンを使用します。
2. 右上のトレンドグラフは、時間の経過とともに結果がどのように変化したかを概観できます。縦線にカーソルを合わせると、各データセットの詳細が表示されます。
3. 個々のチェックの結果を示す KPI を下部に表示します。

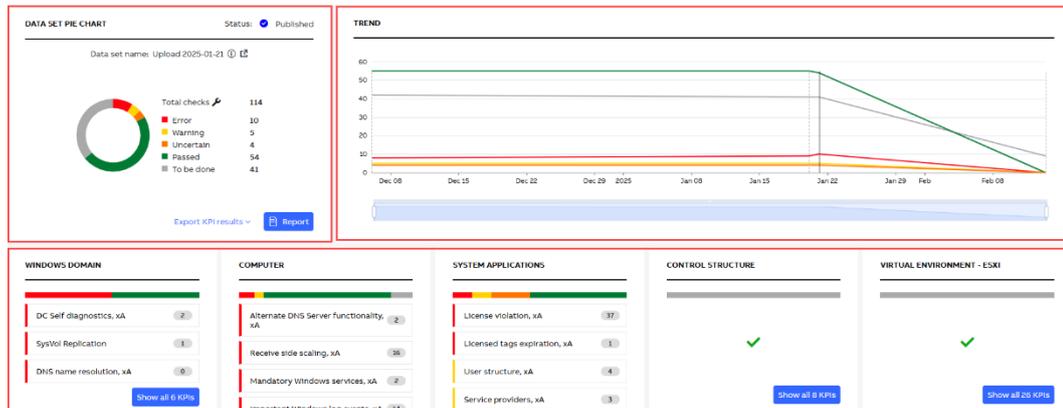


図 42: 概要 エリア

KPI は、最も関連性の高いデータを簡単に見つけることができる様々なビューを使用して閲覧することができます。それぞれの見解については、次の章で説明します。

トグルボタンでビューを切り替えます。アイコンにカーソルを合わせると、ツールチップにビュー名が表示されます。

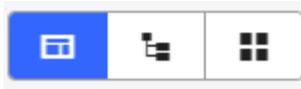


図 43: トグルボタン

フィルタ領域にある比較ビューを使用することもできます。

The screenshot shows the 'Comparison' filter interface with the following components:

- Comparison:** A header with a double-headed arrow icon and the text 'Comparison'.
- Data set to compare:** A dropdown menu with the placeholder text 'Select a data set to compare'.
- Message:** A note stating 'You can compare only data set older than the selected one'.
- Compare:** A button to execute the comparison.

図 44: 比較表示

2.2.7.1. グループ表示

グループ表示では、各グループで最も悪い結果を出した KPI について、基本的な概要を簡単に見ることが出来ます。グループごとに 10 の KPI に制限され、結果が「エラー」または「警告」である KPI のみが表示されます。KPI をクリックすると、対応する KPI の詳細ページ (章 2.2.8) にアクセスできます。特定のグループのすべての KPIs を表示する場合は、「すべての KPI を表示」ボタンをクリックして、ツリー ビューですべての KPI を表示します。

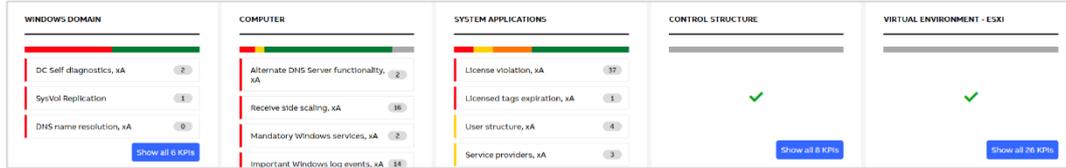


図 45: グループ表示

エラーまたは警告のある KPI には、対応するインジケータが表示されます。それらは、影響を受けたデバイスの数を示し、最高の重大度を示しています。番号は、結果ビューアーの情報と一致します。KPI が手動で変更された場合エラーから警告まで、このインジケータは、誤っているデバイスの数を依然として示します (これは依然として最高の重大度であるため)。

2.2.7.2. ツリー ビュー

ツリー ビューでは、すべての KPI、そのステータス、報告された結果が展開可能なツリーで表示されます。

KPI は、メインセクション (例: セキュリティ)、サブセクション (例: ソフトウェア、アンチマルウェア)、および個々の KPI (例: Windows OS バージョン) にグループ化されています。

KPI 名をクリックすると、対応する KPI の詳細ページ (章 2.2.8) にアクセスできます。

KPI モード列は、この KPI が「自動 KPI」(MCS-DC で収集される)か、または「手動 KPI」(有効なシステムアセスメントライセンスでのみ使用可能)かを示します。

ステータスの列は、KPI が既に収集されているか (自動または手動のいずれか)、まだ収集する必要があるかを示します。データがまだインポートされていない場合、特定の KPI のデータを収集できなかった場合、または手動で実行された KPI がまだ評価されていない場合は、「完了予定」というステータスが表示されます。

結果欄は、KPI の分析結果を示します。結果は、エラー、警告、不明、合格、情報、実行予定、またはスキップであります。

ユーザーの変更] 列では、編集された、アタッチメントがある、またはユーザーのコメントがある KPI をフィルターリングできます。これらはすべて、KPI 上に小さなアイコンで表示されます。

エラーまたは警告のある KPI には、対応するインジケータが表示されます。それらは、影響を受けたデバイスの数を示し、最高の重大度を示しています。番号は、結果ビューアーの情報と一致します。KPI が手動で変更された場合エラーから警告まで、このインジケータは、誤っているデバイスの数を依然として示します (これは依然として最高の重大度であるため)。

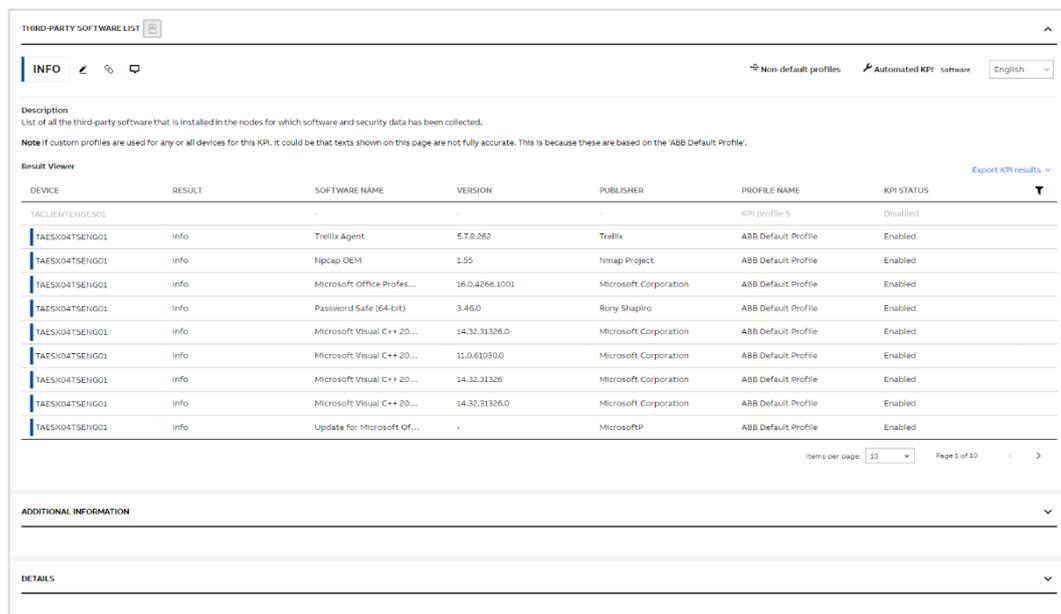


図 46: ツリー ビュー

2. 追加情報

3. 詳細

一部の KPI については、ウィジェット名の横にあるドキュメントアイコンから追加情報を入手できます。



DEVICE	RESULT	SOFTWARE NAME	VERSION	PUBLISHER	PROFILE NAME	KPI STATUS
TAESX04TSENG01	Info	Trellix Agent	5.7.8.262	Trellix	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Nmap OEM	1.55	Nmap Project	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Microsoft Office Profes...	16.0.4266.1001	Microsoft Corporation	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Password Safe (64-bit)	3.46.0	Rory Shapiro	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Microsoft Visual C++ 20...	14.32.31326.0	Microsoft Corporation	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Microsoft Visual C++ 20...	11.0.61030.0	Microsoft Corporation	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Microsoft Visual C++ 20...	14.32.31326	Microsoft Corporation	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Microsoft Visual C++ 20...	14.32.31326.0	Microsoft Corporation	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Update for Microsoft Of...	-	MicrosoftRP	ABB Default Profile	Enabled

図 49: KPI 詳細ページ

KPI 間を移動するには、フィルターセクションに表示される KPI セレクターを使用できます。適用されたフィルターはすべて、セレクターに表示される KPI に影響を与えることに留意してください (例えば、結果フィルターを「合格」に設定すると、その結果を持つ KPI のみが表示されます)。

概要エリアに戻るには、フィルターエリアの上に表示されているパンくずの 2 番目の項目をクリックします。最初の項目をクリックすると、ナビゲーションの第一階層にある「デフォルト」タブに移動します。

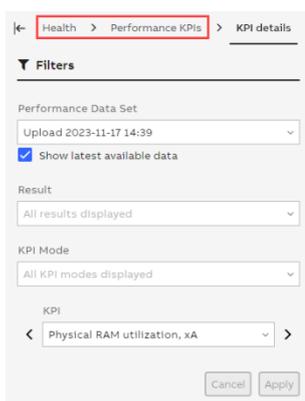


図 50: KPI 詳細ページのフィルター

2.2.8.1. KPI の詳細

KPI 結果ウィジェットには、実際の分析結果が表示されます。結果はこうなります:

- エラー (赤)

- 警告（黄）
- 不確定（オレンジ）
- 合格（緑）
- 情報（青）
- 完了予定（ライトグレー）
- スキップ（濃いグレー）

結果は「不明」で、予想されるものの、データが収集されていないことを意味します。考えられる理由は以下の通りです。

- **MCS-DC** で、存在しないデバイスのチェックが選択されている（**AC 800M** コントローラのチェックなど）
- デバイスが **MCS-DC** から要求されたデータを配信できません。例えば、**AC 800M** がロードされていない、または **MCS-DC** 収集方法をサポートしない古いファームウェアを持っている
- **MCS-DC** は、回収不可能または部分的に回収不可能なコンピュータからコレクションを収集した
- あらゆる種類のソフトウェア障害

このような場合、故障の原因を分析し、可能であれば修正する必要があります。その後、**MCS-DC** によるデータ収集を当該 **KPI** について繰り返す必要があります。修正が不可能な場合は、**KPI** 結果を「スキップ済み」に設定し、テキストフィールドに適切な説明を入力します。



図 51: KPI 結果

結果を手動で編集することも可能です。結果の横にある「鉛筆」アイコンをクリックし、新たに該当する結果を選択します。結果が変更された理由をコメントとして残してください。変更された結果のユーザー、時間、およびコメントは、**KPI** 詳細ページおよびレポートに表示されます。

Edit result

| Error

| Warning

| Uncertain

| Passed

| Info

| To be done

| Skipped

Please enter a comment *

Manually checked and verified

Close [Save](#)

図 52: KPI 結果の編集



データセットの変更 (名前の変更など) またはデータセット内のデータの変更 (KPI 結果の変更など) を行うには、データセットの所有者になる必要があります。詳しくはこの章 2.2.13.2 を参照してください。



結果を編集すると、KPI 全体の結果のみが変更されます。生データは上書きされず、元の結果が表示されます (結果ビューアなど)

間違って結果を編集してしまった場合は、「結果を戻す」ボタンを使って結果を元の値に戻してください。

SECURITY PATCHES

PASSED

Changed from original result **Warning** 3 seconds ago by ec.maint.se@gmail.com

Change reason: Manually checked and verified

[Revert result](#)

図 53: KPI の結果を元に戻す

さらに、対応するボタンを使用して、各 KPI に複数のアタッチメントとコメントを追加することができます。アタッチメントを追加する際、それぞれのチェックマークを有効にすることで、アタッチメントをレポートに含めるかどうかを選択できます。

Add Attachment

FILE NAME	FILE SIZE	ACTIONS
Untitled.png	8.86 kB	

Description *

Screenshot from concerned node

30/50

Include file in report

It is only possible to add .png/.bmp/.jpg files to the report.

Close
Upload

図 54: アタッチメントの追加

結果ビューアでは、特定の **KPI** について収集された各デバイスの生データにアクセスすることができます。フィルタを使用して結果を絞り込みますさらに、

プロファイル名列の情報は、非 **ABB** 標準に基づいて、デバイスが **ABB** 推奨事項（「**ABB** デフォルトプロファイル」）を使用してデフォルトプロファイル（「**ABB** デフォルトプロファイル」）またはカスタムプロファイルにマッピングされているかどうかを示します。アサインされたプロファイルで、選択した **KPI** が無効になっている場合、**KPI** ステータス列に表示され、行全体がグレーアウトされます。少なくとも 1 つのデバイスがカスタムプロファイルにマッピングされていることを示すために、「非デフォルトプロファイル」ラベルがウィジェットの上部に表示されます。



図 55: 非デフォルトプロファイルラベル

特定の **KPI**、そのカテゴリのすべての **KPI**、またはコレクションからのすべての **KPI** を **Excel** にエクスポートして、さらに調査することができます。

DEVICE	RESULT	SOFTWARE NAME	VERSION	PUBLISHER	PROFILE NAME	KPI STATUS
TAELIEN1ENGE501		-	-	-	KPI profile 5	Disabled
TAESX04TSENG01	Info	Trellix Agent	5.7.8.262	Trellix	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Nmap OEM	1.55	Nmap Project	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Microsoft Office Profes...	16.0.4266.1001	Microsoft Corporation	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Password Safe (64-bit)	3.46.0	Rony Shapiro	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Microsoft Visual C++ 20...	14.32.31326.0	Microsoft Corporation	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Microsoft Visual C++ 20...	11.0.61030.0	Microsoft Corporation	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Microsoft Visual C++ 20...	14.32.31326	Microsoft Corporation	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Microsoft Visual C++ 20...	14.32.31326.0	Microsoft Corporation	ABB Default Profile	Enabled
TAESX04TSENG01	Info	Update for Microsoft Of...	-	MicrosoftP	ABB Default Profile	Enabled

Items per page: 10 Page 1 of 10

図 56: 結果ビューアー



有効な **System Fingerprint** ライセンスがないシステムでは、結果ビューアに表示されるデータは端末名と結果に制限されます。

KPI の一般的な説明も記載されています。

2.2.8.2. 追加情報

KPI と結果に応じて、問題のトラブルシューティングに使用できる追加テキスト要素が異なります。これらは以下の通りです。

- 所見（所見に関する短い情報）
- 説明（所見に関する詳細な説明）
- 影響（この問題が修正されなかった場合、どのような影響が考えられるかについての情報）
- レコメンデーション（推奨される行動）
- 参考資料（KPI に関する追加情報が記載されたマニュアルやウェブページなどへの参照資料）



説明、影響、推奨、および参照は、有効なシステム指紋ライセンスでのみ利用可能である

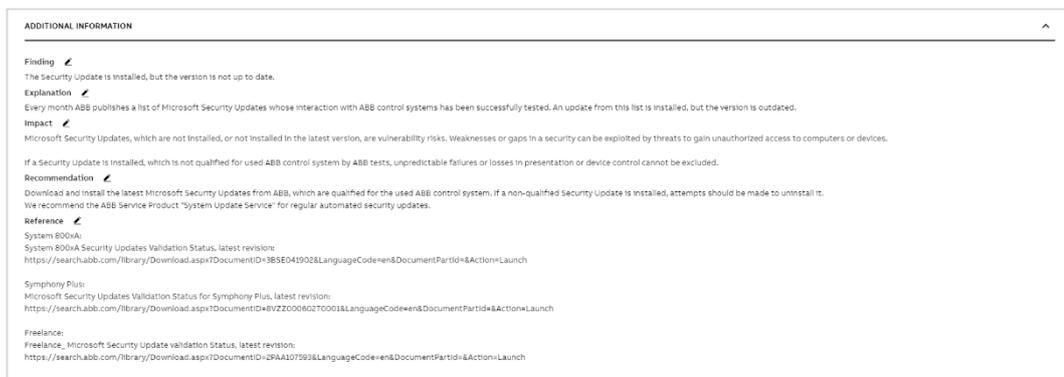


図 57: 追加テキスト要素

鉛筆のアイコンをクリックして、定義済みのテキスト要素を編集することができます。間違っ

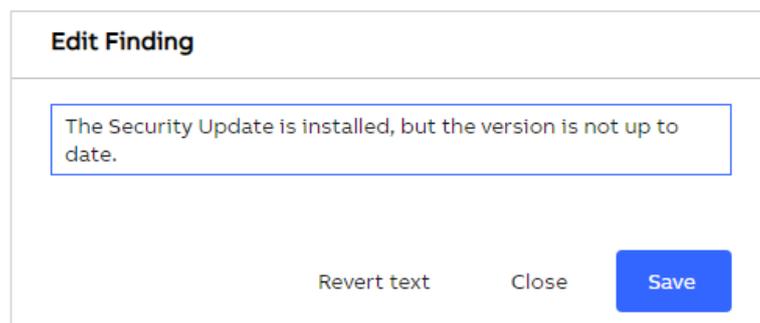


図 58: テキスト要素の編集

2.2.8.3. 詳細

詳細ウィジェットには、推奨されるアクション、手動チェック方法、および評価基準に関する情報が表示されます。

2.2.8.3.1. 推奨される行動

推奨されるアクション]ウィジェットには、この問題を解決するために取るべきアクションの詳細情報が表示されます。

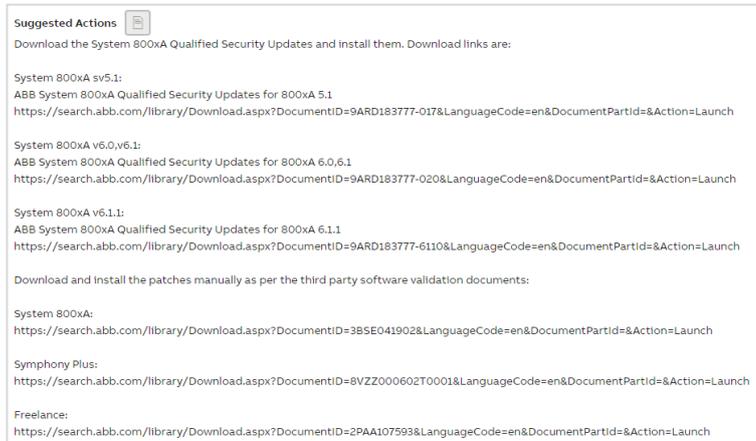


図 59: 推奨される行動



推奨アクションウィジェットは、有効なシステム指紋ライセンスでのみ使用できる

2.2.8.3.2. 手動チェック方式

手動チェック方法ウィジェットでは、この **KPI** を手動で収集する方法を説明します。これは、問題が修正され、**MCS-DC** スキャンを再度実行したくない場合などに使用されます。または、**KPI** の一部を手動で収集する必要があるシステム評価を実施する場合などです。



図 60: 手動チェック方式



手動チェック方法ウィジェットは、有効なシステム指紋ライセンスでのみ使用できる

2.2.8.3.3. 評価基準

評価基準ウィジェットには、**KPI** の結果を決定するために使用された評価基準に関する情報が表示されます。

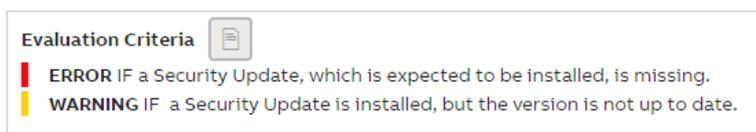


図 61: 評価基準

2.2.9. 健康

健康カテゴリーは 4 つのタブで構成されています:

1. パフォーマンス KPI (パフォーマンス KPI の分析結果を示す)
2. ソフトウェア KPI (ソフトウェア KPI の分析結果を示す)
3. イベントロード (システム監視の分析結果を示す)
4. アラートと通知 (システム監視の分析結果を示す)



イベントロードとアラートと通知タブは、システム監視ライセンスが利用可能で CSM アプリケーションがインストールされている場合のみに表示されます。

2.2.9.1. パフォーマンス KPI

章 2.2.7 で説明したように、概要エリアには 3 つの異なるウィジェットが表示されます:

- 左上の円グラフは、選択したデータセットのすべての KPI 結果をわかりやすく表示します。このカテゴリーからレポートを作成/アクセスするには、レポートボタンをクリックします。選択したカテゴリまたはすべての KPI をエクスポートするには、[KPI 結果をエクスポート] ボタンを使用します。
- 右上のトレンドグラフは、時間の経過とともに結果がどのように変化したかを概観できます。
- 個々のチェックの結果を示す KPI を下部に表示します。

ナビゲーションの詳細と概要エリアの各ビューについては、章 2.2.7 を参照してください。

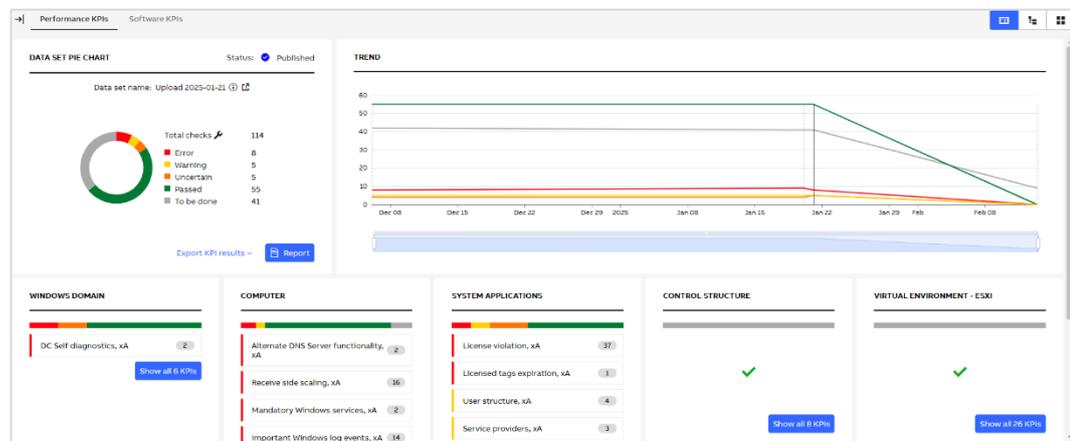


図 62: パフォーマンス KPI

2.2.9.2. ソフトウェア KPI

章 2.2.7 で説明したように、概要エリアには 3 つの異なるウィジェットが表示されます:

- 左上の円グラフは、選択したデータセットのすべての KPI 結果をわかりやすく表示します。このカテゴリーからレポートを作成/アクセスするには、レポートボタンをクリックします。選択したカテゴリまたはすべての KPI をエクスポートするには、[KPI 結果をエクスポート] ボタンを使用します。
- 右上のトレンドグラフは、時間の経過とともに結果がどのように変化したかを概観できます。
- 個々のチェックの結果を示す KPI を下部に表示します。

ナビゲーションの詳細と概要エリアの各ビューについては、章 2.2.7 を参照してください。

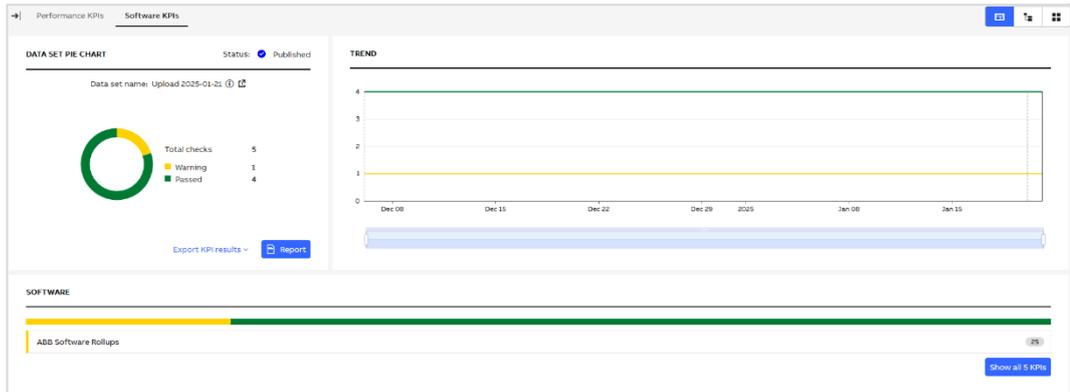


図 63: ソフトウェア KPI

2.2.9.3. イベントロード



イベントロードタブは、選択した SID でシステム監視ライセンスが利用可能で、そして CSM アプリケーションがインストールされている場合のみに表示される。

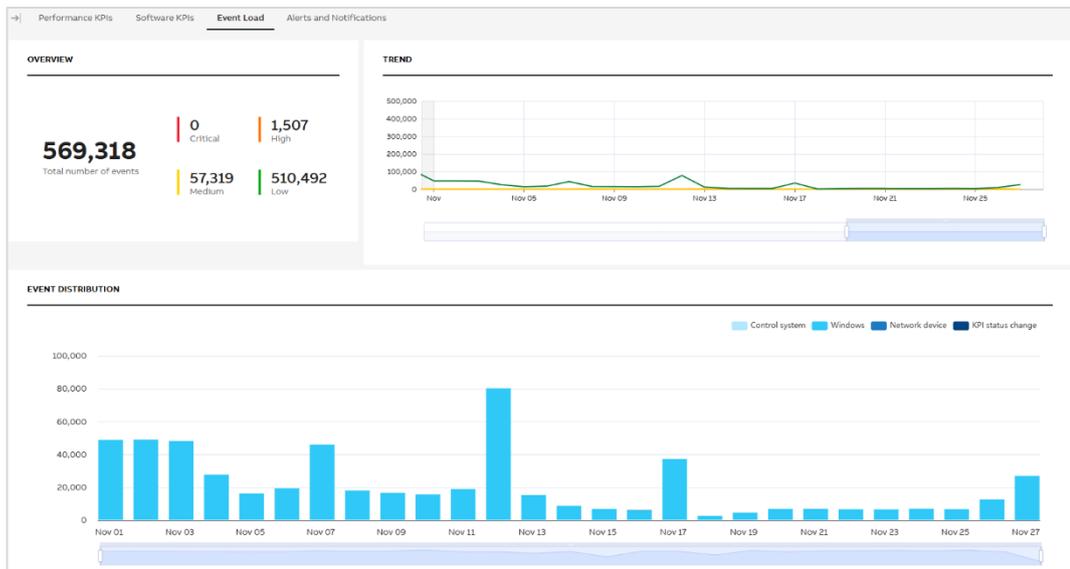


図 64: イベントロード

「イベントロード」タブには、フィルターエリアと 3 種類のウィジェットが表示されます。

以下のフィルターが利用できます:

The screenshot shows a 'Filters' panel with the following fields and counts:

- Category: 1
- Severity: 2
- From: 16.11.2022, To: 17.11.2023 (3)
- Source: 4

Buttons for 'Clear' and 'Apply' are located at the bottom of the filter panel.

図 65: フィルターエリア

1. **カテゴリ:** 分析したいカテゴリを選択してください。デフォルトでは、すべてのカテゴリのデータが表示されます。
2. **重大性:** イベントの重大度を選択します。デフォルトでは、すべての重症度のデータが表示されます。
3. **から/に:** デフォルトでは、「から」フィルターは **31** 日前に設定されています。**1** 年前より前の日付は選択できません。
4. **出典:** データを分析する特定のソースを選択します。デフォルトでは、すべてのソースからのデータが表示されます。

フィルターを選択したら、「適用」をクリックします。フィルターを選択したら、「適用」をクリックします。また、「キャンセル」をクリックすると、選択した内容を現在表示されているビューに戻すことができます。

また、「キャンセル」をクリックすると、選択した内容を現在表示されているビューに戻すことができます。

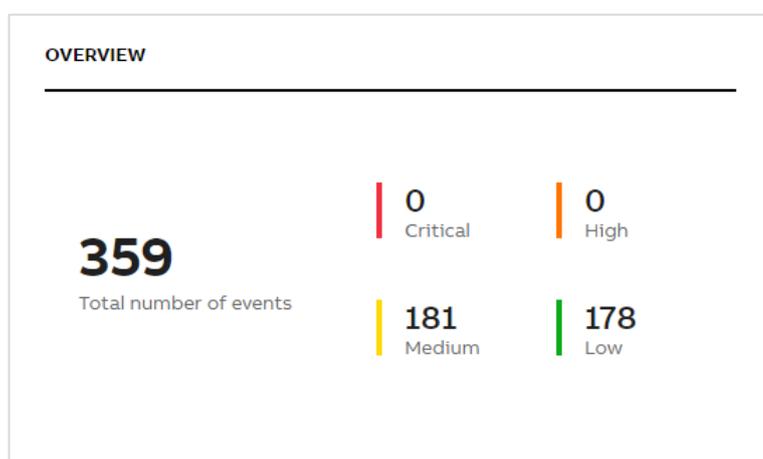


図 66: 概要

トレンドウィジェットは、過去 **1** 年間の重大度別のイベント総数を表示します（線の色はイベントの重大度に一致します）。フィルターで選択された日付範囲は白い背景で表示され、デフォルトで拡大表示されます。その他の日付範囲は灰色の背景で表示されます。

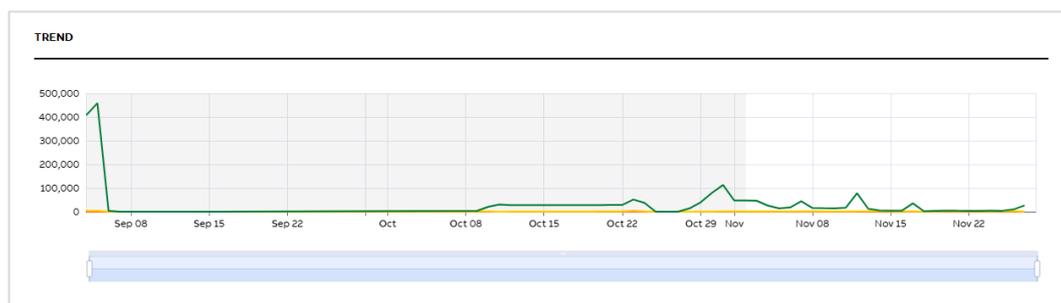


図 67: トレン

イベント配信のウィジェットは、**1** 日ごとのカテゴリごとのイベント分布を表示します。幅広い日付に対して、以下のルールによるマージメカニズムが実装されています:

- **31** 日以上を選択した場合、**1** 週間あたりのデータが表示されます。
- **31** 週以上を選択した場合、月ごとのデータが表示されます。

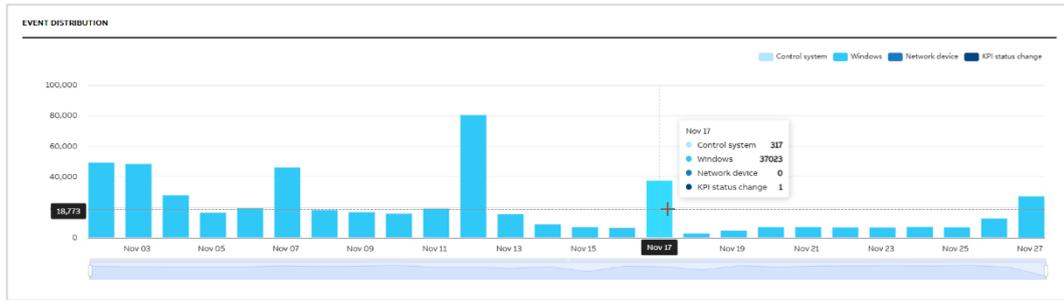


図 68: イベント配信

2.2.9.4. アラートと通知



「アラートと通知」タブは、選択した SID でシステム監視ライセンスが利用可能な場合にのみ表示される

フィルターエリアと 2 つの異なるウィジェットが、アラートと通知タブに表示されます:

- 通知内容の経年変化を概観できるトレンドグラフ
- カテゴリごとにグループ化された下部の通知。通知は、さまざまなビュー（グループ、ツリー、グリッド）を使用して閲覧することができます。

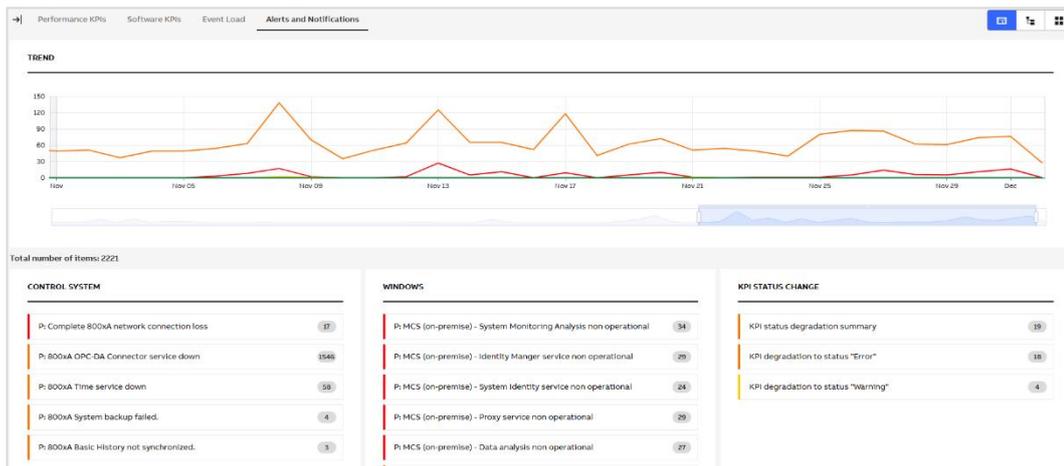


図 69: アラートと通知

いずれかのビュー（グループ、ツリー、グリッド）で特定の通知を選択すると、特定の通知に関するすべての関連情報を表示する通知詳細ページに移動します。

通知の詳細ページは以下のように構成されています:

1. 通知内容
2. 周波数ウィジェット

通知間を移動するには、フィルターセクションに表示される通知セレクターを使用できます。適用されたフィルターはすべて、セレクターに表示される通知に影響することに留意してください。

選択された通知に対して、右側に頻度ウィジェットが表示されます。選択された通知が、選択されたソースに対して何回トリガーされたかを表示します。通知が複数のソースから来た場合、デフォルトではすべてのソースからのデータがグラフに表示され、利用可能なソースのドロップダウンが表示されます（頻度ウィジェットの右上隅）。ドロップダウンで選択することで、特定のソースからのデータを見ることができます。デフォルトでは 1 ヶ月のデータが表示されるが、他の期間を選択することもできます。

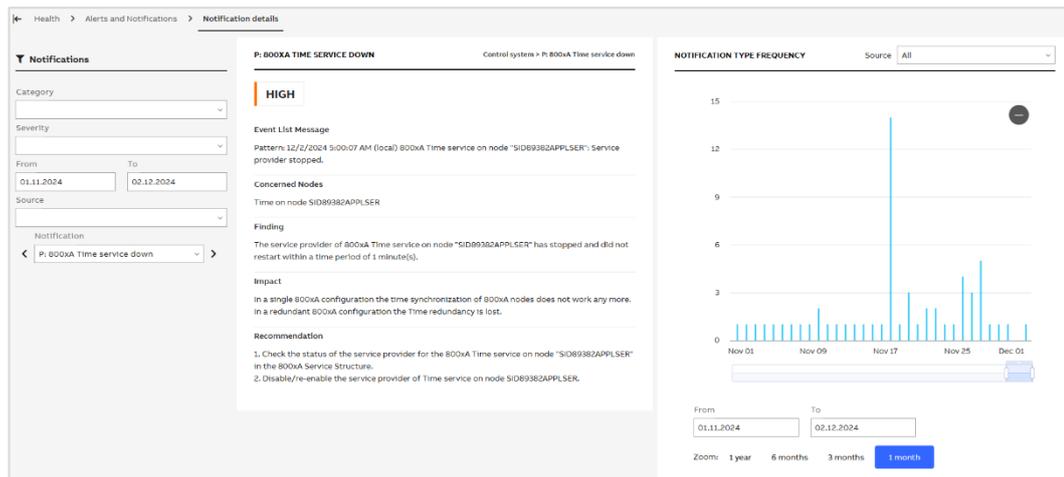


図 70: 通知詳細ページ

2.2.10. セキュリティ

セキュリティカテゴリは、複数のタブで構成されています:

1. システム概要
2. ノード概要
3. セキュリティ KPI
4. セキュリティ更新
5. マルウェア保護
6. バックアップ
7. メンテナンス
8. システムツール

すべてのタブは、MCS on-premise の CSWP 機能セットの一部であり、CSWP ライセンスが利用可能である場合とシステムユーティリティアプリケーションがインストールされている場合のみに使用できます。1つの例外があります。セキュリティ KPI このタブは通常使用可能です。

[セキュリティ KPI]タブ、[セキュリティ更新]タブ、「マルウェア保護」タブ、「バックアップ」タブには、タブに注意が必要なアイテムがあるかどうかを示すインジケータがあります。以下の表には、インジケータとその目的を示します。

表 2: タブインジケータ

インジケータ	説明
	表示するデータはありません。これは通常、表示するのに必要なデータを含むデータセットがないことを示しています。
	コレクターサービスは実行されておらず、タブに表示されるデータは信頼できません。インジケータに加えて、タブの背景もアクティブタブではない場合は赤で色付けされます。
	タブには、誤っている KPI またはノードがあります。インジケータ内の数字は、エラーの数を示しています。数値が 9 を超える場合、9+ として表示されます。

インジケータ	説明
	タブには、警告にある KPI またはノードがあり、誤って KPI またはノードはありません。インジケータの内側の数値は、いくつの警告があるかを示しています。数値が 9 を超える場合、 9+ として表示されます。
	エラーや警告はありません。

テーブルの順序は、インジケータの優先順位の順序を示しています。一度に 1 つのインジケータのみが表示されます。

次の章では、各タブの内容についてさらに詳しく説明します。

2.2.10.1. システム概要

システム概要 タブには、以下のタブの概要ステータスが表示されます。

- セキュリティ KPI
- セキュリティ更新
- マルウェア保護
- バックアップ

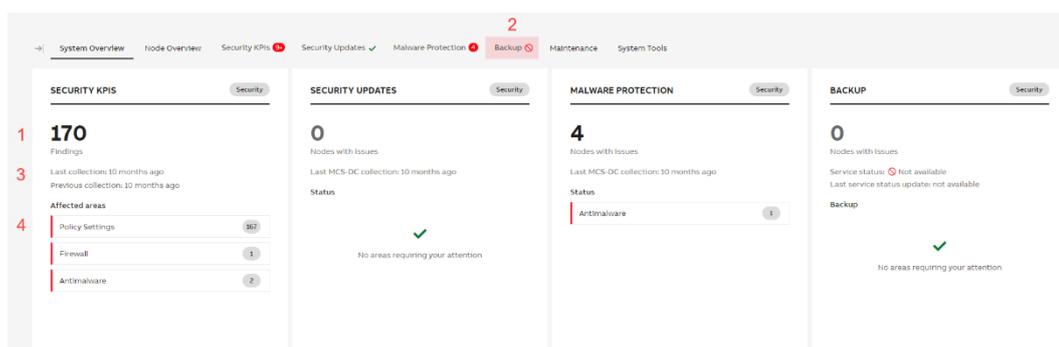


図 71: 要約ウィジェット

タブに応じて、ウィジェットには、発見された総数 (**セキュリティ KPI**) または問題が発生しているノードの数 (**セキュリティ更新**、**マルウェア保護**と**バックアップ**) が表示されます - [1]を参照してください。エラーや警告の有無にかかわらず、数字は常に合計数であります。そのため、[2]を参照し、最も深刻な問題の番号のみを表示しているタブ上の番号は、サマリーウィジェットに表示される番号と異なる可能性があります。

調査結果の数の下には、インジケータがでます。[3]を参照してください。セキュリティステータスのタブには「最終コレクション」の日付と「前のコレクション」の日付が表示されている。「セキュリティ更新」、「マルウェア保護」と「バックアップ」のタブには「サービスステータス」と「最終サービスステータス更新」の日付が表示される。この情報は、ウィジェットのデータの信頼性を判断するのに役立ちます。ABB My Control System - Data Collector modules (Malware Protection or Security Updates type) が有効になっている場合、それぞれのウィジェット上のこのデータは、最後の MCS-DC コレクション情報に置き換えられます。

最後に、影響を受けたエリア/状態が表示されます [4]。これは、エラーまたは警告がどの KPI エリアにあるかを示します。

2.2.10.2. ノード概要

このタブは、ノードごとでの詳細情報を表す。アクティブ化されたモジュールとノードに割り当てられた機能に応じて、示されている情報はノードごとに異なる場合があります。

タブの左側には、システムユーティリティの一部として構成されたノードのリストがあります（システムユーティリティの構成の詳細については、ドキュメント [ref.\[1\]](#)を参照）。任意のノードを選択して、そのノードの詳細を表示します:

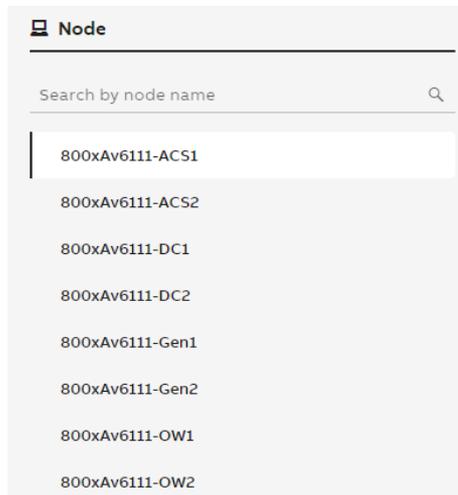


図 72: ノードリスト

詳細はメインペインに表示されます。表示される可能なウィジェットは、最初に左から右にリストされ、次に次の章で上から下にリストされています。

2.2.10.2.1. ノードの詳細

このウィジェットは常に表示されます。

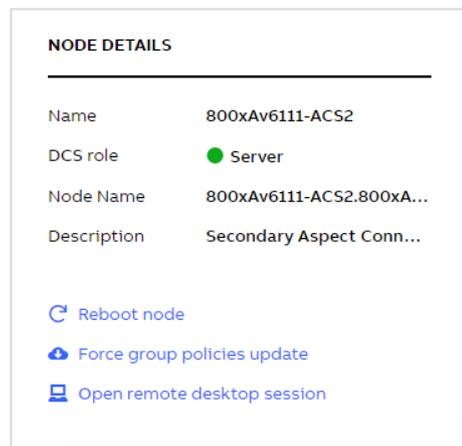


図 73: ノードの詳細ウィジェット

このウィジェットには、次の情報が表示されます。

- 名前
MCS on-premise のノードの表示名。
- DCS
ロールノードの DCS ロール（該当する場合のみが表示されます）。

- ノード名
ノードの FQDN 名。
- 説明
MCS on-premise で指定されているノードの説明。説明が長すぎる場合、3 つのドット (...) が追加され、ツールチップが説明全体を示します。

ウィジェットの下部には、そのノードの利用可能なアクションが表示されます:

- ノードを再起動します
再起動コマンドをノードに送信します。



ノードを再起動することが安全であり、生産環境に影響を与えないことを確認してください。



ノードを再起動すると、同じノードを対象にしたり、同じノードで実行したりする他のアクションが影響を受ける可能性があります。システムは、この場合の場合、アクションがスケジュールされるのを防ぎます。ノードを再起動するときに、他のアクションが実行されていないことを確認してください。



MCS On-Premise サーバーを再起動すると、進行中のアクションはバックグラウンドで実行され続けますが、MCS オンプレミスが利用できないときは、アクションを監視することはできません。

- 強制グループポリシーの更新

強制グループポリシーの更新 / コマンドをノードに送信します。これは、ドメインで定義されているグループポリシーを再適用することです。

- リモートデスクトップセッションを開きます

ノードへのリモートデスクトップ接続をセットアップするために使用できるリモートデスクトップファイルを作成します。



アクションが開始された場合、アクションが完了するまで他のアクションが一時的に無効になります。



その特定のアクションを実行するサービスが利用できないため、アクションが無効になる場合があります。これは、たとえば再起動の時一時的に利用できないためかもしれません。

2.2.10.2.2. セキュリティ更新

このウィジェットは、ノードが WSUS モジュールのメンバーとしてマークされた時、または ABB My Control System - Data Collector モジュール (セキュリティ更新タイプ) が有効になっている時のみに表示される。

WSUS モジュールの場合 :

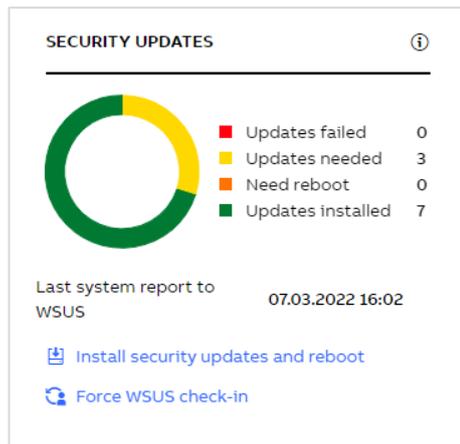


図 74: セキュリティ更新ウィジェット (WSUS モジュール)

このウィジェットには、選択したノードの現在のセキュリティ更新インストールステータスが表示されます。

次の情報を示します (重大度の順に) :

- インストールに失敗した更新の数はいくつですか。
- インストールする必要がある更新の数はいくつですか。
- インストール済みですが、完全にアクティブになるには再起動の必要がある更新の数はいくつですか。
- 正常にインストールされている更新の数はいくつですか。
- **WSUS** への最後のシステムレポートの日付と時刻

セキュリティの更新がインストールされるようにリストされていますが、ノードでそれを行おうとすると、更新が利用できないことになっているかもしれません。これは、**WSUS** サーバーがアップデートの完全なコンテンツをダウンロードしていないため、まだインストールできるようにならないからかもしれません。

更新を正常にインストールした場合、正常にインストールされた更新の数が増加していない可能性があります。これは、**Windows** の更新が累積更新であるためであり、インストールされた更新は以前にインストールされた更新に置き換えられます。

右上隅の情報アイコンをクリックすると、同じテキストが表示されます。

ウィジェットの下部には、そのノードの利用可能なアクションが表示されます:

- セキュリティの更新と再起動をインストールします

更新パッチを送信し、ノードにインストールされたコマンドを再起動します。全ての **System 800XA** および **Symphony Plus** の制御システムサービスが最初に停止されます。



更新アクションを実行する前に、確認ダイアログに慎重に表示されているメッセージをお読みください。



ノードを更新しても安全であり、生産環境に影響を与えないことを確認してください。



ノードを更新すると、同じノードでターゲットまたは実行する他のアクションが影響を受ける可能性があります。システムは、この場合の場合、アクションがス

スケジュールされるのを防ぎます。ノードを更新するときに、他のアクションが実行されていないことを確認してください。



MCS On-Premise サーバーを再起動すると、進行中のアクションはバックグラウンドで実行され続けますが、**MCS** オンプレミスが利用できないときは、アクションを監視することはできません。

- 強制 **WSUS** チェックイン
コマンドを送信して、ノードの現在のパッチステータスを **WSUS** サーバーにノードに報告します。



アクションが開始された場合、アクションが完了するまで他のアクションが一時的に無効になります。



その特定のアクションを実行するサービスが利用できないため、アクションが無効になる可能性があります。これは、たとえば再起動の時一時的に利用できないためかもしれません。

ABB My Control System - Data Collector module には、

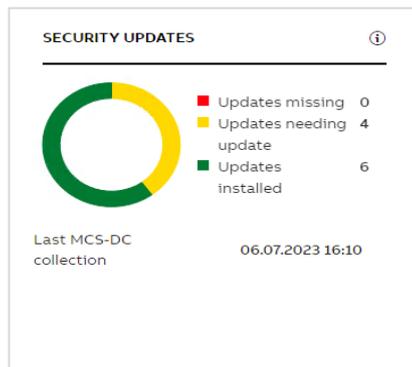


図 75: セキュリティ更新ウィジェット (**ABB My Control System - Data Collector module**)

このウィジェットには、選択したノードの現在のセキュリティ更新インストールステータスが表示されます。

次の情報を示します（重大度の順に）：

- 欠落している更新の数はいくつですか。
- 更新する必要があるアップデートの数はいくつですか。
- 正常にインストールされている更新の数はいくつですか。

セキュリティの更新は、集中管理システムが利用できないため、手動でインストール/更新する必要があります。

アップデートを正常にインストールした場合、正常にインストールされた更新の数が増加していない可能性があります。これは、**Windows** の更新が累積更新であるためであり、インストールされた更新は以前にインストールされた更新に置き換えられます。



作成または更新されたノードのデータが表示されるまでに最大 1 時間かかることがあります。

2.2.10.2.3. マルウェア保護

このウィジェットは、ノードが **ePO** または **SEPM** モジュールのメンバーとしてマークされている時、または **ABB My Control System - Data Collector** モジュール（セキュリティ更新タイプ）が有効になっている時のみに表示されます。



作成または更新されたノードのデータが表示されるまでに最大 **1 時間** かかることがあります。

EPO モジュールの場合：

MALWARE PROTECTION	
Agent	Allowlisting
Version ✓ 5.7.8.262	Engine Version ✓ 8.3.7.19
Last Communication ✓ 19.10.2023 06:08	Solidification State ✓ Solidified
Antivirus	Operation Mode ✓ Enabled
Engine Version ✓ ENS 10.7.0.3468	Local CLI Access ✓ Restricted
Definition Version ✓ 5316.0	Policy Violations ✓ 0
	Last Inventory Report ✓ 18.10.2023 18:10

フィギュ 76 アマルウェア保護ウィジェット（**ePO** モジュール）

このウィジェットは、ノード上のすべての監視されている **ePO** 管理ソフトウェアのステータスを示しています。

- エージェント

ePO エージェントのステータスがノードに展開されました。このセクションには、検出されたバージョンのエージェントが表示され、エージェントが最後に **ePO** サーバーと通信したときに表示されます。

このバージョンは、ローカル **ePO** メインリポジトリで利用可能なエージェントバージョンと比較されます。バージョンが一致する場合、グリーンチェックマークが表示されます。

最後の通信では、値が **1 時間** 以上古くない場合、グリーンチェックマークが表示されます。これは **ABB** が推奨するデフォルト値です。KPI プロファイルを構成することにより、カスタム値を設定できます。

- ウイルス対策

ノード上の **ePO** アンチウイルスソフトウェア（**VSE/ENS**）のステータス。このセクションは、ノードに対してアンチウイルス状態の監視が構成されている場合のみ表示されます。

このセクションには、ノードに検出されたアンチウイルスエンジン（**ENS** または **VSE**）の名前とバージョンと、現在使用されているウイルス定義ファイルのバージョンが表示されます。エンジンバージョンは、ローカル **ePO** メインリポジトリで利用可能なエンジンバージョンと比較されます。バージョンが一致する場合、グリーンチェックマークが表示されます。

定義バージョンは、ローカル **ePO** メインリポジトリ（**VSE**）で利用可能なバージョンまたは作成日（**ENS**）と比較されます。バージョンの比較では、バージョンがリポジトリ内のバージョンと一致する場合、バージョンの比較では、バージョンが **5 日** 以上古くない場合、緑色のチェックマークが表示されます。これは **ABB** が推奨するデフォルト値です。KPI プロファイルを構成することでカスタム値を設定できます

- AllowListing

ノード上の **ePO AllowListing** ソフトウェア（**SolidCore**）のステータス。このセクションは、ノードに対して **AllowListing** ステータスの監視が構成された場合のみ表示されます。

セクションには、検出された **AllowListing** エンジンのバージョン、ノード凝固状態、エンジンの動作モード、**Solidcore CLI** へのアクセスの許可と不許可、過去 **7 日間** の **AllowListing** ポリシー違反の数、およびノードが最後に在庫 **EPO** サーバーへ報告した時間が表示されます。

エンジンバージョンは、ローカル ePO メインリポジトリで利用可能なエンジンバージョンと比較されます。バージョンが一致する場合、グリーンチェックマークが表示されます。凝固状態は、「凝固」状態が検出された場合、グリーンチェックマークを示します。操作モードは、「有効」状態が検出された場合、緑色のチェックマークを示します。ローカル CLI アクセスは、状態が「制限されている」状態が検出された場合、グリーンチェックマークを示します。ポリシー違反は、過去 7 日以内に違反が検出されなかった場合、グリーンチェックマークを示します。これは、ABB が推奨するデフォルト値です。KPI プロファイルを構成することにより、カスタム値を設定できます。

最後のインベントリレポートは、値が 5 日以上古くない場合、Green Checkmark を示します。これは、ABB が推奨するデフォルト値です。KPI プロファイルを構成することにより、カスタム値を設定できます。

SEPM モジュールの場合：



図 77: マルウェア保護ウィジェット (SEPM モジュール)

このウィジェットは、SEPM マルウェア保護ソリューションのステータスを示しています。

- エージェントバージョン
ノードにインストールされた McAfee ePO または SEPM エージェントのバージョン。SEPM エージェントがノードで検出された場合、緑色のチェックマークが表示されます。
- 定義バージョン
ウイルス定義ファイル。定義ファイルは、ABB が推奨するデフォルト値であるグリーンチェックマークを表示するために、生後 5 日未満でなければなりません。KPI プロファイルを構成することにより、カスタム値を設定できます。
- 最後のエージェントコミュニケーション
管理サーバーとのエージェントの最後の成功した通信の日付と時刻。最後のエージェント通信が過去 5 時間以内にある場合、Green Checkmark が表示されます。これは、ABB が推奨するデフォルト値です。KPI プロファイルを構成することでカスタム値を設定できます

ABB My Control System - Data Collector module には、

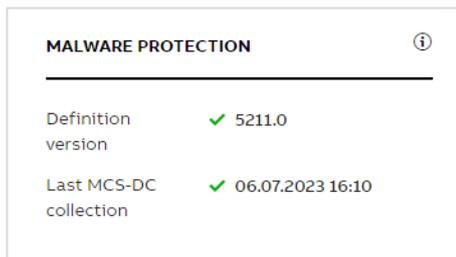


図 78: マルウェア保護ウィジェット (ABB My Control System - Data Collector module)

- 定義バージョン

– 最後の MCS-DC コレクション

Windows Defender モジュールの場合：

MALWARE PROTECTION			
Defender Product Info		Antivirus Status	
Product Version	4.10.14393.2248	Engine Version	1.1.12805.0
Service Version	4.10.14393.2248	Definition Version	✘ 1.221.14.0
Service Status	✔ Enabled	Real Time Protection	✔ Enabled
Scan Info		Threats Detected	✔ 0 threats detected in the last 30 days
Last Full Scan	✘ Not Detected		
Last Quick Scan	✔ 17.05.2024 10:47		

フィギュ 79 アマルウェア保護ウィジェット (Windows Defender モジュール)

このウィジェットは、ノード上の監視されている Windows Defender アプリケーションのステータスを示しています。

– ディフェンダー製品情報

ノードに展開された Windows Defender 製品の情報。このセクションには、製品とサービスの検出されたバージョン、およびサービスのステータスが表示されます。

ステータスは、サービスが有効になっているときに緑のチェックマークを表示します。それ以外の場合は赤十字が表示されます。

– スキャン情報

最後のスキャンの情報。セクションには、最後のフルスキャンの日時と最後のクイックスキャンが表示されます。

最後のスキャンが定義された制限内で実行された場合、緑のチェックマークを表示させます。延期の場合は黄色の感嘆マーク、または最後のスキャンが検出されない場合は赤十字を示す。



期限切れの制限は、Windows のディフェンダー内で定義されています。設定されていない場合、マルウェア保護 KPI は、期限切れの値が「不明」になるため、警告を生成します。

– ウイルス対策ステータス

ノード上のアンチウイルス溶液のステータス。このセクションには、検出されたエンジンのバージョン、ウイルス定義バージョン、リアルタイム保護状態、および過去 30 日以内に検出された脅威の数が表示されます。これは、ABB が推奨するデフォルト値です。KPI プロファイルを構成することでカスタム値を設定できます

定義バージョンは、5 日以内でない場合は緑色のチェックマークで表示されます。そうでなければ、ABB が推奨するデフォルト値である赤十字で表示されます。KPI プロファイルを構成することでカスタム値を設定できます

リアルタイムの保護は、緑色のチェックマークで表示されます。それが有効になっている場合は、赤十字で表示されます。

検出された脅威は、脅威が検出されていない場合、緑色のチェックマークで表示されます。そうでなければ、赤十字で表示されます。

2.2.10.2.4. バックアップ

このウィジェットは、ノードが **NetVault**、**Rapid Recovery**、または **Cyber Backup** モジュールのメンバーとマークされている場合にのみ表示されます。

Quest Netvault の場合：

現在のコンピューターに割り当てられているバックアップジョブが **1** つしかない場合、シングルバックアップ用のバックアップウィジェットが表示されます。

BACKUP	
Name	VM-Backup
Last Run	✓ 31.10.2023 00:00
Last Successful Run	✓ 31.10.2023 00:00
Next Run	✓ Not Detected
Available Backups	2

[▶ Start backup](#)

図 80: Quest NetVault のシングルバックアップ付きバックアップウィジェット

ウィジェットには、次の情報が表示されます。

- 名前
バックアップジョブの名前
- 最後の実行
バックアップジョブが最後に実行された日時
最後のバックアップジョブにエラーや警告がなかったときに、緑のチェックマークが表示されます。
オレンジ色の感嘆符は、最後のバックアップジョブに警告があるがエラーはありません。
最後のバックアップジョブにエラーがあったときに赤十字が表示されます。
- 最後の成功
バックアップジョブが最後に正常に実行された日時。バックアップジョブは、実行中に警告やエラーがなかった場合に成功したと認められる。
最後の成功したバックアップが **180** 日以上にならないときに、緑のチェックマークが表示されます。
オレンジ色の感嘆符は、最後の成功したバックアップが **180** 日以上になったときに表示されません。
利用可能なバックアップが成功していない場合、赤十字が表示されます。
- 次の実行
バックアップジョブが実行される予定の次の実行日と実行時刻。
バックアップジョブがスケジュールされていないとき、または次のランタイムが将来になったときに緑のチェックマークが表示されます。バックアップジョブがスケジュールされているときにオレンジ色の感嘆符が表示されますが、次のランタイムは過去です
バックアップジョブがスケジュールされているときに赤十字が表示されますが、次のランタイム情報はありません。
- 利用可能なバックアップ
バックアップジョブのバックアップの数はいくつですか。



物理的なバックアップは通常、外部ストレージプロバイダーによって管理されますが、インスタンスはバックアップジョブの履歴を反映し、**Quest Netvault** 自体によって管理されます。各ソリューションには独自のライフサイクルルーチンがあるため、これらの数値は同期していない可能性があります。**Quest Netvault** に有効なインスタンスを持つバックアップのみが利用可能なバックアップとして表示されることに注意してください。

- バックアップを開始します

バックアップ開始をクリックすると、現在表示されているバックアップジョブを開始するためにリクエストが送信されます。確認ダイアログが表示されます。承認されると、リクエストは **Quest NetVault** に送信されます。



ノードをバックアップすることは安全であり、生産環境に影響を与えないことを常に確認してください。



そのノードの再起動を求めるバックアップを開始するとき、同じノードでターゲットしている、または実行している他のアクションが影響を受ける可能性があります。システムは、この場合の場合、アクションがスケジュールされるのを防ぎます。バックアップを開始するとき、他のアクションが実行されていないことを確認してください。



バックアップには、そのノードの再起動が含まれる場合があります。**MCS on-premise** サーバーのバックアップ時に進行中のアクションは引き続きバックグラウンドで実行されますが、**MCS** オンプレミスが利用できない間、アクションを監視することはできませんから、ご確認ください。



アクションが開始された場合、アクションが完了するまで他のアクションが一時的に無効になります。



その特定のアクションを実行するサービスが利用できないため、アクションが無効になる可能性があります。これは、たとえば再起動の時一時的に利用できないためかもしれません。

複数のバックアップ用のバックアップウィジェットは、現在のコンピューターに1つ以上のバックアップジョブが割り当てられている場合に表示されます。

BACKUP			
NAME	LAST RUN	NEXT RUN	ACTIONS
Data-Backup	16.11.2023 00:00	31.10.2023 00:00	▶ Start backup
VM-Backup	31.10.2023 00:00	-	▶ Start backup

図 81: Quest NetVault の複数のバックアップを備えたバックアップウィジェット

ウィジェットには、単一のバックアップ用のバックアップウィジェットのプロパティのサブセットが表示されます。

各バックアップジョブの色表示は、ジョブの詳細のすべてのプロパティに基づいて評価されます。重大度が最も高い指標が示されています。

次の特性が示されています。

- 名前
- 最後の実行
- 次の実行

開始ジョブがクリックされると、対応するバックアップジョブを開始するためにリクエストが送信されます。確認ダイアログが表示されます。承認されると、リクエストは **Quest NetVault** に送信されます。

バックアップジョブの名前をクリックすると、モーダルダイアログで詳細が開きます。

Backup job details	
Name	VM-Backup
Last Run	✓ 31.10.2023 00:00
Last Successful Run	✓ 31.10.2023 00:00
Next Run	✓ Not Detected
Available Backups	2

図 82: Quest Netvault のバックアップウィジェットの詳細

ここに示されている情報は、単一のバックアップのバックアップウィジェットの情報と一致しません。

Acronis Cyber Protect には :

現在のコンピューターに割り当てられたバックアップ計画が 1 つしかない場合、シングルバックアップ用のバックアップウィジェットが表示されます。

BACKUP	
Name	800xAv6111-OW1 Full Backup
Last Run	✓ 09.12.2022 22:00
Last Successful Run	⚠ 09.12.2022 22:00
Next Run	✓ 17.11.2023 22:00
Backup Type	Disk

図 83: Acronis Cyber Protect 用のシングルバックアップ付きバックアップウィジェット

- 名前
バックアップ計画の名前
- 最後の実行
バックアップ計画が最後に実行された日時
最後のバックアップ計画にエラーや警告がなかったときに、緑のチェックマークが表示されます。
オレンジ色の感嘆符は、最後のバックアップ計画に警告があるがエラーはなかったときに表示されます。
最後のバックアップ計画にエラーがあったときに赤十字が表示されます。
- 最後の成功
バックアップジョブが最後に正常に実行された日時。バックアッププランは、実行中に警告やエラーがなかった時に成功したと認められます。
最後の成功したバックアップが **180** 日以上にならないときに、緑のチェックマークが表示されます。
オレンジ色の感嘆符は、最後の成功したバックアップが **180** 日以上古いときに表示されます。
利用可能なバックアップが成功していない場合、赤十字が表示されます。

- 次の実行
バックアップ計画が実行される予定の次の実行日と時刻。
バックアップ計画がスケジュールされていないとき、または次のランタイムが将来的にあるときに緑のチェックマークが表示されます

バックアップ計画がスケジュールされているときにオレンジ色の感嘆符が表示されますが、次のランタイムは過去です

バックアップ計画がスケジュールされているときに赤十字が表示されますが、次のランタイム情報はありません。

- バックアップタイプ
このバックアッププラン用に構成されたバックアップのタイプ。

複数のバックアップのバックアップウィジェットは、現在のコンピューターに割り当てられているバックアッププランが複数ある場合に表示されます:

BACKUP			
NAME	LAST RUN	LAST SUCCESSFUL RUN	NEXT RUN
800xAv6111-OW1 Full Backup	09.12.2022 22:00	09.12.2022 22:00	17.11.2023 22:00
800xAv6111-OW2 Full Backup	09.12.2022 22:00	09.12.2022 22:00	17.11.2023 22:00

図 84: Acronis Cyber Protect 用の複数のバックアップを備えたバックアップウィジェット

ウィジェットには、単一のバックアップを備えたバックアップウィジェットのプロパティのサブセットが表示されます。

各バックアップジョブの色表示は、ジョブの詳細のすべてのプロパティに基づいて評価されます。重大度が最も高い指標が示されています。

次の特性が示されています。

- 名前
- 最後の実行
- 最後に成功した実行
- 次の実行

バックアップ計画の名前をクリックすると、モーダルダイアログで詳細が開きます:

Backup plan details		✕
Name	800xAv6111-OW1 Full Backup	
Last Run	✓	09.12.2022 22:00
Last Successful Run	⚠	09.12.2022 22:00
Next Run	✓	17.11.2023 22:00
Backup Type	Disk	
		Close

図 85: Acronis Cyber Protect のバックアップウィジェットの詳細

ここに示されている情報は、単一のバックアップのバックアップウィジェットの情報と一致します。

クエストの迅速な回復のため：

BACKUP	
Last Snapshot	✓ 28.02.2024 13:00
Last Successful Base Snapshot	✓ 01.02.2024 13:00
Last Successful Incremental Snapshot	✓ 28.02.2024 13:00
Next Snapshot	✓ 29.02.2024 13:00
Agent Status	✓ Online

図 86: バックアップウィジェット

このウィジェットは、このノードの迅速な回復によって報告された最新のステータスを示しています。

次の特性が示されています。

- 最後のスナップショット
このノード用に最後のスナップショットが作成されたときのタイムスタンプは、撮影されたスナップショットの種類に関係なく。
- 最後の成功したベーススナップショット
このノード用に最後のベーススナップショットが作成されたときのタイムスタンプ。
- 最後に成功した増分スナップショット
このノードに対して最後に増分スナップショットが作成されたときのタイムスタンプ。
- 次のスナップショット
このノード用に最後の増分スナップショットが作成されたタイムスタンプ。
- エージェントステータス
ノード上の迅速な回復エージェントのステータス。

2.2.10.2.5. メンテナンス

このウィジェットは常に表示されます。

MAINTENANCE				
TASK	STATE	STATE DETAILS	STARTED ↓	FINISHED
Run Group Policy Update	Running	10% of activity "Force Group Policy Update" completed.	28.12.2021 14:01:05	-
Run Update Status Report	Finished	Node 800xAv6111-OW2 has been forced to send the current update report to WSUS	28.12.2021 13:59:25	28.12.2021 13:59:50
Restart Computer	Finished	Reboot of node 800xAv6111-OW2 completed	28.12.2021 13:55:55	28.12.2021 13:58:55
Install Security Updates	Finished	Node 800xAv6111-OW2 has been updated and is back online	09.12.2021 15:37:31	09.12.2021 15:39:15

図 87: メンテナンスウィジェット

このウィジェットは、ノードで実行されたメンテナンスアクションが左から右にリストされていることを示しています。

- 状態
メンテナンスアクションのステータスに関する色表示。

- タスク
実行されたメンテナンスタスク。
- 状態
メンテナンスタスクの状態。
- 状態の詳細
メンテナンスタスクの詳細。
- 始まった
タスクが開始されたとき。
- 終了した
タスクが終了したとき。

2.2.10.2.6. アスペクトディレクトリステータス

このウィジェットは、アスペクトサーバーとして機能する **System 800xA** ノードに対してのみ表示され、**System 800xA** からデータを収集するときに拡張クエリモードがアクティブになります。

ASPECT DIRECTORY STATE			
SERVER	ROLE	CONNECTED CLIENTS	OBJECT COUNT
800xA-ASCS1	Primary	8	1001
800xA-ASCS2	Fallback	8	1001

図 88: アスペクトディレクトリ状態ウィジェット

このウィジェットは、すべてのアスペクトサーバーのアスペクトディレクトリの開始を示しています。現在、どのサーバーがマスターとしてアクティブであり、どのサーバーがスレーブとして機能しているかを示しています。また、各サーバーのアスペクトディレクトリで利用可能なアスペクトオブジェクトの量だけでなく、各サーバーの接続クライアントの数も表示されます。アスペクトオブジェクトの数は、すべてのサーバーで同じでなければなりません。そうでない場合、それはアスペクトシステムの問題を示します。

2.2.10.2.7. 800XA サービス

このウィジェットは、サーバーとしてマークされ、少なくとも **1** つのサービスを実行している **System 800xA** ノードに対してのみ表示されます。

800XA SERVICES	
SERVICE	LAST UPDATE
Event Collector	28.12.2021 14:05:21
OpcDA_Connector	28.12.2021 14:05:21

[Show all 800xA services](#)

図 89: 800XA サービスウィジェット

このウィジェットには、**800XA** サービスのステータスが表示されます。サービスのリストは長い
ため、デフォルトでは誤ったサービスのみが表示されます。**すべての 800XA サービスを表示**
して、アスペクトシステム内のすべてのサービスをリストします。

2.2.10.2.8. 基本的な歴史

このウィジェットは、基本的な履歴機能を提供するシステム **800xA** ノードに対してのみ表示さ
れ、システム **800XA** からデータを収集するときに拡張クエリモードがアクティブになります。



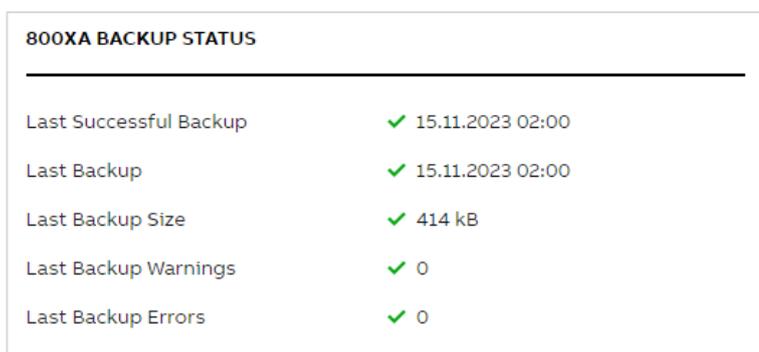
BASIC HISTORY	
Basic history	✓ 100% sync
Basic History on 800XAV6111-ACS1	100% sync
Basic History on 800XAV6111-ACS2	100% sync

図 90: 基本的な履歴ウィジェット

このウィジェットは、**800XA** システムの基本履歴プロバイダーのステータスを示しています。基
本的な履歴プロバイダーは常に同期する必要があります。そうでない場合、それはシステムの基本
的な履歴の問題を示しています。

2.2.10.2.9. 800XA バックアップステータス

このウィジェットは、役割アスペクトサーバーを備えたシステム **800XA** ノードのみで表示され、
機能がバックアップステータスデータを収集したときに管理者によってアクティブ化されます。



800XA BACKUP STATUS	
Last Successful Backup	✓ 15.11.2023 02:00
Last Backup	✓ 15.11.2023 02:00
Last Backup Size	✓ 414 kB
Last Backup Warnings	✓ 0
Last Backup Errors	✓ 0

図 91: 800XA バックアップステータスウィジェット

このウィジェットは、システム **800XA** で取得したシステムバックアップのステータスを示してい
ます。バックアップが取得されていない場合、またはバックアップ情報が収集されていない場合、
エラーが表示されます。少なくとも 1 つのシステムバックアップが検出された場合、次の情報が表
示されます。

- 最後のバックアップが成功しました

最後の成功したバックアップが取得された日付を示します。エラーも警告もなく、データがバ
ックアップされていない場合、バックアップは成功したと見なされます。

60 日以内のバックアップが成功したときに緑のチェックマークが表示されます。
バックアップが成功したが **60** 日以上の場合、オレンジ色の感嘆符が表示されます。
成功したバックアップが存在しない場合、赤十字が表示されます。

- 最後のバックアップが成功しました

最後の成功したバックアップが取得された日付を示します。

60 日以内のバックアップが存在すると、緑色のチェックマークが表示されます。
最後のバックアップが **60** 日以上古いときに、オレンジ色の感嘆符が表示されます。

- 最後のバックアップサイズ

最後のバックアップでバックアップされたデータの量を示します。
データがバックアップされたときに緑のチェックマークが表示されます。
データがバックアップされていないときに赤十字が表示されます。

- 最後のバックアップ警告

最後のバックアップ中の警告数を表示します。
最後のバックアップ中に警告が発生しなかったときに緑のチェックマークが表示されます。
最後のバックアップ中に警告が発生したときに赤十字が表示されます。

- 最後のバックアップエラー

最後のバックアップ中のエラー数を表示します。
最後のバックアップ中にエラーが発生しなかったときに緑のチェックマークが表示されます。
最後のバックアップ中にエラーが発生したときに赤十字が表示されます。

2.2.10.3. セキュリティ KPI

セキュリティ KPI ページは、パフォーマンスと健康 KPI のページと同じように構築されます。3 つの異なるセクションが表示されます:

- 左上の円グラフは、選択したデータセットのすべての KPI 結果をわかりやすく表示します。このカテゴリからレポートを作成/アクセスするには、レポートボタンをクリックします。選択したカテゴリまたはすべての KPI をエクスポートするには、[KPI 結果をエクスポート] ボタンを使用します。
- 右上のトレンドグラフは、時間の経過とともに結果がどのように変化したかを概観できます。
- 個々のチェックの結果を示す KPI を下部に表示します。

ナビゲーションと KPI タブのさまざまなビューの詳細については、の章を参照してください 2.2.7 概要 エリア。

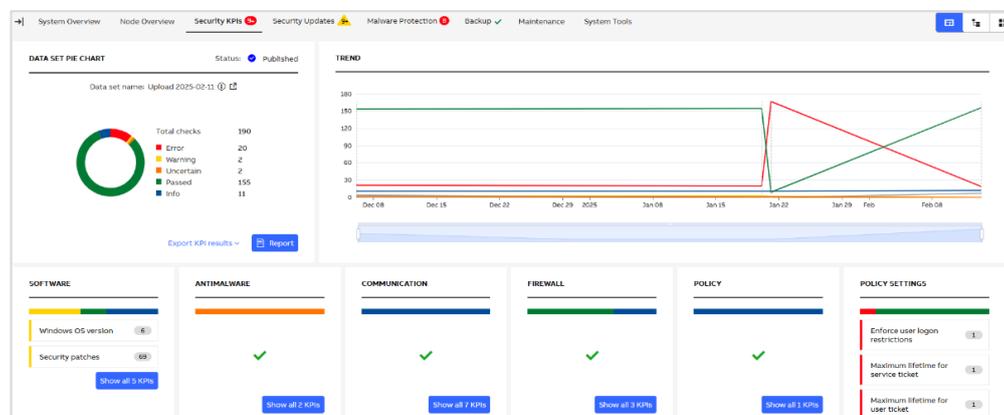


図 92: セキュリティ KPI

2.2.10.4. セキュリティ更新



MCS on-premise の他のビューとは対照的に、このタブは、KPI 指向ではなく、ドーナツチャートとトレンドデータノード指向を示しています。

以下の情報が表示されます:

- 左上の円グラフは、選択したデータセットのノードステータスをわかりやすく表示します。選択したカテゴリまたはすべての KPI をエクスポートするには、[KPI 結果をエクスポート] ボタンを使用します。
- 右上のトレンドグラフは、ノードのステータスが時間とともにどのように変化したかを概観します。
- 個々のチェックの結果を示す KPI を下部に表示します。

ナビゲーションと KPI タブのさまざまなビューの詳細については、 の章を参照してください 2.2.7 概要 エリア。

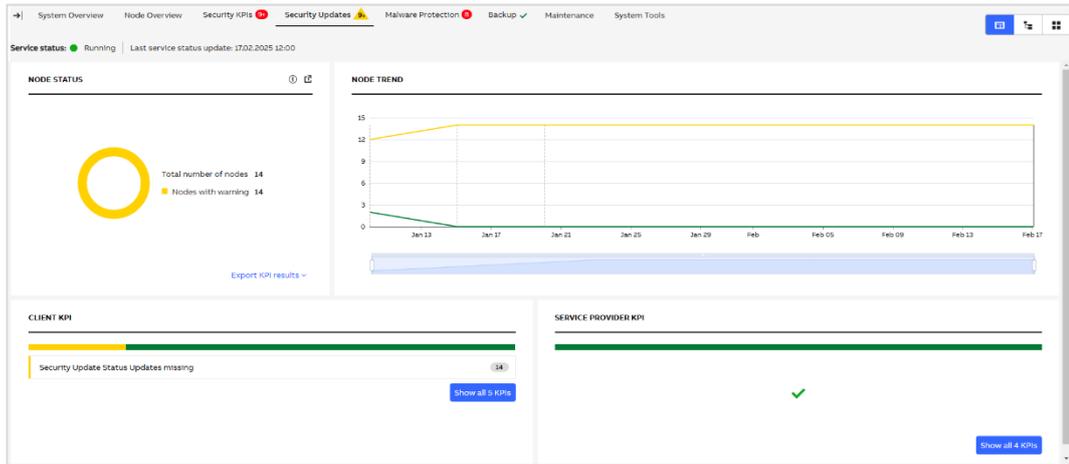


図 93: セキュリティ更新

2.2.10.5. マルウェア保護



MCS on-premise の他のビューとは対照的に、このタブは、KPI 指向ではなく、ドーナツチャートとトレンドデータノード指向を示しています。

以下の情報が表示されます:

- 左上の円グラフは、選択したデータセットのノードステータスをわかりやすく表示します。選択したカテゴリまたはすべての KPI をエクスポートするには、[KPI 結果をエクスポート] ボタンを使用します。
- 右上のトレンドグラフは、ノードのステータスが時間とともにどのように変化したかを概観します。
- 個々のチェックの結果を示す KPI を下部に表示します。

ナビゲーションと KPI タブのさまざまなビューの詳細については、 の章を参照してください 2.2.7 概要 エリア。

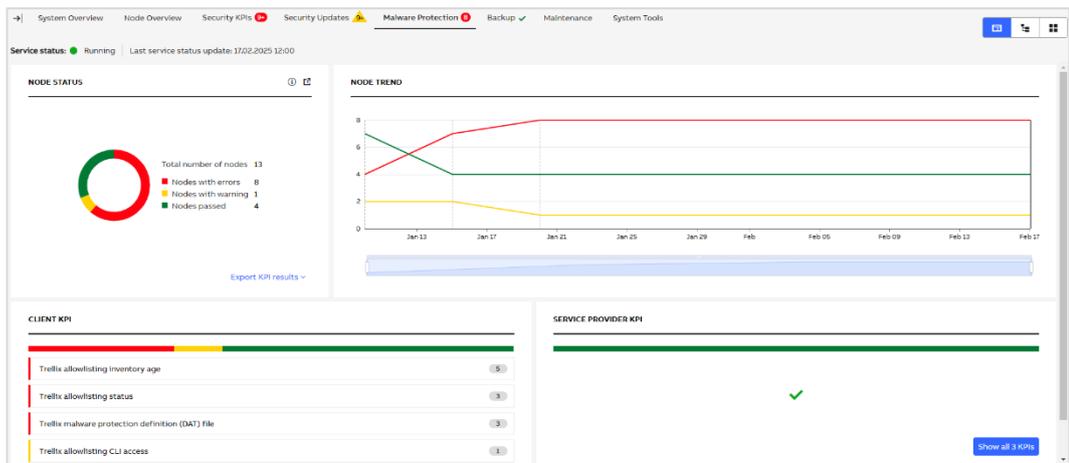


図 94: マルウェア保護

2.2.10.6. バックアップ



MCS on-premise の他のビューとは対照的に、このタブは、KPI 指向ではなく、ドーナツチャートとトレンドデータノード指向を示しています。

以下の情報が表示されます:

- 左上の円グラフは、選択したデータセットのノードステータスをわかりやすく表示します。選択したカテゴリまたはすべての KPI をエクスポートするには、[KPI 結果をエクスポート] ボタンを使用します。
- 右上のトレンドグラフは、ノードのステータスが時間とともにどのように変化したかを概観します。
- 個々のチェックの結果を示す KPI を下部に表示します。

ナビゲーションと KPI タブのさまざまなビューの詳細については、の章を参照してください 2.2.7 概要エリア。

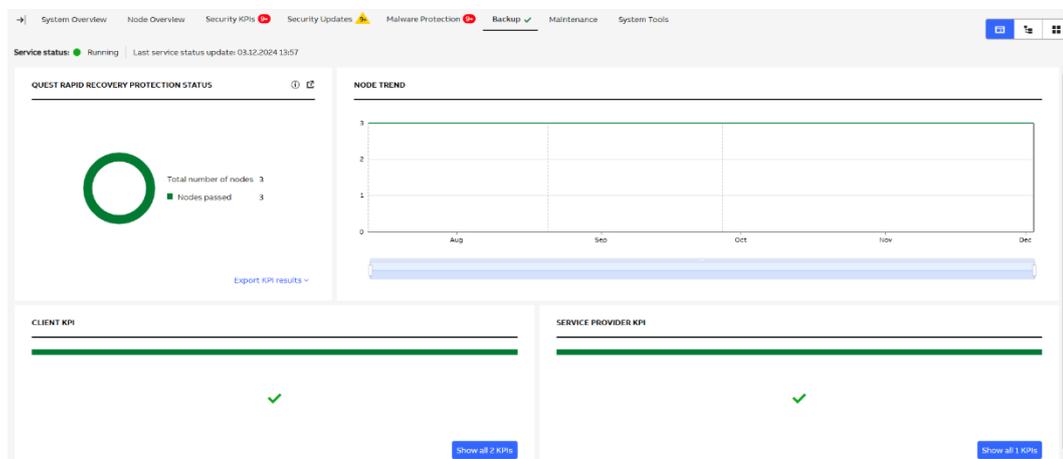


図 95: バックアップ

2.2.10.7. メンテナンス

このタブは、すべてのノードの包括的な概要を示しており、その状態と詳細で実行された最後のアクションを示し、アクションを実行できます。最も使用されるアクションは直接選択に使用できます。3つのドット (⋮) を使用してポップアップメニューを開くことで、使用されないアクションが使用できます。

NODE	LAST ACTION	STATE	STATE DETAILS	ACTIONS
800xAv6111-ACS2	Restart Computer	Finished	Reboot of node 800xAv6111-ACS2 completed	Reboot Update ⋮
800xAv6111-DC1				Reboot Update Force GP Update
800xAv6111-DC2				Reboot Update Force WSUS check-in
800xAv6111-OW1	Restart Computer	Finished	Reboot of node 800xAv6111-OW1 completed	Reboot Update ⋮
800xAv6111-OW2	Run Group Policy Update	Finished	Group policies on Node 800xAv6111-OW2 have been updated	Reboot Update ⋮
BackupServer (Acronis)				Reboot ⋮

図 96: メンテナンス

アクションに関する詳細情報を取得するには、次の章を参照してください:

- 再起動とフォース GP の更新については、章で説明します 2.2.10.2.1
- 更新と強制 WSU のチェックインについては、章 2.2.10.2.2 で説明される。

- バックアップについては、章 2.2.10.2.4 で説明されます

2.2.10.8. システムツール

このタブは次の機能を提供します。

2.2.10.8.1. システムリモートアクセス

これにより、ドメイン内の事前定義されたユーザーを有効にすることができ、リモートアクセスに使用できます。



ACCOUNT NAME	STATUS	PASSWORD	EXPIRATION	ACTIONS
800xAv611.local\800xAv611.local\50C	🔒 Locked			Activate
800xAv6111.local\RemoteService	✅ Enabled 🔍 📄	2h 58m 57s Extend	Deactivate

図 97: システムリモートアクセスウィジェット

左から右へ、ウィジェットが表示します。

- アカウント名
リモートアクセスユーザーのアカウント名。
- 状態
アカウントがロックまたは有効になっている場合。
- パスワード
アカウントの一時的なパスワード。
- 有効期限
アカウントが期限切れになるまで、どのくらいの時間が残っていますか
- アクション
アカウントをアクティブ化または非アクティブ化するアクション。

アクティブ化をクリックすると、確認ダイアログが表示されます。



図 98: アカウント確認ダイアログをアクティブ化します

Activate アカウントをクリックされると、ロックされたアカウントが有効になり、このアカウントの新しいパスワードが生成されます。生成された新しくパスワードの長さは、**SystemAccessAction** サービスの設定ごとです。また、有効期限タイマーが開始されます。有効期限に使用される時間は、システムリモートアクセスモジュール設定で設定されています。

アカウントがアクティブ化されると、このアカウントに対して追加のアクションを実行できます:

表 3: システムリモートアクセスアクションアイコン

アクション	説明
	生成されたパスワードを表示します
	生成されたパスワードを非表示にします
	パスワードをクリップボードにコピーします
	有効期限の時間をリセットします
Deactivate	アカウントを非アクティブ化します。



アクションが開始された場合、アクションが完了するまで、そのアカウントの他のアクションは一時的に無効になります。



その特定のアクションを実行するサービスが利用できないため、アクションが無効になる可能性があります。これは、たとえば再起動の時一時的に利用できないためかもしれません。

リモートアクセス **Web** インターフェイス、通常は **RAP VSE Web** インターフェイスへのリンクは、ウィジェットの右上隅にあります。このリンクをクリックすると、**オープンリモートアクセス Web インターフェイス**には、開く前に開く URL が表示されます:



図 99: リモートアクセス **Web** インターフェイス確認ダイアログを開きます

[続行]をクリックすると、ブラウザの新しいタブで **Web** インターフェイスが開きます。

2.2.10.8.2. 植物の分離

このウィジェットにより、ユーザーはシステムを配置したり、分離モードから外したりできます。通信が現在許可されている場合（アダプターまたはファイアウォールは隔離モードではありません）、グリーンラベルで表示されます。

PLANT ISOLATION		
ADAPTER	STATE	ACTIONS
 adapter1 - host1	Allowed	 Block
 adapter2 - host2	Allowed	 Block

図 100: ネットワーク通信が許可されています - ネットワークアダプターの例

PLANT ISOLATION		
CONNECTION	STATE	ACTIONS
 Firewall Policy 1-FW1	Blocked	 Allow
 Firewall Policy 2-FW2	Allowed	 Block

図 101: ネットワーク通信が許可されています - ファイアウォールの例

ブロックをクリックすると、ネットワーク通信が制御システムへの通信を無効にすることにより、システムが隔離モードになります。孤立モードになると、ウィジェットのステータスがそれに応じて更新されます。

許可をクリックして、ネットワーク通信を有効にします。



その特定のアクションを実行するサービスが利用できないため、アクションが無効になる可能性があります。これは、たとえば再起動の時一時的に利用できないためかもしれません。



植物の分離の構成に応じて、ネットワーク通信をブロックするとシステム操作に影響を与える可能性があります。

2.2.11. 在庫

在庫カテゴリは、4 つのタブで構成されています。

1. ハードウェアライフサイクル (ハードウェアライフサイクルの分析結果を示す)
2. 制御システムのライフサイクル (インストールされている制御システムのバージョンのライフサイクルを表示)
3. アセット (各カテゴリの詳細と分析結果とともに、全アセットの概要を表示する)
4. コントロール構造 (コントローラーに関する概要を示す)
5. ソフトウェア (ABB およびサードパーティのソフトウェアが設定されたすべてのコンピュータを表示する)

2.2.11.1. ハードウェアライフサイクル

「ハードウェアライフサイクル」タブには、ライフサイクル分析のすべての結果が表示されます。

概要領域は、2 つの異なるウィジェットで構成されています。

- 左上の円グラフは、最新のインベントリ情報からライフサイクルの全段階をわかりやすく示しています。このカテゴリからレポートを作成/アクセスするには、レポートボタンをクリックします。
- 下部の **KPI** は、個々のコンポーネントのライフサイクルフェーズを示します。



図 102: ハードウェアライフサイクル - グループ表示

グループの表示では、現在のライフサイクルステータス（アクティブ、クラシック、限定、時代遅れ）に従ってデバイスが分類されます。完全に判定できない装置は「目視検査が必要」に分類されます。目視検査 0 要なモジュールのデバイスタイプを設定する方法については、章を参照してください。

すべてのグループに、デバイスの名前と見つかったデバイスの数が表示されます。さらに、インジケータは、どのデバイスで交換が可能かを示します。

正確なモジュールのバージョンが特定できないが、すべてのモジュールのバージョンが同じライフサイクルステータスを持つ場合、インジケータがデバイス名の横に表示され、カーソルを合わせるとツールチップが表示されます。

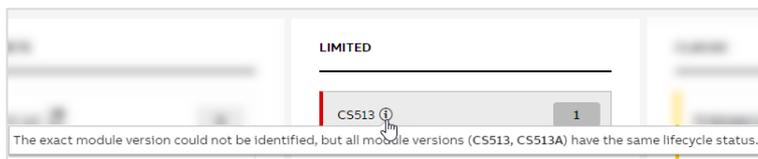


図 103: ハードウェアライフサイクルのツールチップ

デバイスをクリックすると、追加情報のポップアップが開きます。

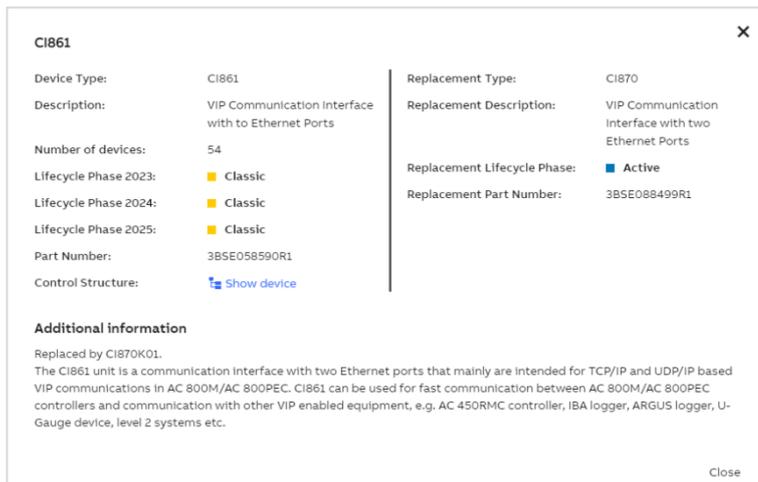


図 104: ハードウェアライフサイクル - ポップアップ

リスト表示では、すべてのデバイスと追加情報が 1 つの統合リストに表示されます。リストは、ライフサイクルステータスが最も悪く（時代遅れ）、デバイス数が最も多いデバイスが上に表示されるように、降順にソートされます。

デバイス名をクリックすると、追加情報のポップアップが開きます。

DEVICE TYPE	DESCRIPTION	NUMBER OF DEVICES	PART NUMBER	LIFECYCLE PHASE
PM866K01	CPU, 133 MHz, 64 MB	8	3BSE050198R1	Limited Replacement available
PM866AK01	CPU, 133 MHz, 64 MB		3BSE076939R1	Active
CI854AK01	Profibus DP/V1 interface	10	3BSE030220R1	Limited Replacement available
CI861	VIP Communication Interface with to Ethernet Ports	54	3BSE058990R1	Classic Replacement available
PM864AK01	CPU, 96 MHz, 32 MB	26	3BSE018161R1	Classic Replacement available
DI811	2x8 channels 48V Digital Input	347	3BSE008552R1	Active
DI830	Digital Input 24V d.c. SOE	83	3BSE013210R1	Active
AI810	Analog input 8 channels	127	3BSE008516R1	Active
DP840	Pulse Counter or Frequency	11	3BSE028926R1	Active
DO820	Digital Output, relay, normally open	462	3BSE008514R1	Active
CI801	Profibus FCI S800 Communication Interface	69	3BSE022366R1	Active

図 105: ハードウェアライフサイクル - リスト表示

アセットインベントリデータが現在のインストールと一致しない場合は、インベントリデータをクリアし、最新のコレクションファイルを再アップロードしてください。このタブの上部に表示されているバナーをクリックするか、直接インベントリのデータセットタブに進み、プロセスを開始します。



図 106: 誤ったアセットインベントリデータのバナー

2.2.11.2. 制御システムのライフサイクル

制御システムのライフサイクルタブは、ハードウェアのライフサイクルと同様に、インストールされている ABB Control System のライフサイクル分析の結果を示します。



図 107: 制御システムのライフサイクル

2.2.11.3. アセット

「アセット」タブでは、制御システムで見つかったすべてのアセットと、さまざまな KPI カテゴリ（パフォーマンス、ソフトウェア、セキュリティ）におけるそれらのステータスに関する概要が表示されます。各カテゴリの総合結果は、エラーと警告の合計であり、最悪の結果の色に一致するラベルが付けられます。エラーと警告の正確な数を別々に見るには、所見の数にカーソルを合わせます。このビューでは、エラーと警告のみが表示されます。エラーや警告がない場合は、緑色のチェックマークが表示されます。所見数をクリックすると、各カテゴリの KPI 分析に直接ジャンプし、グリッドビューで KPIs を表示することができます。

ASSET INVENTORY								
DEVICE NAME ↑	DATA COLLECTOR	ROLE	IP ADDRESS	LAST UPDATE	PERFORMANCE	SOFTWARE	SECURITY	ACTIONS ▼
800XAV6111-ACS1	SystemUtilit...			23.09.2023 12:44:49	-	-	-	☰
800XAV6111-ACS1	MCS-DC (2.7)	AC 800M, Aspect Server Primary...	172.16.4.32, 1...	06.07.2023 21:00:07	3 Findings	✓	17 Findings	☰
800XAV6111-ACS2	MCS-DC (2.7)	AC 800M, Aspect Server, IM Ser...	172.16.4.33, 1...	22.08.2023 08:40:28	2 Findings	✓	5 Findings	☰
800XAV6111-ACS2	SystemUtilit...			22.08.2023 08:40:28	-	-	-	☰
800XAV6111-DC1	SystemUtilit...			22.08.2023 08:40:28	-	-	-	☰
800XAV6111-DC1	MCS-DC (2.7)	Domain Controller, DomainName...	172.16.4.30, ...	06.07.2023 21:00:07	4 Findings	-	23 Findings	☰
800XAV6111-DC2	MCS-DC (2.7)	Backup Domain Controller, Dom...	172.16.4.31, 1...	06.07.2023 21:00:07	2 Findings	-	6 Findings	☰
800XAV6111-DC2	SystemUtilit...			22.08.2023 08:40:28	-	-	-	☰
800XAV6111-GEN1	MCS-DC (2.7)	Member Workstation	172.16.4.38	06.07.2023 21:00:07	-	-	17 Findings	☰
800XAV6111-Gen1	SystemUtilit...			22.08.2023 08:40:28	-	-	-	☰

図 1082: アセットインベントリーのウィジェット



アセットによっては、ウィジェットに複数回表示される場合があります（アセットに時間の経過とともに変更が生じたため）。リストをクリーンアップするために、以下のオプションが用意されます。

1. 個別に削除
2. 「インベントリーデータを削除」機能（章在庫 2.2.13.2.2）を使用して、すべてのアセットを削除する

以下のオプションは、1つのアセットに対して追加メニューで利用できます：

- コメント
- アセットの詳細を編集する - 編集モードを有効にすると、アセットの詳細ビューにリダイレクトされる
- 別のアセットとマージ - このオプションは、手動で追加したアセットでは使用できない
- マージを編集 - このオプションは、すでに他のアイテムとマージされているアセットに対して表示される
- 削除 - アセットをシステムから削除できる

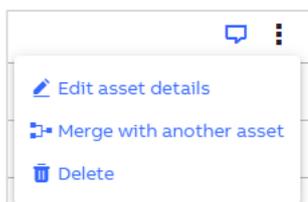


図 109: アセットオプション

空のコメントアイコンはコメントを追加できる可能性があることを示し、塗りつぶされたアイコンはすでにコメントが追加されていることを示します。アイコンにカーソルを合わせると、ツールチップにコメントが表示されます。

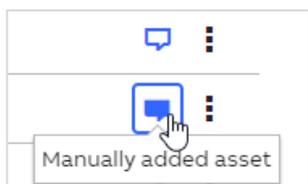
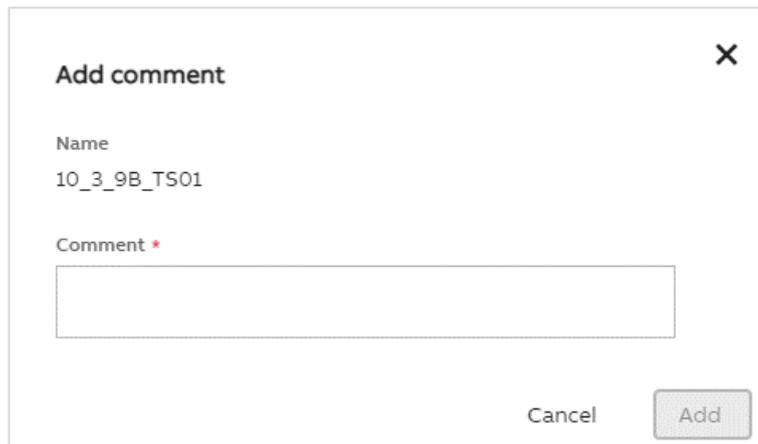


図 110: アセットコメント

コメントを追加するには、空のコメントアイコンをクリックしてください。



Add comment X

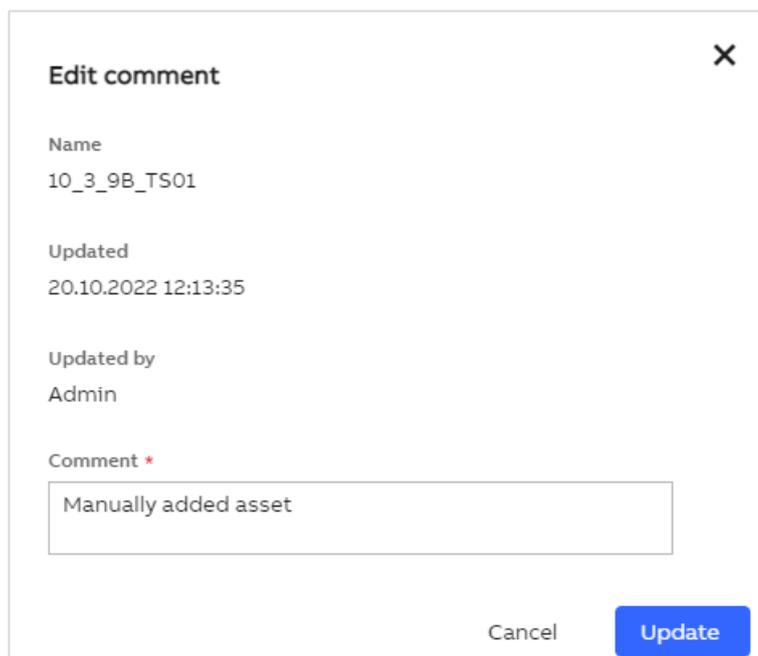
Name
10_3_9B_TS01

Comment *

Cancel Add

図 111: コメントを追加

記入されたコメントアイコンをクリックすると、誰がいつコメントを更新したかを確認したり、更新することができます。



Edit comment X

Name
10_3_9B_TS01

Updated
20.10.2022 12:13:35

Updated by
Admin

Comment *

Manually added asset

Cancel Update

図 112: コメントの編集

「別のアセットとマージ」オプションを選択すると、選択したアセットの詳細と、マージ可能なアセットのリストがドロップダウン表示されます。ドロップダウンからアセットを選択し、「マージ」をクリックします。選択されたアセットがサマリーセクションに表示されます。マスターであるアセットには、アセット名の横に青いラベルが表示されます。

他のアセットをマスターに設定する場合は、「マスターとして設定」ボタンを使用します。マージすべきアセットの中に **MCS-DC** アセットがある場合、このアセットだけをマスターに設定することができます。アセットを追加

アセットを削除し、マージしない場合は「x」アイコンを使用します。

「保存」をクリックして選択を確定します。

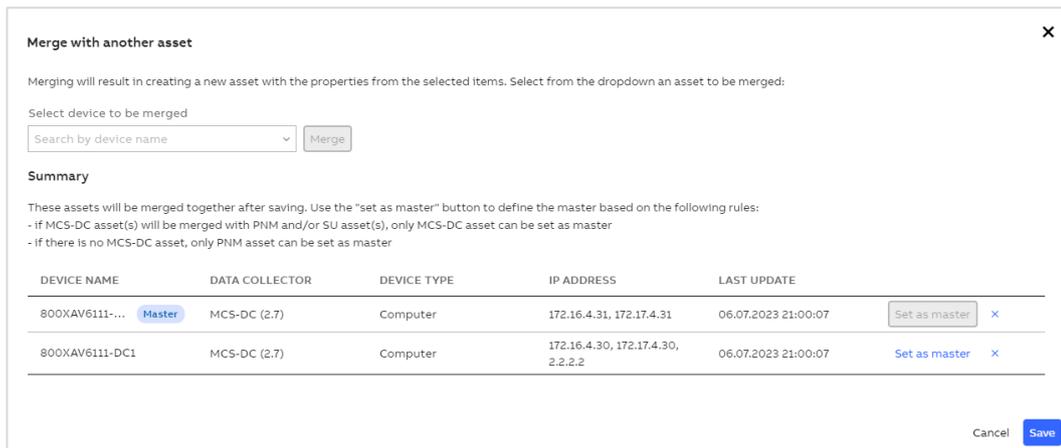


図 113: 他のアセットとのマージ

アセットがすでにマージされている場合は、「マージを編集」オプションが表示されます。

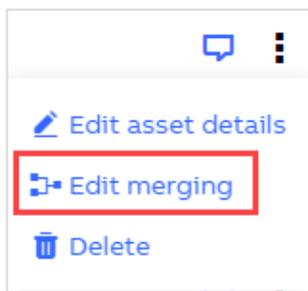


図 114: マージ編集

「別のアセットとマージ」で利用可能なすべてのオプションがここにもあります。さらに、「すべてのアセットのマージを解除」ボタンを使って、すべてのアセットをアンマージすることも可能です:

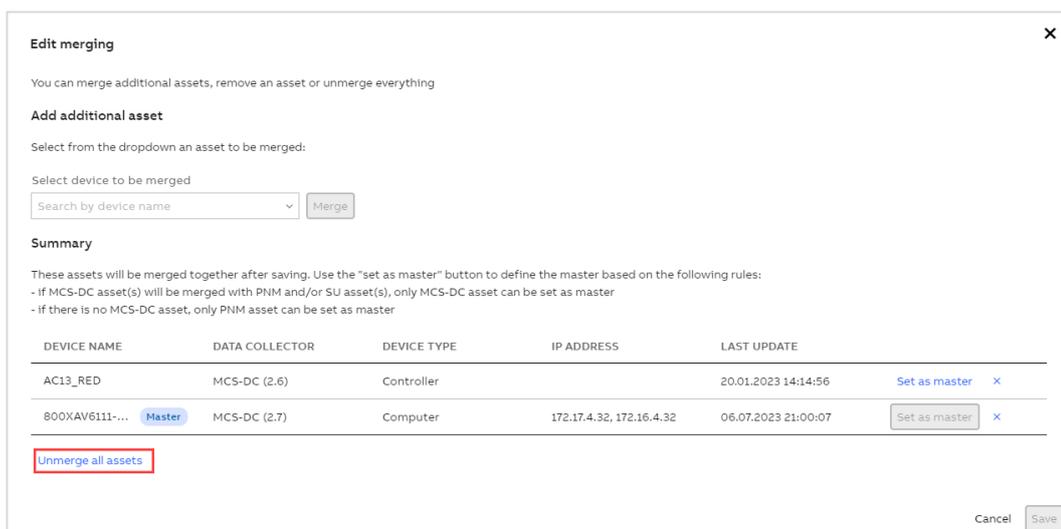


図 115: マージダイアログを編集し、すべてのアセットをアンマージするオプション

アセットインベントリーウィジェットの右上隅には、追加オプションが用意されています:

1. .xls にエクスポート
2. 資産をマージします

3. アセットを復元する
4. アセットを追加する



図 116: 追加オプション

全アセットのリストをエクスポートするには、「.xls にエクスポート」ボタンをクリックしてください。すべてのアセットとその詳細を含むファイルが生成されます。

「アセットを追加」ボタンの下に、マージ候補のリストが表示されます。「自動アセットマージを実行」が選択されている場合、このオプションは表示されません。提案がない場合、ボタンは無効となり、その理由を示すツールチップが表示されます。

この表には、すべての合併案が表示されます。アセットを拡大して詳細を見ます。左側のチェックボックスを使用し、特定の提案のみを受け入れるには「選択されたものを受け入れる」、または「すべてを受け入れる」。

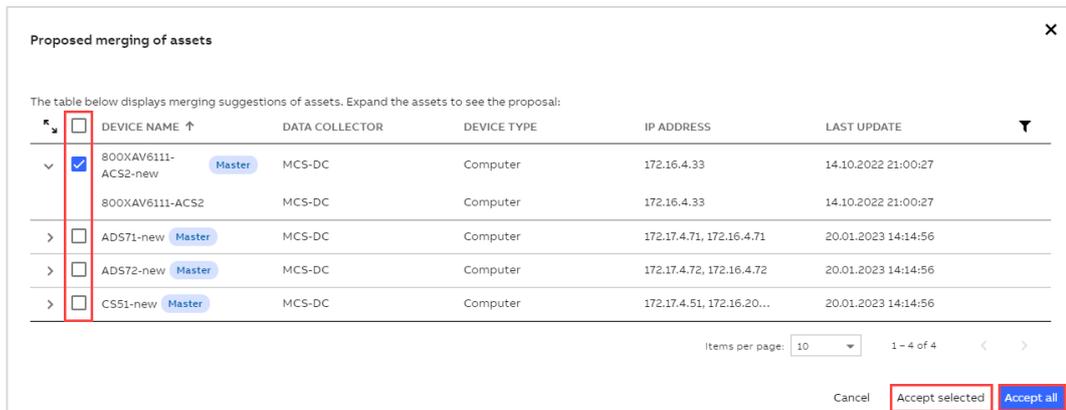


図 117: アセットの統合案

まだ完全に削除されていない各デバイスは、アセットインベントリウィジェットの右上隅にある「アセットを復元」ボタンを使って復元できます。ボタンをクリックすると、復元可能なアセットのリストが表示されます。

復元したいアセットを選択し、「選択したものを復元」をクリックします。

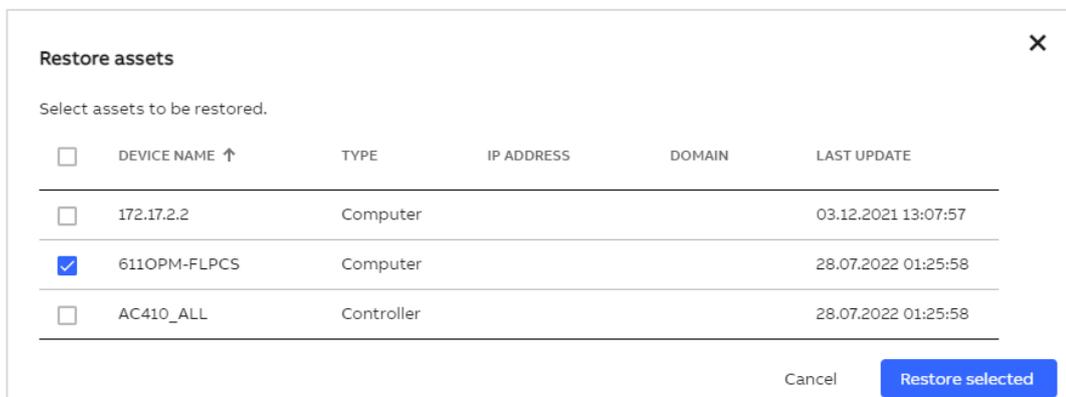


図 118: 選択された復元

アセットを手動で追加するには、「アセットを追加」ボタンをクリックし、必要なデータをすべて入力してください。「追加」ボタンをクリックして確認します。新しく追加されたアセットは、アセットインベントリーのウィジェットに表示されます。

図 119: アセットを追加する

アセットインベントリウィジェットでデバイス名をクリックすると、選択したアセットの概要にジャンプします。アセットインベントリウィジェットのデバイス名をクリックすると、選択したアセットの概要にジャンプします。

ADAPTERNAME	DESCRIPTION	MACADDRESS	IPADDRESS	SUBNETMASK
Primary	Microsoft Hyper-V Network ...	00:15:5D:64:0A:3D	172.16.4.32	255.255.252.0
Secondary	Microsoft Hyper-V Network ...	00:15:5D:64:0A:53	172.17.4.32	255.255.252.0

図 120: 資産の詳細

選択された資産がコントローラーである場合、コントロール構造はナビゲーションタブの代わりに左ペインに表示されます。左ペインのデバイス名をクリックして、制御構造の詳細ビューを切り替えます。

Position	Hardware Revision	Firmware Version
1	-	1.0.6.0

図 121: アセットタブのコントローラーの詳細



[資産]タブに制御構造のルート項目のみが見つかります。すべてのアイテムは、[コントロール構造]タブのコントローラーウィジェットにリストされています。

データを編集するには、アセットの詳細ページの右上にあるスイッチを使用して編集モードを有効にします。フィールドを変更すると、「変更を破棄」と「変更を保存」ボタンが有効になります。

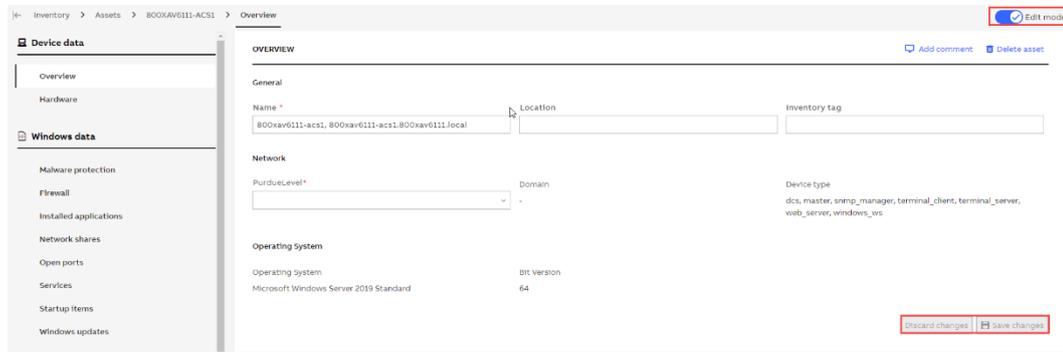


図 122: 編集モード

「アセット概要」タブでは、コメントの追加や更新、アセット削除のオプションも利用できます。



図 123: アセットの詳細 - コメントまたはアセットの削除



MCS on-premise アプリケーションのアセットインベントリウィジェットとアセットの詳細内の資産の追加、マージ、削除、編集、復元などのアクションを実行するのは、アサインされた「管理者」または「資産在庫管理者」の役割を持つユーザーでログインしている場合のみ表示される。

アセットインベントリーデータが現在のインストールと一致しない場合は、インベントリーデータをクリアし、最新のコレクションファイルを再アップロードしてください。このタブの上部に表示されているバナーをクリックするか、直接インベントリーのデータセットタブに進み、プロセスを開始します。



図 124: 誤ったアセットインベントリーデータのバナー

2.2.11.4. コントロール構造

コントロール構造タブは、制御システム内の全コントローラの概要、デバイスタイプ、ハードウェアとファームウェアのリビジョン、IP アドレス、位置、ライフサイクルフェーズを表示します。

DEVICE NAME	DEVICE TYPE	HARDWARE REVISION	FIRMWARE REVISION	IP ADDRESS	POSITION	LIFECYCLE PHASE
BPC_13_470_01	-	-	-	172.16.60.151	-	Unknown
BPC_13_470_02	-	-	-	172.16.60.152	-	Unknown
BPC_13_470_03	-	-	-	172.16.60.153	-	Unknown
BPC_13_470_04	-	-	-	172.16.60.154	-	Unknown
Controller_1	-	-	-	172.28.100.151	-	Unknown
Controller_1_BED	-	-	-	-	-	Unknown
EP001A09	CMC 70	-	-	192.168.10.27	-	Obsolete
EP002A09	CMC 70	-	-	192.168.10.31	-	Obsolete
EP000A11	CMC 70	-	-	192.168.10.33	-	Obsolete
EP003A09	CMC 70	-	-	192.168.10.23	-	Obsolete

図 125: コントロール構造のウィジェット

デバイスタイプが特定できず「目視検査が必要」な場合は、特定アイテムのライフサイクルフェーズの横に表示される編集アイコンを使用するか、デバイス名の横にあるチェックボックスを選択し、ウィジェット上部の「デバイスタイプを指定」ボタンをクリックしてデバイスタイプを指定します。



図 126: 単品のデバイスタイプを指定する

チェックボックスを使用する場合、同じデバイスタイプのアイテムしか選択できません。

DEVICE NAME	DEVICE TYPE	HARDWARE REVISION	FIRMWARE REVISION	IP ADDRESS	POSITION	LIFECYCLE PHASE
Controller_61	-	-	-	172.16.80.61	-	Unknown
14 RPC2-Rear	CIB01	-	-	-	-	Limited
2 B1-RTD01	AI830/AI830A	-	-	-	-	Visual Inspection required
3 B1-RTD02	AI830/AI830A	-	-	-	-	Visual Inspection required

図 127: 1 つまたは複数のアイテムにデバイスタイプを指定する

ドロップダウンでデバイスタイプを選択し、「さげえ」をクリックして確定します。

Specify device type

You have selected 1 device. Please read information below and specify the version of selected devices

There are 2 versions of AI830: AI830 and AI830A. AI830A is pin compatible and includes additional sensor types. The correct version can be read from the label of the installed module. See document 3B5E020924-510 for product information.

Select device type

AI830

AI830A

Cancel Save

図 128: デバイスタイプの指定ダイアログ

デバイスタイプが手動で選択されている場合、この操作は元に戻すことができます。ライフサイクルフェーズの横にある編集アイコンをクリックします。ダイアログには、元のデバイスタイプが何であったか、誰がいつ変更したかという情報が表示されます。「変更を戻す」をクリックすると、元の値に戻ります。

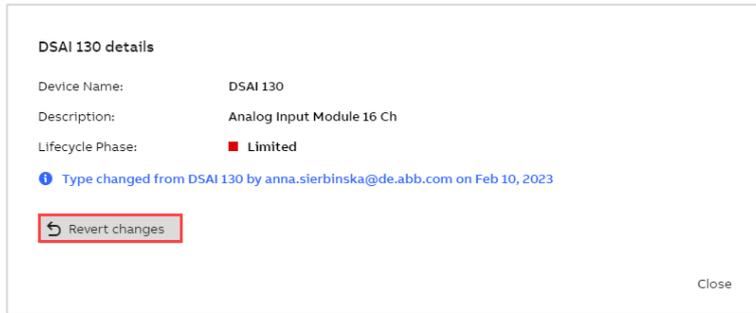


図 129: 変更を戻すダイアログ

コントローラウィジェットでデバイス名をクリックすると、選択したアイテムの概要にジャンプします。コントローラの構造は左ペインに表示され、デバイスの詳細ビューを切り替えることができます。

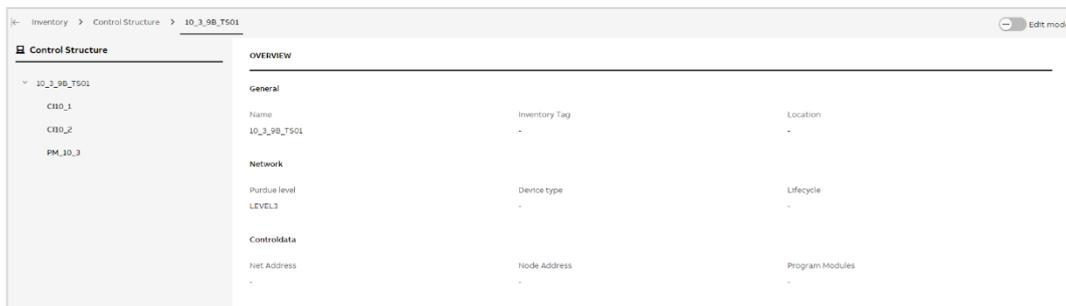


図 130: コントローラー詳細

データを編集するには、コントローラの詳細ページの右上にあるスイッチを使用して編集モードを有効にします。フィールドを変更すると、「変更を破棄」と「変更を保存」ボタンが有効になります。

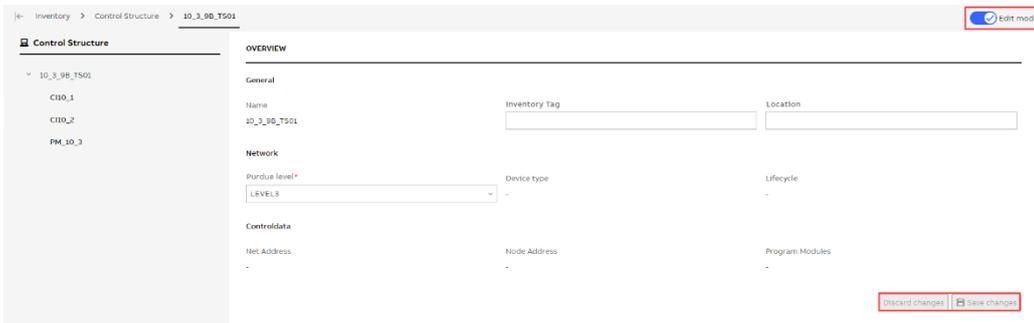


図 131: 編集モード



デバイスタイプを指定するためにコントローラーの詳細ビューとオプションでアクションを編集するだけでなく、**MCS on-premise** アプリケーションでこの変更を戻すオプションは、アサインされた「管理者」または「資産在庫管理者」の役割を持つユーザーでログインしている場合のみ表示される。

2.2.11.5. ソフトウェア

ソフトウェア タブには、インストールされているすべてのソフトウェアのリストが表示されます。

INSTALLED SOFTWARE				
SOFTWARE NAME ↑	VERSION	PROVIDER	INSTALLED ON	
> ABB 800xA System Installer 5.1.0/4	5.1.4723.17263	ABB		17 devices
> ABB 800xA System Installer Agent	6.1.01000.1812	ABB		69 devices
> ABB 800xA System Installer Agent 6.1.0-0	6.1.00000.524	ABB		11 devices
> ABB AC 800M Connect 6.1.0-0	6.1.0.148	ABB		8 devices
> ABB AC 800M Connect 6.1.1-0	6.1.1000.77	ABB		57 devices
> ABB AC 800M Connect Update 6.1.0-0	6.1.0.151	ABB		8 devices
> ABB AC 800M Connect Update 6.1.1-1	6.1.1100.5	ABB		57 devices
> ABB AC 800M HI Extension 6.1.1-0	6.1.1000.77	ABB		29 devices
> ABB AC 800M HI Instructions 6.1.1-1	6.1.1100.5	ABB		29 devices
> ABB AC 800M Status Monitoring 6.1.0-0	6.1.0.320	ABB		8 devices

Items per page: 10 Page 28 of 170

図 132: 設定されたソフトウェア - ソフトウェア表示

ソフトウェア名の横にある展開アイコンをクリックすると、そのソフトウェアがインストールされているすべてのコンピュータが表示されます。

SOFTWARE NAME ↑	VERSION	PROVIDER	INSTALLED ON	
> ABB 800xA DataDirect 6.1.0-0 Installed on devices: C502 IMS220 AD572 C501 TS61 AD571 TS62 ES221	6.1.0.35808	ABB		8 devices
> ABB 800xA for AC 100 6.1.1-0	6.1.01000.2	ABB		4 devices

図 133: 機器に設定

右上のスイッチを使用して、ソフトウェアが設定されている制御システム内のすべてのコンピュータのリストを表示します。



図 134: ソフトウェア/デバイス表示スイッチ

デバイス名の横にある展開アイコンをクリックすると、そこに設定されているソフトウェアが表示されます。

INSTALLED SOFTWARE			
DEVICE NAME ↑	INSTALLED SOFTWARE		
> BM_PAS	21		
> BMOPRI Installed software: ABB 800xA Base 6.1.1-1 ABB 800xA Common 3rd Party Install 6.1.1-1 ABB 800xA History Connectivity 6.1.1-0 RUJ ABB 800xA RNRP 6.1.2-0 ABB 800xA System Installer Agent ABB AC 800M Connect 6.1.1-0 ABB AC 800M Connect Update 6.1.1-1 ABB AC 800M Status Monitoring 6.1.1-0	Version: 6.1.01100.2252 6.1.01100.189 6.1.01100.660 6.1.02000.100 6.1.01000.1812 6.1.1000.77 6.1.1100.5 6.1.01000.411	Provider: ABB ABB ABB ABB ABB ABB ABB	30

図 135: 設定されたソフトウェア - デバイス表示

ソフトウェアとデバイスの表示の両方で、フィルターを使用して、特定のソフトウェアがどのコンピュータに設定されているかを調べることができます。

2.2.12. 文書

発表された各バージョンのアプリケーションの一部として、発表ノート情報を閲覧することができます。

以下の3つの発表ノート情報カテゴリーが掲載されています:

- 新着情報
- 修正された問題
- 既知の問題

新着情報 セクションでは、新しく追加された機能、強化された機能、または変更された機能に関する情報を提供します。**修正された問題** セクションには、解決された製品の問題が掲載されており、**既知の問題** セクションには、常にリリースされた特定のバージョンの既知の問題のリストが掲載されています。

発表ノート情報には、アプリケーションのフッターセクションにある「[リリースノート]」（章 2.2.3）というクイックリンクを使ってアクセスするか、**文書/MCS リリースノート** セクションに直接移動してアクセスすることができます。

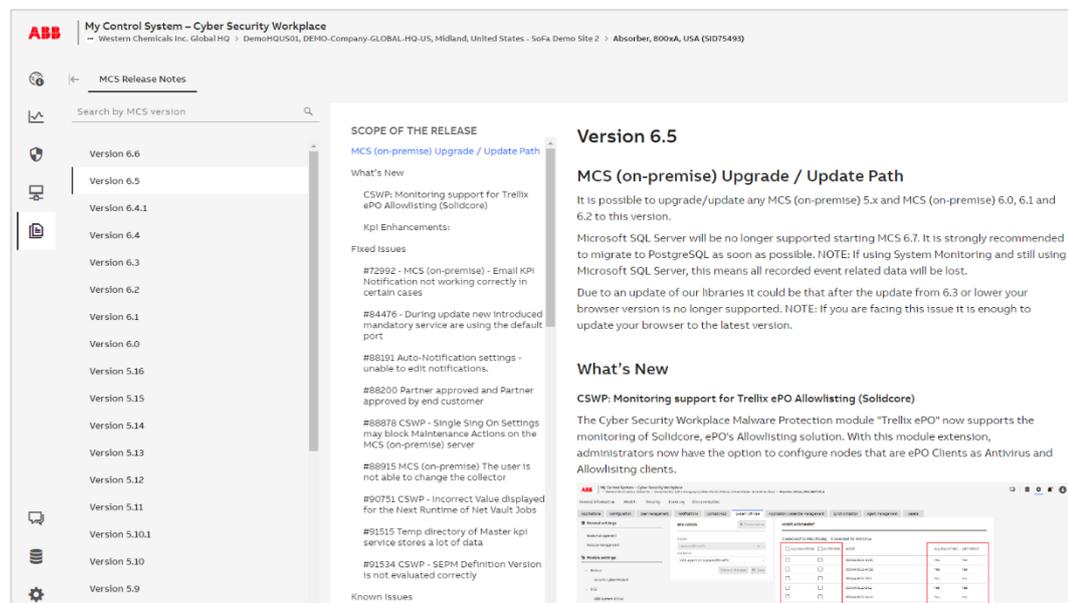


図 136: リリースノート情報

2.2.13. 管理および構成のエリア

MCS-OP ダッシュボードの管理と構成領域は、2つのセクション（1つ目は左下隅で、右上隅が2番目）に分割され、**MCS-OP** アプリケーションの運用環境を管理するために使用されるいくつかのアイコンで構成されています。これらのアイコンは、次の章で説明する機能へのアクセスを提供します:

1. **ABB** セクションにお問い合わせください: 詳細は章 2.2.13.1 をご参照ください
2. データセット管理 セクション詳細は章 2.2.13.2 をご参照ください
3. 設定 セクション: 詳細は章 2.2.13.3 をご参照ください
4. 言語セレクター: 詳細は章 2.2.13.5 をご参照ください

5. 通知セクション：詳細は章 2.2.13.4 をご参照ください
6. ユーザー セクション：詳細は章 2.2.13.6 をご参照ください



図 137: 管理および構成のエリアのアイコン

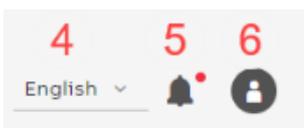


図 138: 管理および構成のエリアのアイコン

2.2.13.1. ABB セクションにお問い合わせください

管理および構成領域の「Contact ABB」セクションは、ユーザーが自分のニーズに合わせてローカル MCS-OP 環境を構成するか、問題を報告するために ABB の専門家からサポートを必要とする場合に使用することを目的としています。



「Contact ABB」アイコンは、「管理者」または「連絡先 ABB オペレーター」ユーザーロールを割り当てたユーザーにログインしているためにのみ表示されます。

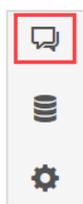


図 139: 管理および構成領域の ABB セクションにお問い合わせください

電子メールで ABB サポートにリクエストを送信する前に、今後の連絡先フォームに次の情報を提供してください。フォームは 3 つのセクションで構成されています。

1. 名前、電子メールアドレス、電話番号などの個人情報
2. 製品と会社の情報：
 - a) 使用される ABB 製品ファミリーとバージョン - この情報はオプションですが、サポートが必要な製品をすばやく識別するのに役立ちます
 - b) 会社名、プラント名、および SID - これらのフィールドは、SID レベル (SID コンテキスト) から連絡フォームが開かれた場合、自動的に入力されます。それ以外の場合、この情報は手動で入力する必要があります
 - c) 目的の反応時間 - この情報 (ドロップダウンメニューから) を選択するのは、任意です。これは、ABB の専門家からの反応が予想される時間を示しています。このオプションは、この設定が「Contact ABB」設定の章 2.2.13.3.5 で事前に設定されている場合にのみ表示されます。

3. リクエストの詳細：

- a) 簡単な説明 - 問題の短い要約
- b) 詳細な説明 - 問題を分析するために **ABB** の専門家に関連するすべての詳細を提供する場所
- c) 添付ファイル - 分析に役立ついくつかのファイルを添付できる任意のフィールド。許可された形式は次のとおりです。 **JPG、BMP、PNG** および **ZIP**。最大 **10** 個の添付ファイルを追加でき、すべての合計サイズは **2MB** を超えることはできません。

Contact ABB ✕

In order to request contact, please provide some details about you, your product and description of your request.
Our representative will follow up with you shortly.
If your case is urgent, please call ABB hotline.

Personal information 1

<p>First name* <input type="text" value="First name"/></p>	<p>Last name* <input type="text" value="Last name"/></p>
<p>Email* <input type="text" value="Email"/></p>	<p>Phone number* <input type="text" value="Phone number"/></p>

Product and company information 2

<p>Product family <input type="text" value="Product family"/></p>	<p>Product version <input type="text" value="Product version"/></p>
<p>Company name* <input type="text" value="Western Chemicals Inc. Global HQ"/></p>	
<p>Plant* <input type="text" value="Absorber, 800xA, USA"/></p>	<p>SID* <input type="text" value="SID75493"/></p>
<p>Desired reaction time <input type="text" value="Desired reaction time"/></p>	

Request details 3

Short description*

Detailed description*

Attachment (jpg, bmp, png, zip)


Drop files here
[+ Add File](#)

Max size 2 MB
Max 10 attachments can be added

[Discard changes](#)

図 140: ABB フォームにお問い合わせください

このフォームの「要求の送信」ボタンを選択すると、提供された情報を含む電子メールが事前に設定された **ABB** 受信者に送信されます。

この電子メールの受信者と目的の反応時間の構成方法と、電子メール **SMTP** サーバーのセットアップ方法に関する詳細な説明は、このマニュアルの「連絡先の **ABB** タブ」の章 **2.2.13.3.5** に記載されています。

2.2.13.2. データセット管理 セクション

管理および構成のエリアの「データセット管理」セクションは、以前に収集したデータセットを管理するために必要な機能を提供します。



図 141: 管理および構成のエリアの「データセット管理」セクション

「データセット管理」セクションは **2** つのタブで構成されています:

- KPI
- 在庫

2.2.13.2.1. KPI



不正なデータ変更を防ぐため、新しく作成されたデータセットは、それを作成したユーザーまたはインスタンス (**MCS-OP** など) にロックされます。データセットの変更 (名前の変更など) やデータセット内のデータの変更 (**KPI** 結果の変更など) を行うには、データセットを引き継ぐ必要があります。データセット名の横にある「ロック」アイコンをクリックして、データセットを引き継ぎます。

このセクションのメインダッシュボードには、過去に収集されたすべてのデータセットとその詳細が表示されます:

- データセット名
- 作成日
- データセットを作成したユーザー
- 収集された **KPI** カテゴリ (パフォーマンス、ソフトウェア、セキュリティ)

青いチェックマークは、どのカテゴリが収集されたかを示します。

DATA SET NAME	CREATE DATE ↓	CREATED BY	PERF	SW	SEC	PROJECT TYPE	ACTIONS
> Upload 2024-02-26	26.02.2024 00:58:15	Collector					View reports Export KPI results
> Upload 2024-02-25	25.02.2024 00:01:18	Collector	-	-	-		View reports Export KPI results
> Upload 2024-02-22	22.02.2024 01:02:37	Collector					View reports Export KPI results
> Upload 2024-02-20	20.02.2024 00:00:28	Collector	-	-	-		View reports Export KPI results

図 142: データセット管理

異なるコンテンツを持つ有効な関数に応じて作成されます。

MCS-DC を介して収集されたデータは、「On Premise」によって作成されたデータセットになりますが、CSWP 機能で収集されたデータは「SystemUtilities」によって作成されたデータセットになります。



アクションとオプションは、データセットの内容によって異なる場合があります。

例：「SystemUtilities」データセットではレポートは利用できません。

レポートアイコンを選択すると、選択したデータセットに関連する、すでに作成されたすべてのレポートを表示することができます。

CATEGORY	REPORT TYPE	RESULTS	LANGUAGE	STATUS	ACTIONS
Security	System Status	All results	-	Published	
Performance	System Status	All results	-	Published	
Software	System Status	All results	-	Published	
Software	Fingerprint	All results	English	Published	
Security	Fingerprint	All results	English	Published	
Performance	Fingerprint	All results	English	Published	

Items per page: 10 1 - 6 of 6 < >

Close [Create new report](#)

図 143: 作成されたレポートリスト

「アクション」セクションは、データセットの管理と編集に必要なすべての機能を提供します。これらの機能については、以下の章で詳しく説明します。

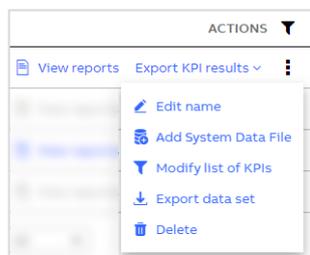


図 144: データセット管理内の「アクション」セクション

さらに、選択したデータセットを展開/折りたたむことで、システムデータセットに表示されている結果に基づいている生のシステムデータファイルを把握することができます。

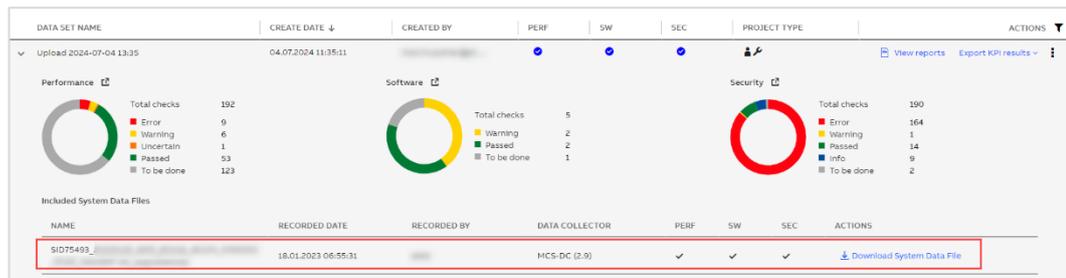


図 145: 拡張されたデータセット

KPI 結果のエクスポート

「KPI 結果のエクスポート」ボタンを使用し、データをエクスポートするために、カテゴリの1つまたはすべての KPI を選択します。



図 146: KPI の結果をエクスポートする

データセットの追加

「データセット」のウィジェットの右上隅にある「データセットを追加」ボタンをクリックします。ポップアップウィンドウが表示され、新しいデータセットを作成するか、既存のデータセットをインポートするかを選択できます。

Add data set ✕

Create a new data set if you want to upload a System Data File from your system scan. If you have previously exported a data set from e.g. another MCS installation and want to synchronize it with this MCS instance, please select import existing.

Create new data set
 Import existing

Name of data set *

Add System Data File (optional)


 Drop files here
[+ Add File](#)

Select project type

Close Save

図 147: 新しいデータセットを作成します

新しいデータセットを作成するとき、該当する **System Assessment license** がある場合に備えて、プロジェクトタイプ(**Automated KPIs / Automated and manual KPIs**)を選択できます。それ以外の場合は、自動 KPI のみが利用可能です。そして「保存」ボタンをクリックします。その後、新しく作成されたデータセットが「データセット」のウィジェットに表示されます。

以前にエクスポートしたデータをインポートするには、「データセット」ウィジェットの右上隅にある「データセットをインポート」ボタンを選択してください。以下のポップアップウィンドウが表示されます:

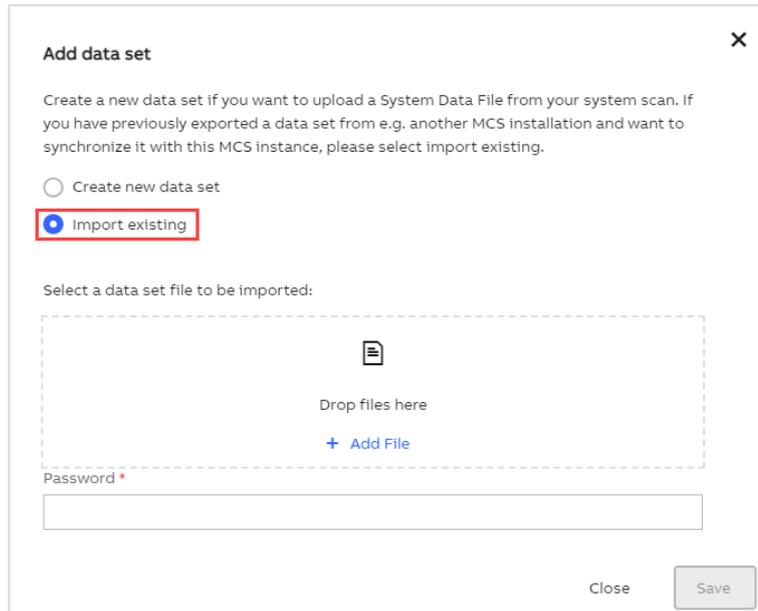


図 148: 既存データセットのインポート

ハードディスクからローカル **MCS-OP** アプリケーションに（再）インポートするデータセットを選択し、それぞれのドロップフィールドに配置してください。

データセットのエクスポート処理中に、初期パスワードが定義されました。このプロセスについては、本章で詳しく説明します。このデータセットをローカル **MCS-OP** アプリケーションに（再）インポートする場合、同じパスワードを使用する必要があります。

システムデータファイルの追加

新しいデータセットが保存されたら、「ファイルを追加」ボタンを使って、収集した **SDF** を手動でアップロードすることができます。データファイルを選択するポップアップウィンドウが表示されます。アップロードするファイル名は、アップロード先の **SID** 番号で始まる必要があります。ファイルが選択されると、システムは自動的にアップロードされた生のシステムデータファイルを分析します。これには数分かかるかもしれません。

ファイルが分析された後、ポップアップウィンドウを安全に閉じることができるという確認メッセージが表示されます。ファイル拡張子の間違いなど、解析中に問題が発生した場合、関連情報がポップアップウィンドウに表示されます。

システムデータファイルのダウンロード

データセット管理から特定のデータセットの **SDF** をダウンロードすることが可能です。これを行うには、選択したデータセットを展開し、**SDF** 名の隣にある右下のダウンロードアイコンを選択してください。

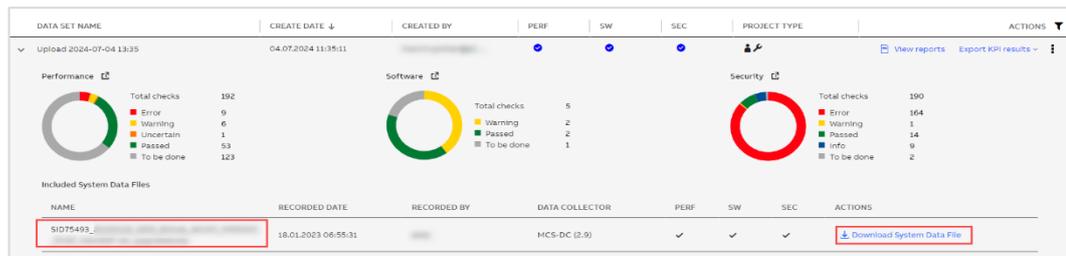


図 149: 特定のデータセットの SDF をダウンロードすることができます。

データセットの名前の変更

既存のデータセットの名前を変更することができます。アクション セクションの鉛筆アイコンを選択すると、ポップアップウィンドウが表示され、選択したデータセットの名前を変更できます。

KPI リストの変更

特定のデータセットの分析結果に特定のセクションまたは KPI が表示されないようにするには、その KPI リストを変更します。データセットの KPI リストは、システム構成と既存のライセンスに基づいて自動的に作成されます。

KPI リストを変更するには、「アクション」セクションからフィルターアイコンを選択します。トグルボタンを使用して、個々の KPI または KPI グループを選択/選択解除できます。

データセットの削除

選択したデータセットを削除するには、アクション セクションからゴミ箱アイコンを選択します。このデータセットに関連する報告書を含むすべての情報は削除されることをご確認ください。削除を確認するポップアップウィンドウが表示されます。

システムデータファイルのインポート

原則として、MCS-DC ソフトウェアによって生成されたシステムデータファイルをローカル MCS-OP アプリケーションにインポートする 2 つの異なる方法があります。

- 共有フォルダーを使用した MCS-FW を介した自動インポート

収集されたデータを自動的にインポートおよび分析するには、共有フォルダーを構成する必要があります。この共有フォルダーのフォルダーパスは、両方のアプリケーション、つまり MCS-FW と MCS-OP のインストール中に入力する必要があります。MCS-DC によって提供され、MCS-FW によってこの共有フォルダーに配置されたシステムデータファイルは、MCS-OP アプリケーションによって自動的にインポートおよび分析されます。文書 ref を参照してください。[1] および [2] この機能をセットアップする方法の詳細については。

- 手動インポート

システムデータファイルを手動でインポートするには、最初に新しいシステムデータファイルをインポートする前に新しいデータセットを作成する必要があります。このプロセスについては、本章で詳しく説明します。

データセットのエクスポート

MCS-OP からデータセットをエクスポートするには、右側のアクションセクションのエクスポートアイコンをエクスポートして押したいデータセットを選択します。

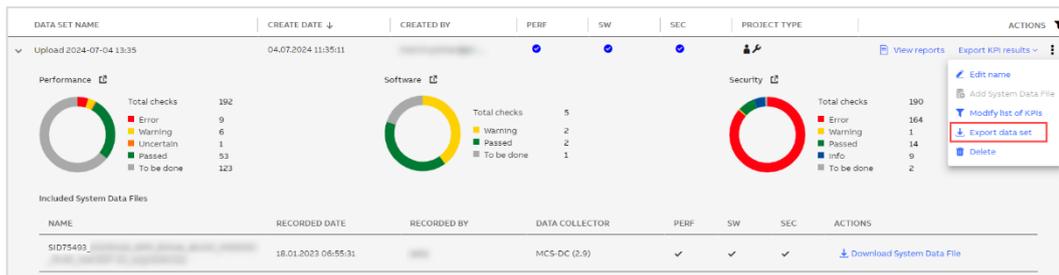


図 150: エクスポートツールを使用したデータセットのエクスポート

ABB のサイバーセキュリティガイドラインによると、エクスポートされた顧客データはパスワードで保護されていなければなりません。このため、新しいポップアップ ウィンドウが表示され、エクスポートするデータセットのパスワードを指定する必要があります。

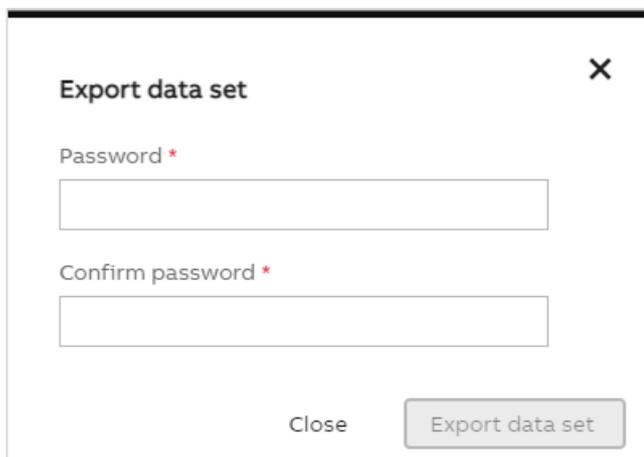


図 151: エクスポートされたデータセットのパスワードを指定する

データセットのエクスポートは、このポップアップウィンドウで「Export データセット」ボタンを選択することで開始されます。データセットのエクスポートは、ローカルのハードドライブに保存されます。

2.2.13.2.2. 在庫

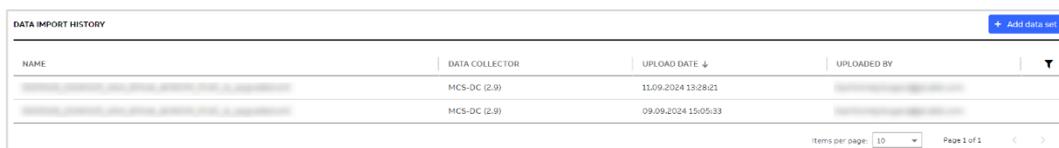
「インベントリー」タブは、インベントリーレポートの管理、データのインポート履歴の確認、インベントリーデータのクリーニングに使用します。

「インベントリーレポート」ウィジェットでは、既に作成されたインベントリーレポートのリストを見ることができます。新しいインベントリーやライフサイクルレポートを作成するには、「新しいレポートを作成」ボタンを使用します。



図 152: インベントリーレポートのウィジェット

「データインポート履歴」ウィジェットには、データコレクター、アップロード日、および誰がデータをアップロードしたかの情報が表示されます。このウィジェットから新しいデータセットを作成したり、以前にエクスポートしたデータセットをインポートすることもできます。



NAME	DATA COLLECTOR	UPLOAD DATE	UPLOADED BY
	MCS-DC (2.9)	11.09.2024 13:28:21	
	MCS-DC (2.9)	09.09.2024 15:05:33	

図 153: データインポート履歴

すべてのインベントリーデータをクリアするには、このタブの右上にあるボタンをクリックします。

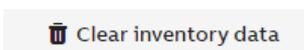


図 154: 明確なインベントリーデータ



MCS on-premise アプリケーションのクリアインベントリーデータは、アサインされた「管理者」または「資産在庫管理者」ユーザーロールを持つユーザーでログインした場合にのみ表示されます。

2.2.13.3. 「設定」セクション

MCS-OP アプリケーションの設定セクションは、MCS-OP アプリケーションの作業環境を管理および事前に構成するために使用されます。このセクションは、異なる機能を提供する合計 5 つのタブで構成されています。これらの機能については、以下の章で詳しく説明します。



図 155: 管理および構成のエリアの「設定」セクション



管理領域と構成領域の「設定」セクションは、アサインされた「管理者」の役割を持つユーザーでログインしている場合にのみ表示されます。

2.2.13.3.1. [アプリケーション]タブ

ローカル MCS-OP アプリケーションにインストールされているソフトウェアパッケージの管理は、設定セクションの「アプリケーション」タブで行われます。

「アプリケーション」タブには、MCS-OP がインストールされているノードの名前が記載されています。また、左側に名前と特定のバージョンを含む、現在インストールされているソフトウェアパッケージの概要を提供します。右側には、システムソフトウェアとともに配信される追加の MCS-OP 機能セットパッケージをインストールする可能性があります。システム監視やサイトビュー機能セットなどのようにまだインストールされていません。

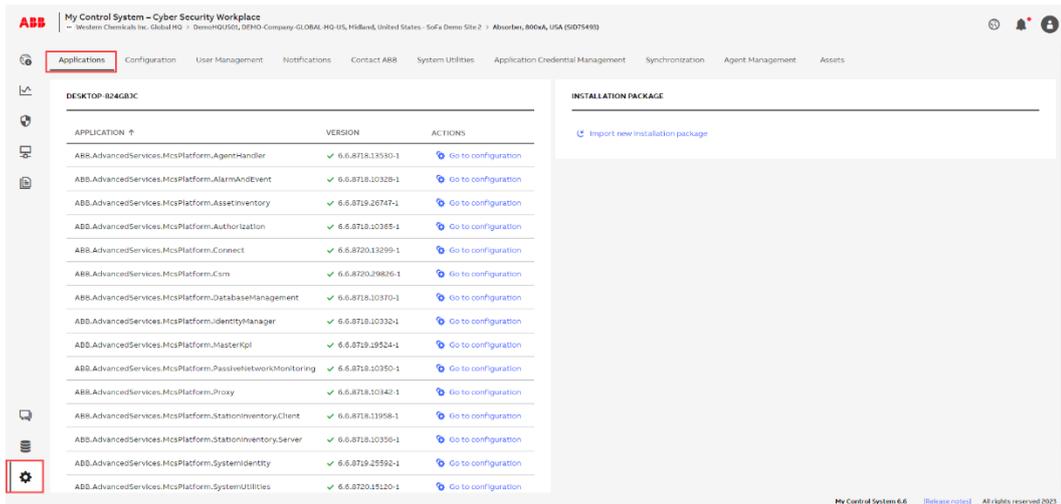


図 156: [アプリケーション]タブ - 設定セクション

さらに、アプリケーション固有の構成に移動する可能性があります。

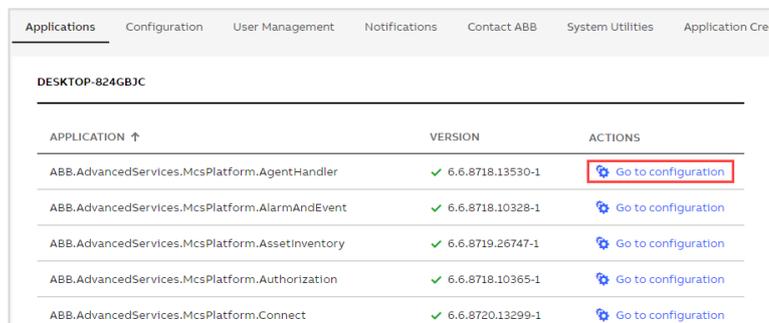


図 157: アプリケーション固有の構成アクセス

MCS-OP ソフトウェアパッケージは定期的に更新され、ダウンロードのために Web 内の MCS で提供されます。MCS-OP ソフトウェアパッケージを更新する前に、インストールされています。新しいバージョンは、Web 内の MCS からダウンロードし、MCS-OP ハードディスクにコピーする必要があります。

文書 ref を参照してください。[1]アップグレード手順の詳細については。

2.2.13.3.2. [構成]タブ

[設定]セクションの[構成]タブでは、MCS-OP プラットフォーム環境を構成し、現場の条件に適合させる可能を提供します。中古コンピューターの E.g、中古 SID、中古サービスアカウント、URL などのような MCS-OP プラットフォームで使用される基本設定に加えて、E.g.とかサイバーセキュリティ職場の機能といった個々の機能が使用する専用の設定のリストも提供します。

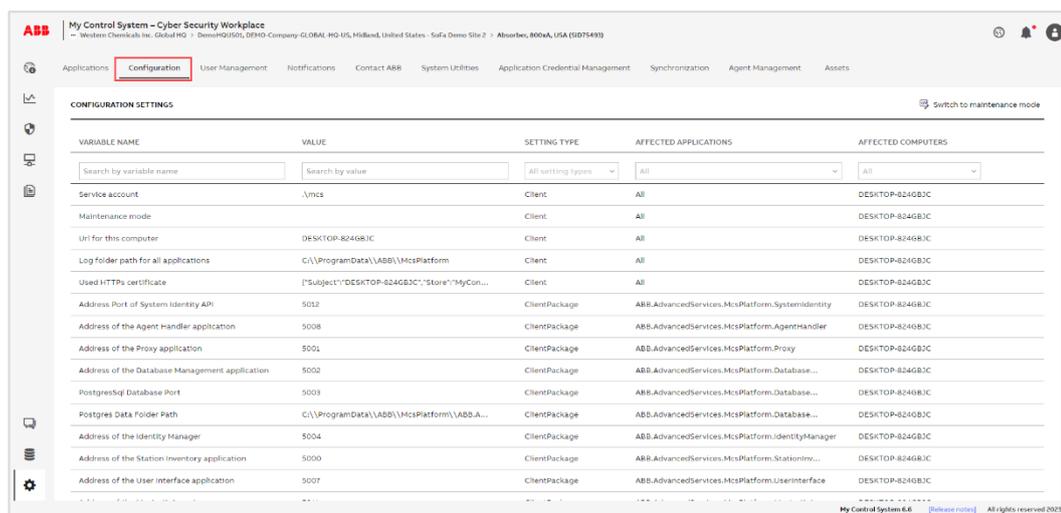


図 158: 設定の概要

構成設定を編集する前提条件として、ログインしたユーザーは、管理者の使用ロールを許可する必要があります。ユーザーをセットアップして特定のユーザーロールを割り当てる方法の詳細については、このユーザーマニュアルの章 2.2.13.3.3 を参照してください。

構成設定を編集するには、[メンテナンスモードへの切り替え]ボタンを[構成]タブの右上隅に選択して、メンテナンスモードを有効にしてください。

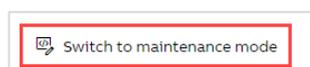


図 159: 「メンテナンスモード」スイッチを有効にします

特定の設定を変更するには、選択した設定の右側にある鉛筆アイコンを押してください。選択した設定の値は、今後のポップアップウィンドウで編集できます。「保存」ボタンを使用して構成変更を保存します。

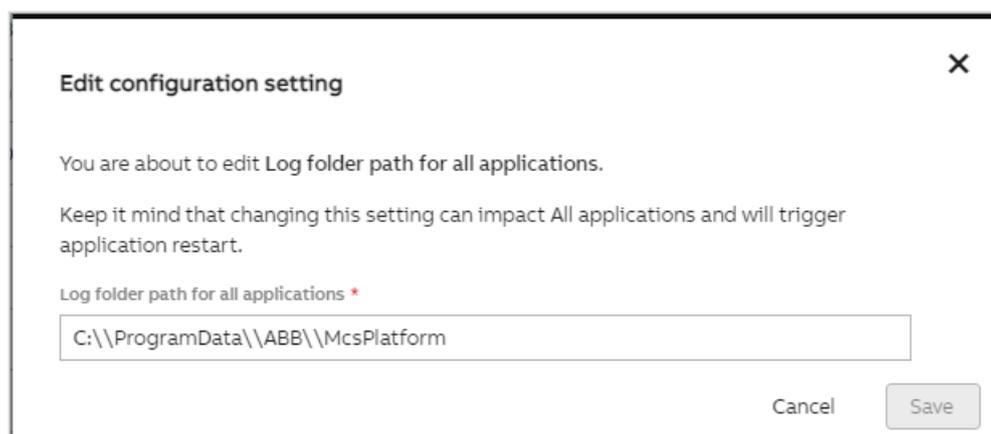


図 160: 設定設定ポップアップウィンドウを編集します

デフォルトでは、メンテナンスモードは 15 分後に無効になりますが、メンテナンスモードが有効になっているときに表示されるバナーにある「セッション時間の延長」ボタンを使用して、さらに 15 分で延長することができます。

図 161: 「メンテナンスモードの延長」スイッチ

2.2.13.3.3. [ユーザー管理]タブ

[設定]セクションの[ユーザー管理]タブは、MCS-OP アプリケーションにアクセスするために必要なユーザーアカウントを構成および管理するために使用されます。

ユーザー管理内では、ローカルユーザーアカウントを定義および構成する可能です。MCS on-premise コンピューターがドメイン環境で使用されている場合、MCS on-premise は、このドメイン内で定義されているユーザーアカウントのアクセスを構成する可能性をサポートしています。

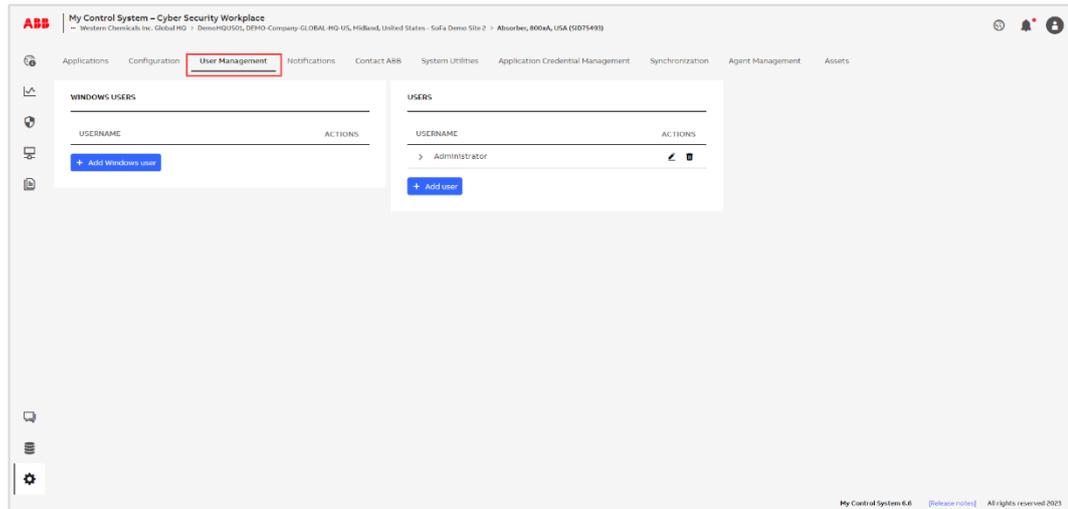
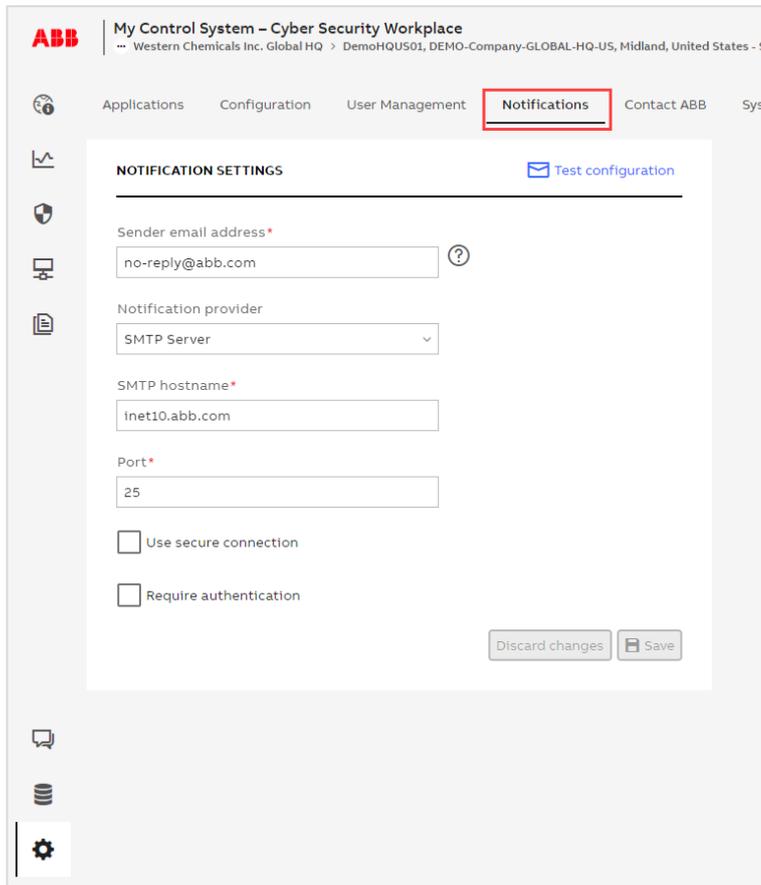


図 162: [構成]セクションの[ユーザー管理]タブ

ユーザーアカウントを追加/削除する方法と、特定のユーザーアカウントにユーザーロールをアサインする方法の詳細情報については、文書 [ref. \[1\]](#)を参照してください。

2.2.13.3.4. [通知]タブ

[設定]セクションの[通知]タブでは、SMTP 電子メールサーバーと送信者電子メールアドレスを設定して構成する可能を提供しますこれらの設定を使用して、MCS-OP アプリケーションで生成されたユーザー通知を構成された受信者に送信します。



The screenshot displays the 'Notifications' configuration page within the 'My Control System - Cyber Security Workplace' interface. The page title is 'NOTIFICATION SETTINGS' and includes a 'Test configuration' button. The configuration fields are as follows:

- Sender email address***: Input field containing 'no-reply@abb.com' with a help icon.
- Notification provider**: Dropdown menu set to 'SMTP Server'.
- SMTP hostname***: Input field containing 'inet10.abb.com'.
- Port***: Input field containing '25'.
- Use secure connection**: Unchecked checkbox.
- Require authentication**: Unchecked checkbox.

At the bottom right, there are two buttons: 'Discard changes' and 'Save'.

図 163: [通知]タブ - 通知設定ウィジェット

MCS-OP アプリケーションで使用する SMTP 電子メールサーバーをセットアップする方法の詳細については、文書 ref. [1] を参照してください。

2.2.13.3.5. ABB タブに連絡します

[設定]セクションの連絡先[ABB]タブは、一般情報を事前に設定するために使用されます。一般情報は、ABB セクションのフォームのデフォルト構成として使用されます。これらの事前に設定された設定の1つは、たとえば ABB ヘルプライン番号です。これは1回だけ構成する必要があり、その後、すべての電子メール通信に使用されます。

The screenshot shows the 'My Control System - Cyber Security Workplace' interface. The top navigation bar includes 'Applications', 'Configuration', 'User Management', 'Notifications', and 'Contact ABB' (highlighted with a red box). The main content area is titled 'CONTACT ABB SETTINGS' and is divided into several sections:

- General**
 - ABB Helpline Number: 12 1234567 45
- Email settings**
 - Subject*: New Subject
 - Sender: test@abb.com
 - Receiver*: testreceiver@abb.com
 - Additional Receiver: Additional recipient of the Call ABB Mail
 - Additional hidden Receiver: Additional hidden recipient of the Call ABB Mail
- Desired reaction time**
 - Reaction time values: Possible selections for the requested reaction time
 - Buttons: 1h X, 4h X, 12h X

At the bottom right, there are 'Discard changes' and 'Save' buttons.

図 164: ABB タブに連絡します-ABB 設定フォームに連絡します

さらに、ユーザーは、追加の電子メールレシーバーと、ABB 連絡先が電子メールリクエストで反応する必要がある目的の反応時間を構成できます。

2.2.13.3.6. [システムユーティリティ]タブ

[システムユーティリティ]タブを使用すると、MCS on-premise の CSWP 機能セットの一部であるモジュール、サービス、ノード、ネットワークレイヤーを構成できます。これがどのように行われるかの詳細については、Document Ref. [1]を参照してください。

2.2.13.3.7. アプリケーション証明証管理タブ

アプリケーション証明証タブを使用すると、新しいサービスユーザーを追加してサービスを完全に機能させることができます。これがどのように行われるかの詳細については、Document Ref. [1]を参照してください。

2.2.13.3.8. 同期タブ

同期タブを使用すると、複数の MCS-OP インスタンス間のデータを交換する必要がある方法を構成できます。これがどのように行われるかの詳細については、Document Ref. [1]を参照してください。

2.2.13.3.9. エージェント管理タブ

エージェント管理タブでは、エージェントとサービスを構成できます。これがどのように行われるかの詳細については、Document Ref. [1]を参照してください。

2.2.13.3.10. アセット タブ

アセットタブを使用すると、アクティビティインデックス、永続的な資産削除の前の時間、アセットのマージの設定、マップセンサーを構成できます。これがどのように行われるかの詳細については、Document Ref. [1]を参照してください。

2.2.13.3.11. KPI プロファイルタブ

KPI プロファイルタブを使用すると、KPI プロファイルを構成し、デバイスにマッピングできます。これがどのように行われるかの詳細については、Document Ref. [1]を参照してください。

2.2.13.4. 通知セクション

MCS-OP アプリケーションの管理および構成領域の通知セクションは、特定の KPI のステータスまたはユーザーの注意を必要とする MCS-OP プラットフォーム自体のステータスに関するインシデントを構成および表示するために使用されます。

赤い点は、システム内にアクティブなアラームまたは無視されているアラームがあるかどうかを示します。アイコンにカーソルを合わせることは、アクティブなアラームまたは無視されているアラームの正確な数を示しています。



図 165: このセクションは、合計 3 つのタブで構成されています。

つまり、次のようになります。

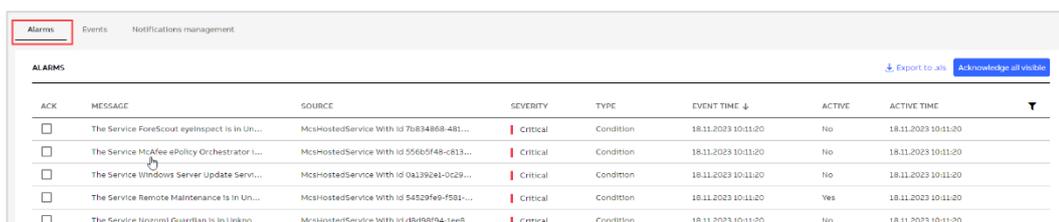
- アラームタブ
- イベントタブ
- 通知管理 タブ

これらのタブで提供された機能については、次の章で詳しく説明しています。

2.2.13.4.1. アラームタブ

通知セクションのアラームタブは、ユーザー通知につながる「条件」の発生するインシデントを表示するために使用されます。これらのタイプのインシデント（。。。「アラーム」と呼ばれる）と呼ばれる）は、MCS-OP アプリケーションの機能とパフォーマンスに直接影響を与える可能性があるため、特別な注意が必要です。

それらは、イベント時間、メッセージテキスト、インシデントタイプ、定格の重大度、実際のステータス、アクティブ時間のリストビューに表示されます。表示されたすべてのイベントは、イベント時間によって下降順序でソートされますが、特定の列ラベルをクリックして、メッセージ、重大度、タイプ、またはアクティブな時間によって下降または昇順でソートすることができます



ACK	MESSAGE	SOURCE	SEVERITY	TYPE	EVENT TIME	ACTIVE	ACTIVE TIME
<input type="checkbox"/>	The Service ForeScout eyeInspect is in Un...	McsHostedService With Id 76834868-481...	Critical	Condition	18.11.2023 10:11:20	No	18.11.2023 10:11:20
<input type="checkbox"/>	The Service Mcafee ePolicy Orchestrator ...	McsHostedService With Id 556b5f48-c813...	Critical	Condition	18.11.2023 10:11:20	No	18.11.2023 10:11:20
<input type="checkbox"/>	The Service Windows Server Update Serv...	McsHostedService With Id 0a1392d1-0c29...	Critical	Condition	18.11.2023 10:11:20	No	18.11.2023 10:11:20
<input type="checkbox"/>	The Service Remote Maintenance is in Un...	McsHostedService With Id 54529fa9-f581...	Critical	Condition	18.11.2023 10:11:20	Yes	18.11.2023 10:11:20
<input type="checkbox"/>	The Service Nozomi Guardian is in Unkno...	McsHostedService With Id dbd98f94-1ee8...	Critical	Condition	18.11.2023 10:11:20	No	18.11.2023 10:11:20

図 166: [アラーム]タブ - 通知セクション

表示されたアラームは非常に重要であるため、ユーザーはすべてのアラームラインの先頭に **ACK** スイッチを選択することで、彼/彼女が気づいたことを積極的に確認する必要があります。あるいは、アラームの右上隅にある「表示されているものをすべて認識する」ボタンを選択することにより、リストから目に見えるすべてのアラームを一度に確認できます。

ステータスがステータス「Active == no」に変更されない限り、まだステータス「Active == yes」があると認められているアラームは、このリストにとどまります。認められたアラームのステータスがステータス「Active == no」に変更されるとすぐに、影響を受けるアラームはこのアラームリストから消えます。

フィルターは、表示されたアイテムを絞り込むために利用できます。

2.2.13.4.2. イベントタブ

通知セクションのイベントタブは、「条件」のタイプを含むユーザー通知につながるあらゆるタイプのすべての発生インシデントを表示するために使用されます。これらのインシデント（。。。「イベント」と呼ばれる）は、イベント時間、メッセージテキスト、インシデントタイプ、評価の重大度を含むリストビューに表示されます。すべての表示されるイベントは、イベント時間によって下降順序でソートされますが、特定の列ラベルをクリックして、メッセージ、重大度、タイプ、またはアクティブな時間によって下降または昇順でソートすることができます。フィルターを適用することもできます。



MESSAGE	SOURCE	SEVERITY	TYPE	EVENT TIME	ACTIVE TIME
Analysis done for SID75493_CyberProtect_123449460559...	Analysis Engine	Low	Simple	20.11.2023 10:41:13	
000XAV9111-OWI (172.16.4.34): Asset has been updated	AssetInventory	Low	Simple	20.11.2023 10:40:18	
0.0.0 (0.0.0): Asset has been updated	AssetInventory	Low	Simple	20.11.2023 10:40:18	
APPLSERVDMZ (172.16.4.60): Asset has been updated	AssetInventory	Low	Simple	20.11.2023 10:40:18	
HYPERV-2 (172.16.4.54): Asset has been updated	AssetInventory	Low	Simple	20.11.2023 10:40:18	

図 167: イベントタブ - 通知セクション

2.2.13.4.3. 監査タブ

通知セクションの監査タブは、監査ログを表示するために使用されます。次の情報は、各監査ログに利用できます:

- メッセージ - タイプと追加情報の組み合わせであるログメッセージ

- タイプ - イベントのタイプ
- カテゴリ - イベントタイプのカテゴリ
- ソース - イベントのイニシエーター (アクションをトリガーしたユーザーまたはアプリケーションクライアント)
- **GUID** - 監査ログの一意の識別子
- イベントがあった - イベントの発生のタイムスタンプ
- イベントログ - データベースにログが保存されたときのタイムスタンプ (イベントのタイムスタンプとは異なる場合があります)
- 場所 - アクションが実行された場所

MESSAGE	TYPE	CATEGORY	SOURCE	EVENT OCCURRED ↓
Alarm 019463b3-b47a-797f-8931-2866...	Alarm acknowledged	Control System Event	Administrator	14.01.2025 15:42:21
Token issued successfully.	Token issue success	Access control	CsmBackend.DESKTOP-824GBJC2024...	14.01.2025 15:41:36
Token issued successfully.	Token issue success	Access control	CsmCommander.DESKTOP-824GBJC2...	14.01.2025 15:41:32
Token issued successfully.	Token issue success	Access control	UserInterface.DESKTOP-824GBJC202...	14.01.2025 15:41:31
Token issued successfully.	Token issue success	Access control	CsmEventHandler.DESKTOP-824GBJC...	14.01.2025 15:41:27
Application McsForwarder.MCS-FW20...	Application password generated	Configuration changes	Administrator	14.01.2025 15:40:44
Token issued successfully.	Token issue success	Access control	CsmBackend.DESKTOP-824GBJC2024...	14.01.2025 15:40:36
Token issued successfully.	Token issue success	Access control	CsmCommander.DESKTOP-824GBJC2...	14.01.2025 15:40:32
Token issued successfully.	Token issue success	Access control	UserInterface.DESKTOP-824GBJC202...	14.01.2025 15:40:29
Token issued successfully.	Token issue success	Access control	UserInterface.DESKTOP-824GBJC202...	14.01.2025 15:40:29

図 168: 監査タブ - 通知セクション

特定のアイテムをクリックして、追加の詳細を確認します (**GUID**、イベントが記録されたとき、イベントの場所)。

Audit log details	
Application McsForwarder.MCS-FW20250114143506 password generated.	
Type	Application password generated
Category	Configuration changes
Source	Administrator
GUID	01946542-8102-78f3-90bb-c46c9eeade6b
Event occurred	14.01.2025 15:40:44
Event logged	14.01.2025 15:40:44
Location	DESKTOP-824GBJC\DESKTOP-824GBJC\mcs\C:\Program Files (x86)\ABB\ABB.AdvancedServices.McsPlatform.IdentityManager\ABB.AdvancedServices

図 169: 監査ログの詳細

アクションが実行されたときにアラームおよびイベントサービスが機能しない場合、ログはそのアクションに責任のあるコンポーネントのデータベースに保存されます。アラームとイベントのアプリケーションに戻ったら、ログがそこに送信されます。そのため、イベントが発生した時刻とイベントが記録された時刻が異なる場合があります。

ウィジェットの右上隅にある「.CSV にエクスポート」ボタンを使用して、すべての監査ログを CSV ファイルにエクスポートすることができます。

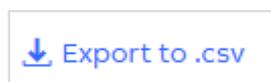


図 170: csv にエクスポート

180 日以上レコードは、データベースから自動的に削除されます。さらに、監査ログウィジェットの右上隅にあるボタンを使用して、監査ログを手動でクリアすることができます。

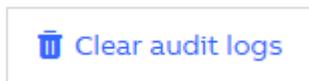


図 171: 監査ログをクリアします

監査ログが（自動または手動で）クリアされると、「監査ログが削除された」タイプの新しいレコードが作成されます。このようなログは削除されません。

監査ログデータベースが **2GB** に達すると、アラームが生成されます。さらに、ユーザーに通知するためにバナーが表示されます。バナーのテキストは、ユーザーのアクセス権に依存します。

 Audit log database has reached defined limit. Please inform your system administrator about this.

図 172: 監査ログデータベースはリミットバナーに到達しました - 通常のユーザー向け

 Audit log database has reached defined limit. Please take required action.

図 173: 監査ログデータベースはリミットバナーに到達しました - 監査管理者向け

使用可能なディスクスペースが、定義されたデータベースサイズ (**2GB**) からデータベースによって既に取りられたスペースの値よりも低い場合、別のアラームが生成されます。さらに、この情報を含むバナーが表示され、ユーザーに通知されます。バナーのテキストは、ユーザーのアクセス権に依存します。

 Not enough space for Audit Logs database. Please inform your system administrator about this.

図 174: スペースバナーが不十分 - 通常のユーザー向け

 Not enough space for Audit Logs database. Please free up required space.

図 175: スペースバナー が不十分- 監査管理者向け



「監査」タブは、次のアサインされた役割のいずれかを持っているユーザーにログインしているためにのみ表示されます。管理者、監査読者、または監査管理者。監査ログをクリアする可能性は、監査管理者の役割を持つユーザーにのみ表示されます。

監査ログは、次のアクションに対して作成されます。

- ユーザーは正常にログイン/アウトしました
- ユーザーはログインに失敗しました
- アプリケーション証明証管理領域：
 - アプリケーションが追加されました
 - アプリケーションが削除されました
 - 新しいパスワードが生成されました
- アラームを認める
- サービストークンの作成
- 禁止された操作の試み

2.2.13.4.4. [通知管理]タブ

電子メール通知は、通知セクションの通知管理タブを介して処理されます。ここから、既存の通知を新しいユーザー通知または編集することができます。

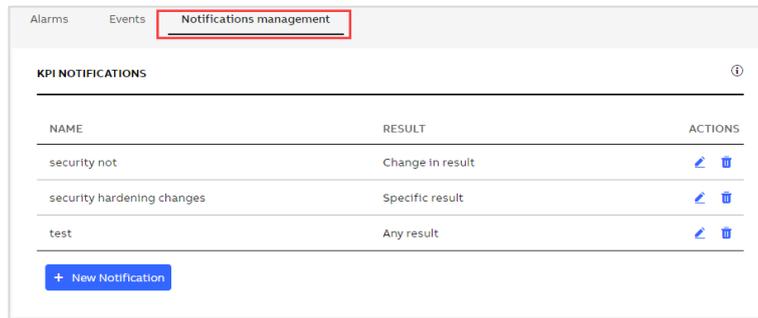


図 176: [通知管理]タブ - KPI 通知セクション

「新しい通知」ボタンを選択して、以下の手順に従って新しい通知を設定してください。

1. 通知のために名前と受信者を入力します。複数の受信者の場合、電子メールアドレスをコンマで分離する必要があります。
2. すべての KPI または特定の KPI のみが含まれるかどうかを選択します（例：すべてのパフォーマンス KPI）
3. すべての結果、結果の変更（最後の分析と比較）、または特定の結果のみを含める必要がある場合（例：エラーのみ）
4. [保存]ボタンをクリックします

New Notification

Name *
 ✖ required

Recipients *

KPI selection

All KPIs
 Specific KPIs

Result selection

Any result
 Change in result
 Specific result

Cancel

図 177: 新しい通知を構成します

セキュリティアップデート、マルウェア保護、またはバックアップカテゴリから KPI の通知を構成するには、選択した SID のシステムユーティリティデータを備えたシステムデータファイルを分析する必要があります。さらに、システムユーティリティモジュールを有効にする必要があります。有効なモジュールに関連する KPI のみがウィジェットにリストされています。

図 178: システムユーティリティ KPI の通知の構成

異なるコンテンツで複数の通知を同時に使用できます。ルールが適用された場合に備えて、1つの一般的な通知電子メールにバンドルされます。

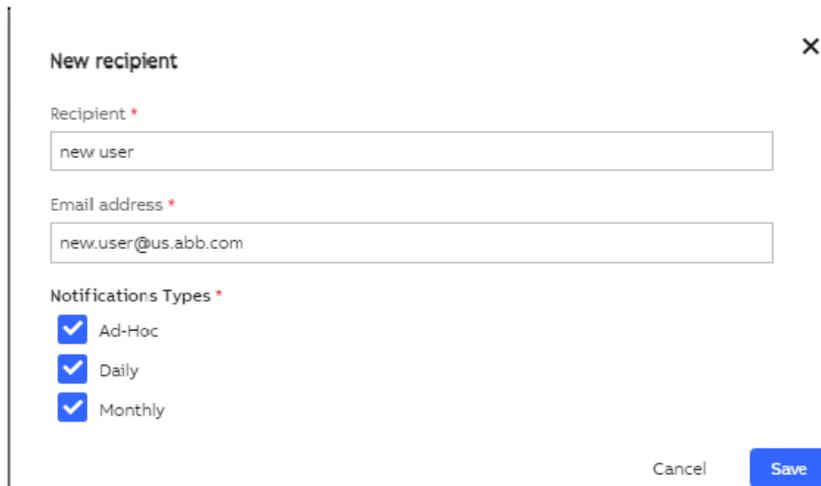
システム監視メール受信者ウィジェットを使用すると、管理者の役割を持つユーザーが、システム監視機能セットによって生成された通知の受信者を構成または編集できます。このウィジェットは、システム監視ライセンスが利用可能であり、CSM アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。

NAME	EMAIL ADDRESS	NOTIFICATIONS TYPES	ACTIONS
test	test@test.com	AD-HOC, DAILY	

図 179: メールを受信者を監視するシステム

「新しいメール受信者」ボタンを選択して、以下の手順に従って新しい受信者を設定します。

1. 受信者の名前と電子メールアドレスを入力します
2. 1つ以上の通知タイプを選択します
3. [保存]ボタンをクリックします。



New recipient ×

Recipient *
new user

Email address *
new.user@us.abb.com

Notifications Types *

- Ad-Hoc
- Daily
- Monthly

Cancel Save

図 180: 新しい受信者を構成します

次の通知タイプが利用可能です。

- "Ad-Hoc": 特定の通知条件を検出するとすぐに生成されます
- "毎日": 過去 24 時間に存在するすべての通知（重大度とは無関係）の概要
- 「毎月」: 過去の暦月に存在するすべての通知（その重大度とは無関係）の概要

2.2.13.5. 言語セレクター

右上隅にある言語セレクターでは、言語を変更できます。リストから特定のアイテムを選択すると、ページが更新され、変更が適用されます。

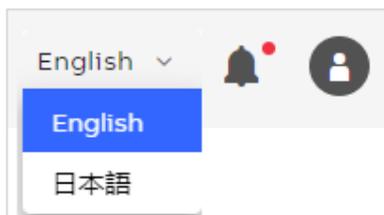


図 181: 言語セレクター

2.2.13.6. ユーザー セクション

管理領域と構成領域のユーザーセクションには、MCS-OP アプリケーションにログインしている現在のユーザーに関する情報が表示されます。



図 182: 管理および構成のエリアのユーザー セクション

また、パスワードを変更したり、現在のユーザーをログアウトする可能性を提供します。

2.3. レポート

My Control System では、専用レポートを通じて、すべての分析結果とテキスト要素を作成し、ダウンロードすることができます。

以下のレポートタイプが利用可能です:

- 要約 (KPI の全体的な結果についての簡単な概要を提供する)
- 削減(収集された各デバイスの個々の KPI 結果に関する一般的な概要を提供する)
- 詳細(収集された各デバイスの個々の KPI 結果に関する詳細情報と、各所見に関する説明的なテキスト要素を提供する)
- 完全(収集された各デバイスの個々の KPI 結果に関する詳細情報、各所見に関する説明的なテキスト要素、および分析に使用されたすべてのデータポイントを含む付録を提供する)
- ベンチマーク (新しい「削減レポート」タイプに匹敵するレガシーレポートタイプ)
- 指紋 (新しい「詳細レポート」タイプに匹敵するレガシーレポートタイプ)
- アセスメント (新しい「完全レポート」タイプに匹敵するレガシーレポートタイプ)



レポートタイプ 詳細、完全、および 指紋 は、有効なシステム指紋ライセンスでのみ利用可能です。レポートタイプ評価は、有効なシステム評価ライセンスでのみ利用可能です。



レポート機能はシステムユーティリティ データセットでは使用できません。

2.3.1. レポートへのアクセス

レポートは、3つの異なる場所で作成/アクセスすることができます:

- データセット管理ページ (KPI タブ) の「アクション」で、データセット別にグループ化されたレポートを参照することができる (章を参照 2.2.13.2.1)
- 「インベントリレポート」ウィジェットを介したデータセット管理ページ (インベントリタブ) で、インベントリとライフサイクルレポートを閲覧できます (章を参照 2.2.13.2.2)
- 各カテゴリの KPI 分析タブにある円グラフウィジェットに、特定のカテゴリのレポートが表示される(章を参照 2.2.7)

ポップアップが表示され、既に作成されたレポートを表示するか、新しいレポートを作成することができる

CATEGORY	REPORT TYPE	RESULTS	LANGUAGE	STATUS	ACTIONS
Software	System Status	All results	-	Published	🗑️
Performance	System Status	All results	-	Published	🗑️
Security	System Status	All results	-	Published	🗑️
Software	Fingerprint	All results	English	Published	📄 🗑️
Performance	Fingerprint	All results	English	Published	📄 🗑️
Security	Fingerprint	All results	English	Published	📄 🗑️

Items per page: 10 1 - 6 of 6 < >

Close [Create new report](#)

図 183: 作成されたレポート

または（「インベントリー」タブの「データセット管理」のように）すでに作成されたレポートがウィジェットに直接リストされます。

CATEGORY	REPORT TYPE	STATUS	CREATED DATE ↓	AUTHOR	
Inventory	Summary	Published	06.30.2022 10:32:03	👤	📄 Open report
Inventory	Benchmark	Published	06.30.2022 10:22:52	👤	📄 Open report
Lifecycle	Benchmark	Published	06.30.2022 08:53:02	👤	📄 Open report
Lifecycle	Fingerprint	Published	06.30.2022 08:52:30	👤	📄 Open report
Lifecycle	Benchmark	Published	06.30.2022 08:44:24	👤	📄 Open report

Items per page: 5 1 - 5 of 5 < >

図 184: 作成されたインベントリーレポート

すでに作成されたレポートには、2つのアクションがあります:

- レポートの開き（レポートのPDF版を新しいブラウザのタブで開く）
- 削除（レポートを削除する）

2.3.2. レポートの作成

新しいレポートを作成するには、「新しいレポートを作成」ボタンをクリックします。このボタンをクリックすると、レポート作成プロセスを案内するウィザードが開きます。

ウィザードで以下の手順を実行する必要があります:

- カテゴリーを選択する（「カテゴリー」タブの1つからウィザードを開いた場合、そのカテゴリーがドロップダウンであらかじめ選択されています）
- レポートの種類を選択する（選択したカテゴリーによって、利用できないレポートの種類があることに留意してください）
- 結果フィルターを選択する（選択したレポートタイプによっては利用できないフィルターがあることに留意してください）
- 追加オプション（言語）を選択する

すべての選択が完了したら、「レポートを作成」ボタンをクリックします。レポートは作成されたレポートリストの一番上に表示されます。レポートが作成されている間は、そのレポートに対するアクションは利用できません。

Create report for data set: Upload 2021-12-15 MCS Data Collector 2.3

Category

Please select the Category

Performance ▾

Report Type

Please select the Report Type

▾

Filter

Please select the Filter

▾

Options

Language

▾

Cancel Create Report

図 185: 新しいレポートを作成

3. 追加情報

3.1. 関連文書リスト

	文書の種類、タイトル	文書番号
1	My Control System (on-premise) - Installation and Configuration Manual	2PAA121208
2	My Control System - Data Collector - User manual	2PAA120980-200
3	My Control System - Forwarder - User Manual	7PAA001522
4	My Control System (on-premise) - Hardening Guide	7PAA002031

3.2. セキュリティの脆弱性報告

この製品でセキュリティの脆弱性が発見された場合、**ABB** が問題を調査および対処するためにすぐに報告する必要があります。脆弱性は、次の **URL** を通じて報告できます。

<https://www.abb.com/cybersecurity>.

このような脆弱性を報告することは、すべてのユーザーにとって安全で安全なエクスペリエンスを維持するのに役立ちます。チームは、セキュリティの改善に役立つ貢献を高く評価しています。

4. 改訂

4.1. 改訂履歴

改訂	MCS バージョン	ページ (P) 章 (C)	説明	日付 部署/ 開始日
A			新しいドキュメント	2020 年 01 月 30 日 IA PCP
B		全て	マークダウンドキュメントに変換します	2020 年 03 月 18 日 IA PCP
C		全て	小さなバグ修正	2020 年 12 月 17 日 IA PCP
D	5.0	全て	CSWP 機能セットを使用して、新しい MCS (オンプレミス) バージョンの完全なドキュメントが更新されます 適用された新しいテンプレート	2022 年 01 月 13 日 PA PCP
E	5.1	(C) 2.2.4.1, 2.2.10.2, 2.2.10.4 (C)1.4	追加されたロックされたデータセットに関する情報、テキストと画像の更新 (アラームステータスインジケーター) S+操作 2.1 以降の章「スコープとソフトウェア」の章を更新した	2022 年 02 月 11 日 PA PCP
F	5.2	(C) 2.2.4, 2.2.9, 2.2.11, 2.2.12.3.6	フッターエリアの説明が追加されました タブの名前が変更され、再配置されました ドキュメントセクションが追加されました [システムユーティリティ]タブが追加されました	2022 年 03 月 10 日 PA PCP
G	5.3	(C) 2.2.9.2.4	サポートされているバックアップソリューションとして Quest Rapid Recovery を追加しました	2022 年 04 月 08 日 PA PCP
H	5.4	(C) 2.2.2	追加のフィルター領域の説明が追加されました	2022 年 05 月 07 日 PA PCP
I	5.6	(C)2.1 (C)2.2	「システムにサインオン」の章を更新した 「概要 (一般的なレイアウト)」の章を追加した	2022 年 07 月 01 日 PA PCP
J	5.7	(C) 2.2.7.1	「概要」章を更新しました	2022 年 07 月 29 日 PA PCP
K	5.8	(C) 2.2.12.4	「通知セクション」の章を更新した	2022 年 08 月 26 日 PA PCP
L	5.9	(C) 2.2.12.3.3	「ユーザー管理タブ」の章を更新した	2022 年 09 月 23 日 PA PCP
M	5.10	(C) 2.2.10, (C) 2.2.12.2	「インベントリ」章を更新しました 更新された章「データセット管理セクション」	2022 年 10 月 21 日

改訂	MCS バージョン	ページ (P) 章 (C)	説明	日付 部署/ 開始日
		(C) 2.2.12.3.9 (C) 2.2.12.3.10 (C) 2.3.1	「エージェント管理タブ」を追加しました 「概アセット タブ」章を更新しました 「レポートへのアクセス」の章を更新した 改訂履歴に MCS バージョンに関する情報を追加しました	PA PCP
N	5.11	(C) 2.2.10.2	「アセット」の章を追加した	2022 年 11 月 18 日 PA PCP
O	5.12	(C) 2.2.10.1 (C) 2.2.10.1 (C) 2.2.12.2.1	「アセット」の章を追加した 「ハードウェアライフサイクル」の章を追加した 「KPI」の章を追加した	2022 年 12 月 16 日 PA PCP
P	5.13	(C) 2.2.7 (C) 2.2.9.1 (C) 2.2.10	「一般情報」の章を追加した 「システム概要」章を更新しました 「インベントリー」章を更新しました	2023 年 01 月 20 日
Q	5.14	(C) 2.2 (C) 2.2.7.3 (C) 2.2.10.1 (C) 2.2.10.3	「概要 (一般的なレイアウト)」の章の順序を再アレンジした 提案されたアクションに関する章新たに追加した 「ハードウェアライフサイクル」で更新された画像 「コントロール構造」を追加しました	2023 年 02 月 17 日
R	5.15	(C) 2.2.10.1 (C) 2.2.10.2	「ハードウェアライフサイクル」の章を追加した 「アセット」の章を追加した	2023 年 03 月 17 日
S	6.0	(C) 2.2.9.8.2	「植物の隔離」の章を更新した	2023 年 06 月 07 日
T	6.2	(C) 2.2.10.2 (C) 2.2.12.3.10	「アセット」の章を追加した 「アセットタブ」の章を更新した	2023 年 08 月 11 日
U	6.3	(C) 2.2.5.1.3 (C) 2.2.9 (C) 2.2.10.2	「マルウェア保護、セキュリティの更新、バックアップ」の章を更新した 「セキュリティ」の章を更新した 「アセット」の章を追加した	2023 年 09 月 01 日
V	6.5	(C) 2.2.2 (C) 2.2.9.2.3 (C) 2.2.6.4	「フィルターエリア」の章を更新した 「マルウェア保護」章を更新しました 「比較表示」の章を更新した	2023 年 10 月 19 日
W	6.6	(C) 2.1 (C) 2.2.5.1 (C) 2.2.5.3 (C) 2.2.6 (C) 2.2.9.2.4 (C) 2.2.9.2.9 全て	「システムにサインオン」の章を更新した 「システムステータス」章を更新しました 「会社のステータス」を追加しました 「概要エリア」章を更新しました 「バックアップ」章を更新しました 「800XA バックアップステータス」章を追加しました 更新された使用済みの写真	2023 年 12 月 15 日
X	6.7	(C) 2.2.1 (C) 2.2.5 (C) 2.2.6 (C) 2.2.7 (C) 2.2.8 (C) 2.2.9	「ナビゲーションバー」章を更新しました 「一般情報」の章を追加した 「概要エリア」章を更新しました 「KPI 詳細ページ」の章を更新しました 「健康」章を更新しました 「セキュリティ」の章を更新した	2024 年 03 月 04 日

改訂	MCS バージョン	ページ (P) 章 (C)	説明	日付 部署/ 開始日
		(C) 2.2.9.2.4 (C) 2.2.12.2.1	「バックアップ」章を更新しました 「KPI」の章を追加した	
Y	6.8	(C)2.1 (C) 2.2.7.1 (C) 2.2.9.2.4 (C) 2.2.9.2.6 (C) 2.2.9.2.9	「システムにサインオン」の章を更新した 「KPIの詳細」章を更新しました 「バックアップ」章を更新しました 「アスペクトディレクトリステータス」の章を更新した 「800XA バックアップステータス」の章を更新した	2024年03月14日
Z	6.11	(C) 2.2.5.4 (C) 2.2.7 (C) 2.2.9.2.3 (C) 2.2.9.2.4 (C) 2.2.12.3.11	「ライセンスと連絡先」章を更新しました 「KPI詳細ページ」の章を更新しました 「マルウェア保護」章を更新しました 「バックアップ」章を更新しました 「KPIプロファイルタブ」章を追加しました	2024年06月18日
AA	6.12	(C) 2.2.5.4 (C) 2.2.9.2.3	「ライセンスと連絡先」章を更新しました 「マルウェア保護」章を更新しました	2024年07月16日
AB	6.14	(C) 2.2.4 (C) 2.2.9.2.3 (C) 2.2.11.2 (C) 2.2.13.4.1	「MCSのテーブル」の章を追加しました 「マルウェア保護」章を更新しました 「アセット」の章を追加した 「アラームタブ」の章を更新した	2024年08月27日
AC	6.15	(C) 2.2.6.4 (C) 2.2.11.2 (C) 2.2.13.2 (C) 2.2.13.4.3	「ライセンスと連絡先」章を更新しました 「制御システムのライフサイクル」章を更新しました 「データセット管理セクション」の章の画像を更新しました 「通知管理タブ」の章を更新した	2024年10月14日
AD	6.15.1	(C) 2.2.10.2.1 (C) 2.2.10.2.2 (C) 2.2.10.2.4 (C) 2.2.10.7 (C) 2.2.10.8.1 (C) 2.2.10.8.2	「ノードの詳細」の章を更新した 「セキュリティ更新」の章を更新した 「バックアップ」章を更新しました 「メンテナンス」の章を更新した 「システムリモートアクセス」の章を更新した 「植物の隔離」の章を更新した	2024年10月22日
AE	6.16	(C)2 (C)2.2 (C)3.2	「My Control System (on-premise)の使用」の章を更新した 「概要 (一般的なレイアウト)」の章を追加した 「Security Vulnerability Reporting」に追加された章	2024年11月12日
AF	6.17	全て	更新された使用済みの写真	2024年12月09日
AG	25.01	(C) 2.2.10.2.1 (C) 2.2.10.2.4	「ノードの詳細」の章を更新した 「バックアップ」章を更新しました 「ソフトウェア」の章の写真を更新しました 「監査タブ」章を追加しました	2025年01月31日

改訂	MCS バージョン	ページ (P) 章 (C)	説明	日付 部署/ 開始日
		(C) 2.2.11.5 (C) 2.2.13.4.3		
AH	25.02	(C) 2.2.7 (C) 2.2.9 (C) 2.2.10 (C) 2.2.10.2.2 (C) 2.2.13.4.3	「概要エリア」章を更新しました 「健康」章の写真を更新しました 「セキュリティ」章の写真を更新しました 更新アクションに警告メッセージを追加しました 「監査タブ」章を更新しました	2025 年 02 月 14 日

お問い合わせ

www.abb.com/controlsystems